

Easyシリーズ



インストーラガイド
JP 侵入アラームコントロールパネル



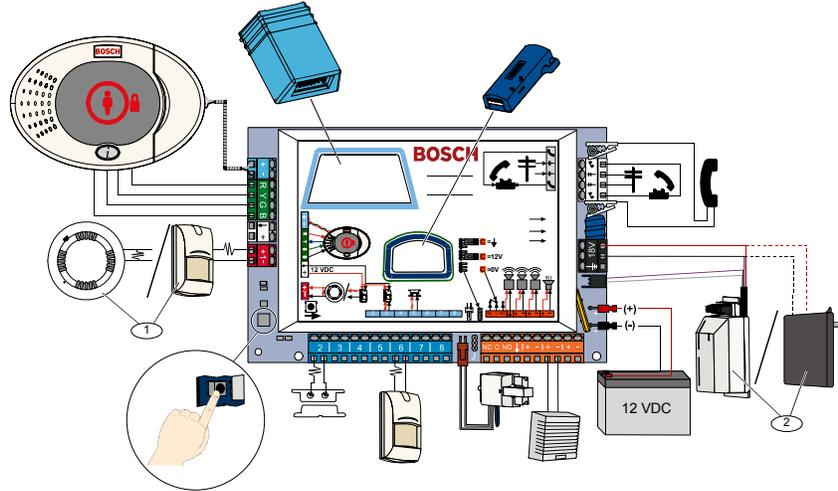
BOSCH

目次

1.0	クイックレファレンス	3
1.1	システム概要.....	3
1.2	コントローラの概要.....	3
1.3	基本的な操作情報.....	4
1.4	システム設定（有線およびワイヤレス）.....	5
1.5	インストラ電話メニュー.....	6
1.6	ユーザ電話メニュー.....	7
2.0	インストレーション	8
2.1	筐体のインストレーション （ステップ1）.....	8
2.2	コントロールパネルのインストレーション （ステップ2）.....	9
2.3	コントローラのインストレーション （ステップ3）.....	10
2.4	DX2010のインストレーション （ステップ4）.....	12
2.5	ワイヤレスハブのインストレーション （ステップ5）.....	13
2.6	管理されている監視エリアの接続 （ステップ6）.....	14
2.6.1	火災監視エリアの配線.....	14
2.6.2	侵入監視エリアの配線.....	15
2.6.3	キースイッチの配線.....	15
2.7	プログラム可能な出力の接続 （ステップ7）.....	16
2.7.1	プログラム可能な出力1の配線.....	16
2.7.2	プログラム可能な出力2~4の配線.....	17
2.8	電話回線の接続（ステップ8）.....	18
2.9	音声モジュールの挿入（ステップ9）.....	18
2.10	EZTSの接続（ステップ10）.....	18
2.11	電源のインストレーション （ステップ11）.....	19
2.11.1	EZPSワイヤイン電源.....	19
2.11.2	プラグイン電源.....	21
2.11.3	12VDC予備バッテリー.....	21
2.12	筐体の固定（ステップ12）.....	22
2.13	コントロールパネルのプログラム （ステップ13）.....	22
2.14	システムのテスト（ステップ14）.....	22
3.0	監視エリアの拡張	23
3.1	ワイヤレスネットワークの構築と ワイヤレス機器の設定.....	23
3.1.1	新規システムの検出.....	23
3.1.2	ワイヤレスネットワークの構築 と設定.....	23
3.1.3	機器の設定.....	24
3.1.4	機器のテスト.....	24
3.2	ワイヤレス管理.....	26
3.2.1	ワイヤレス設定メニュー.....	26
3.2.2	監視エリア1~8をワイヤレス 監視エリアとして割り当てる.....	27
3.2.3	DX2010入力伸張器および ワイヤレス監視エリア.....	27
3.2.4	ワイヤレスネットワークの回復.....	27
3.3	ワイヤレスシステムメッセージ.....	28
4.0	プログラム	29
4.1	プログラムの開始.....	29
4.2	基本設定.....	30
4.2.1	監視エリア.....	31
4.2.2	通報の設定.....	32
4.2.3	出力.....	33
4.2.4	国番号.....	34
4.3	上級者向けの設定.....	36
4.3.2	システムのプログラム項目.....	37
4.3.3	通報機のプログラム項目.....	41
4.3.4	通報グループ指定のプログラム 項目.....	43
4.3.5	監視エリアのプログラム項目.....	46
4.3.6	出力のプログラム項目.....	51
4.3.7	コントローラのプログラム項目.....	52
4.3.8	ユーザのプログラム項目.....	53
4.3.9	工場で設定されたデフォルト.....	53
4.4	プログラムの終了.....	53
4.5	プログラムキー.....	54
4.6	遠隔プログラムソフトウェア（RPS）.....	55
4.6.1	インストラがRPSを呼び出す.....	55
4.6.2	RPSがコントロールパネルを呼 び出す.....	55
5.0	システムテスト	56
6.0	管理	56
7.0	参照資料	57
7.1	筐体配線ラベル.....	57
7.2	電力制限配線のグループ指定.....	58
7.3	予備バッテリーの計算.....	59
7.4	イベント通報コード.....	60
7.5	ディスプレイステータス.....	62
7.6	よくある質問（FAQ）.....	64
7.6.1	プログラムに関する質問.....	64
7.6.2	システム操作に関する質問.....	65
7.6.3	コントローラに関する質問.....	67
7.6.4	暗証番号に関する質問.....	67
7.7	機関の承認と要件.....	68
7.7.1	認可と承認.....	68
7.7.2	FCC.....	68
7.7.3	カナダ産業省.....	69
7.7.4	SIA.....	69
7.7.5	損害保険業研究所（UL）.....	71
7.7.6	EN50131-1.....	72
7.7.7	PD6662およびDD243の要件.....	73
7.7.8	INCERT.....	73
7.8	仕様.....	74
7.9	互換性のあるオプション.....	76

1.0 クイックレファレンス

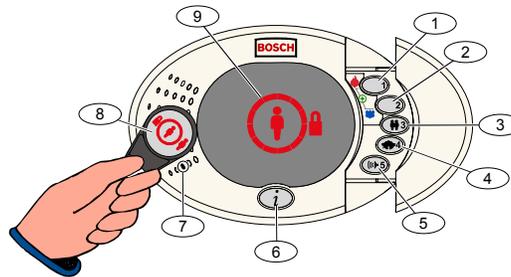
1.1 システム概要



¹ 二線式煙感知器または侵入感知器（動作検知器など）のいずれかを監視エリア1に接続します。

² EZPSワイヤイン型電源または変圧器のいずれかを使います。

1.2 コントローラの概要



コールアウト	詳細
1	[1]を2秒間押し続けると、火災警報が開始します。 緊急アラームの場合は、[1]と[2]を2秒間押し続けます。
2	[2]を2秒間押し続けると、パニックアラームが開始します。 緊急アラームの場合は、[1]と[2]を2秒間押し続けます。
3	[3]を2秒間押し続けると、ユーザメニューに入力して認証タグをかざしたり、暗証番号を入力したりできます。 オプション ¹ を選択します： <ul style="list-style-type: none"> ユーザの追加： [1]を押します。このオプションを使うと、新規ユーザを追加できます。暗証番号を割り当てる必要があります。また、説明を録音して、認証タグまたはキーフォブを割り当てることもできます。音声指示に従ってください。 ユーザの変更： [2]を押します。このオプションを使うと、既存のユーザに割り当てられている暗証番号や説明、認証タグ、キーフォブを追加または変更できます。音声指示に従ってください。 ユーザの削除： [3]を押します。
4	[4]を2秒間押し続けると、音響停止をオンまたはオフにできます。
5	[5]を2秒間押し続けると、音量メニューに入力できます。再度押しすと、レベルを選択できます。低、中、高、または無音にできます ² 。
6	[i]を押すと、システムを作動オンまたは切断できます。音声指示に従ってください。
7	双方向音声セッション中に電話で話す場合は、オーディオインターフェースに話しかけてください。
8	認証タグをコントローラにかざすと、システムを作動または切断できます。
9	コントローラが表示されます。詳細については、第7.5項「ディスプレイステータス」（62ページ）を参照してください。

¹ これらのオプションにアクセスするには、管理者の認証タグまたは暗証番号が必要です。他のユーザは、自分の暗証番号の変更しか行えません。

² 無音コントローラ：警戒遅延および発報遅延の音が消えます。

1.3 基本的な操作情報

項目	詳細
電話セッションを開始、終了	自宅の電話： [#]を3回押して暗証番号を入力します。
	外部の電話： 自宅の電話番号をダイヤルして、電話がかかったら[*]を3回押します。暗証番号を入力してください。
	インストラクイックコネク： テスト電話をコントロールパネルのテストポストか電話端末に接続します。システムテストボタンを約15秒間押し続けます。暗証番号を入力します。
	電話を終了： システムが「終了します」というまで繰り返し [#] を押してください。
プログラムを入力、終了	電話セッションを開始します（上記のオプションを参照）。指示に従ってインストーラの暗証番号を入力してください。 インストーラメニューから、基本設定の場合は[3]、上級者向けの設定の場合は[4]を押します。 - 基本設定の場合は、第4.2項（30ページ）を参照してください。 - 上級者向けの設定の場合は、第4.3項（36ページ）を参照してください。 プログラムを終了するには、システムがインストーラメニューのオプションを通知するまで繰り返し[#]を押してください。
暗証番号長	4桁または6桁のオプションがあります。選択によって暗証番号の長さが変わります。 上級者向けの設定 → 「上級者向けの設定項目番号 861」
インストーラの暗証番号	4桁のデフォルト = 5432、6桁のデフォルト = 543211（上級者向けの設定項目番号 7011）
管理者用の暗証番号	4桁のデフォルト = 1234、6桁のデフォルト = 123455（上級者向けの設定項目番号 7001）
工場で設定されたデフォルト	上級者向けの設定では、「上級者向けの設定項目番号9999」を入力します。これにより、工場で設定されたデフォルトの数値をすべて回復できます。国番号以外のプログラム項目はすべて、工場で設定されたデフォルトの数値を回復するとリセットされます。録音された音声項目には影響しません。
ユーザの追加または変更	電話セッションを開始するか、コントローラ上の[3]を押し続けます（3ページの第1.2項「コントローラの概要」を参照してください）。 管理者用の暗証番号を入力します。 [4]を押してユーザメニューを選択します。 新規ユーザを追加するには[1]、既存のユーザを変更するには[3]を押します。音声指示に従ってください。 新規ユーザを追加するか既存のユーザを変更する際は、認証タグやキーフォブを割り当てることもできます。
システムテスト	システムテストを開始するには、コントロールパネル上のシステムテストボタンを1度押します。
「操作を開始します」の詳細	「操作を開始します」メッセージが聞こえたら、インストーラの暗証番号を入力します。 システムは障害状況について通知した後、メニューオプションを選択するよう指示します。

1.4 システム設定（有線およびワイヤレス）



システムのインストールおよび設定後、ユーザを追加する際にキーフォブを追加します。

ワイヤレス機器を使って、Easy シリーズの侵入アラームコントロールパネルをインストールするには以下の手順に従います。

- 『wLSN レファレンスガイド』（P/N: F01U009440）の指示に従い、各機器の位置で信号が十分に強いことを確認します。
- コントロールパネルやコントローラ、入出力機器、DX2010入力伸張器、ワイヤレスハブなどの有線機器をすべてインストールします。特定のインストレーションと設定の方法については各機器に同梱されているインストレーション手順を参照してください。



1つまたは複数のDX2010入力伸張器がコントロールパネルに接続されているかどうかに応じて、コントロールパネルはワイヤレス監視エリア番号を割り当てます。

- ワイヤレス機器すべてのベースをインストールします。
- コントロールパネルに電源を入れます。
- システムテストを開始します。
 - 電話から：
 - 電話をかけます。
4ページの第1.3項「基本的な操作情報」を参照してください。
 - インストラ電話メニューでシステム管理用に[1]を押します。
 - 完全なシステムテストを行うには[2]を押します。
第1.5項「インストラ電話メニュー」（6ページ）を参照してください。
 - コントロールパネルから：

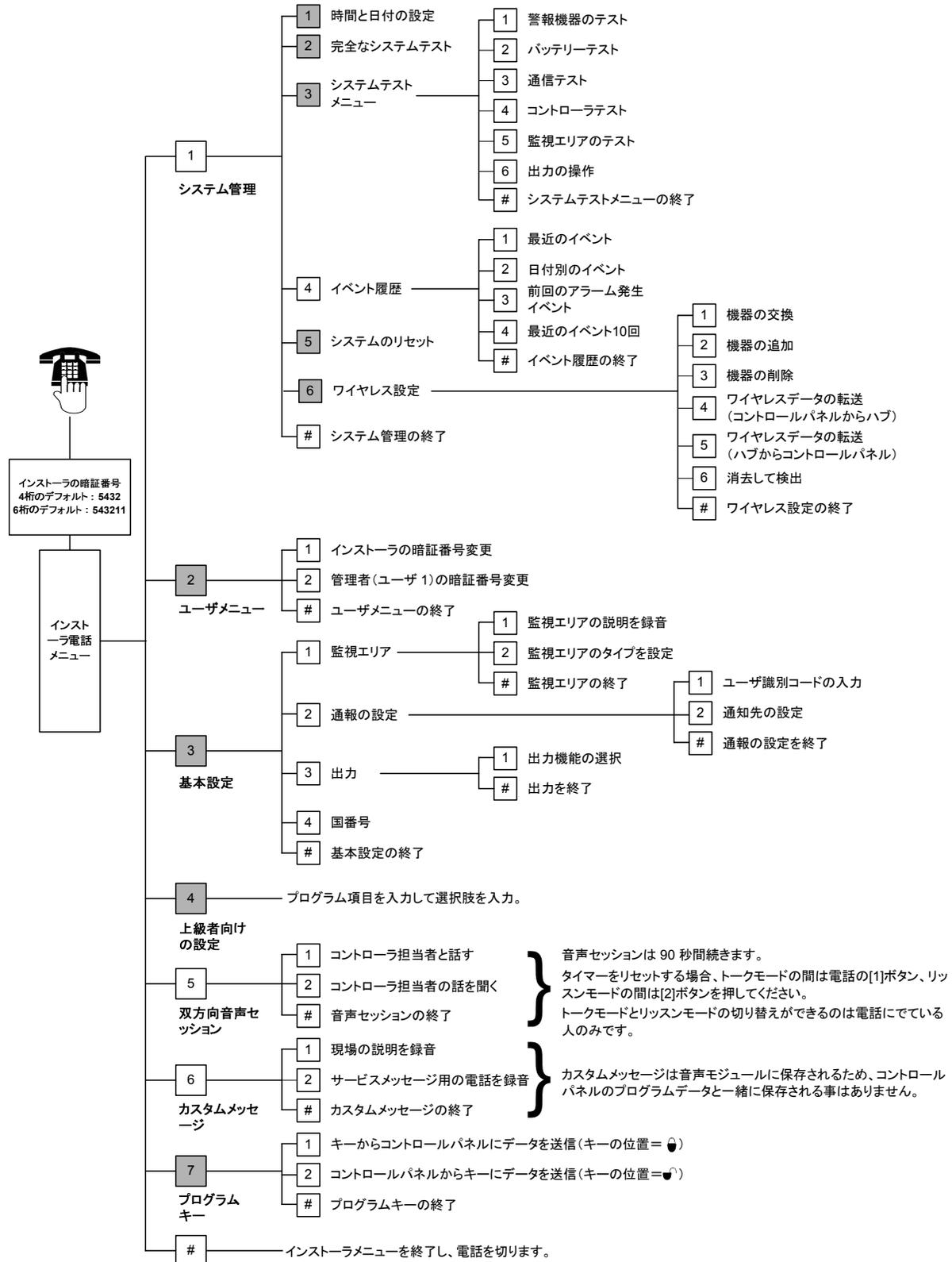
完全なシステムテストを開始するには、システムテストボタンを1秒間押し続けてください。詳細については、第5.0項「システムテスト」（56ページ）を参照してください。
- システムが「バッテリーをインストールしてください」と通知したら、バッテリーをインストールするか、あらゆるワイヤレス機器からバッテリーのタブを取り外してください。
機器のカバーをベースに取り付けます。
- バッテリーをすべてインストールし、機器のカバーを取り付けたら、電話かコントローラで[1]を押して操作を続けます。
システムが新しいワイヤレス機器を識別（検出）します。このプロセスには最高4分かかります。
検出プロセスが完了したら、システムは検出した機器の数を通知します。
- システムが「全ての監視エリアをテストします」と通知したら、ワイヤレス入出力を含む各機器をテスト（障害および復旧）します。
詳細については、第3.1.4項「機器のテスト」（24ページ）を参照してください。



監視エリアの番号は、機器をテスト（不正操作または障害および復旧）した順にワイヤレス機器に割り当てられます。ワイヤレス機器に特定の監視エリア番号を割り当てたい場合は、ワイヤレス機器を適切な順序でテストするようにしてください。それ以外の場合、システムは最も低い監視エリア番号を最初にテストしたワイヤレス機器に割り当てます。

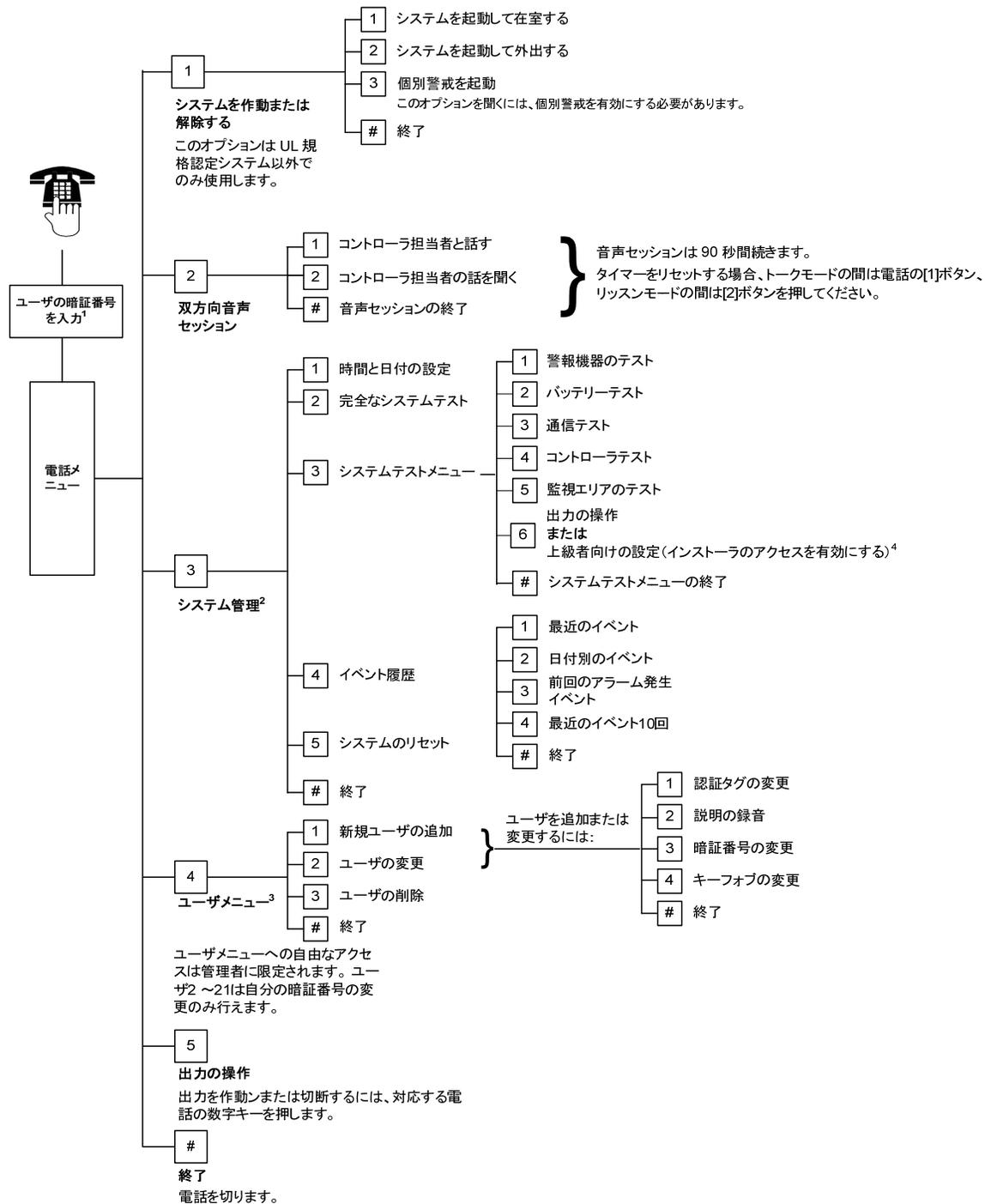
- 各機器をテストしたら、第4.3.5項「監視エリアのプログラム項目」（46ページ）と第4.3.6項「出力のプログラム項目」（51ページ）を完了します。機器を復旧すると、割り当てられた機器番号をシステムが通知します。入出力をテストして、第4.3.5項と第4.3.6項を完了します。
これを行わなければ、監視エリアに障害が発生した際に監視エリア番号を監視エリアの説明に照合できません。コントロールパネルが残りのシステムテストを完了して、終了したら通知します。
- コントロールパネルがシステムテストをすべて完了したら、**基本設定**を入力します。RPSを使ってコントロールパネルをプログラムすることもできます。

1.5 インストーラ電話メニュー



 = システムの警戒起動ステータス (作動または解除) および「上級者向けの設定項目番号142」の設定 (0または1) に応じて、利用できるメニュー項目が異なります。

1.6 ユーザ電話メニュー



¹ ユーザの暗証番号（ユーザ1～21）を使った場合にのみユーザメニューにアクセスできます。

² システムが起動している場合、システム管理オプションは利用できません。

³ 管理者のみがユーザを追加、変更、削除できます。ユーザ2～21は自分の暗証番号の変更のみ行えます。ユーザの音声説明は音声モジュールに保存されるため、プログラムデータと一緒にコントロールパネルに転送される事はありません。

⁴ オプション6を利用すると管理者（ユーザ1）はインストラ暗証番号を有効にできます。詳細については、「上級者向けの設定項目番号142」（39ページ）を参照してください。上記メニュー項目は、システムのステータスに応じて利用できるものとできないものがあります。

2.0 インストール



本システムをインストールする際は公認サービス要員のみを使用してください。
コントロールパネルは恒久的に機器に接続されているため、建物のインストール用配線には即時アクセス可能な接続切断機器を含む必要があります。



コントロールパネルを取り扱う際は、静電気防止手順に従ってください。
コントロールパネルを操作する前に、コントロールパネルの接地端子に触れると静電荷を放出できます。

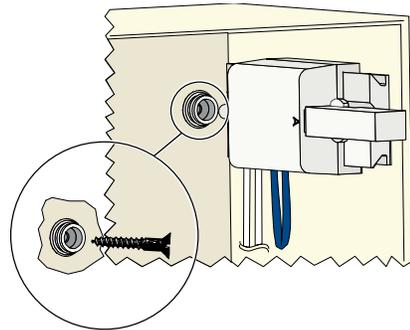
システムのインストールを補佐できるよう、本項はいくつかのセクションに分かれ、段階的な形式で見出しがつけられています。各セクションまたは主要なステップは、複数のより細かいステップで構成されており、次のセクションや主要なステップに進む前にこれを完了する必要があります。

2.1 筐体のインストール (ステップ1)

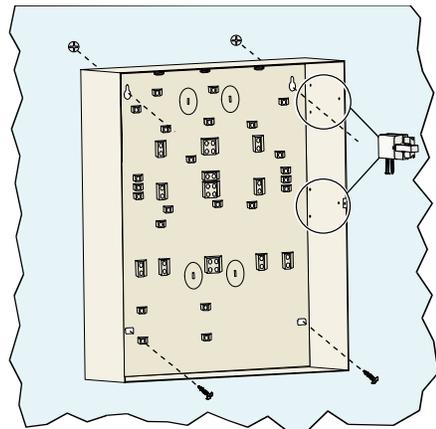


ドライウォールなどの非耐力面に筐体をインストールする際は、適切なアンカーとスクリューのセットを使用してください。

1. EZTSタンパースイッチ (オプション) を取り付けます。
壁にタンパースイッチを備える必要がある場合は、筐体を取り付ける前にプラスチック製の円形ウォールプラグを挿入してください。
詳細な設置手順については『EZTS筐体または壁用タンパースイッチのインストールガイド』(P/N: F01U003734) を参照してください。
筐体の不正操作オプションについては、プログラム項目 137 (39 ページ) を参照してください。

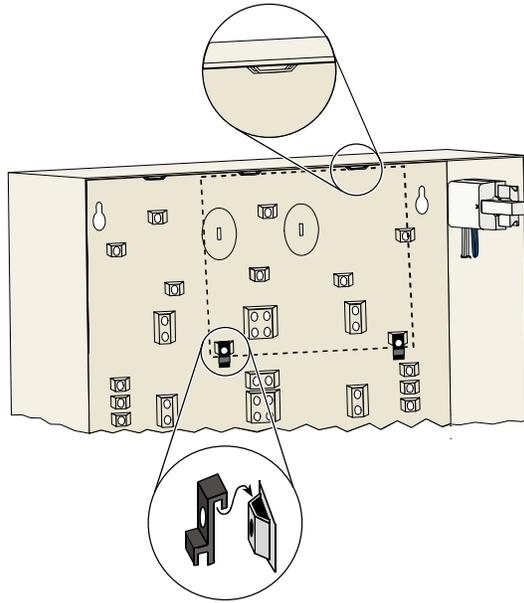


2. 筐体を取り付けます。スクリューは支給されていません。

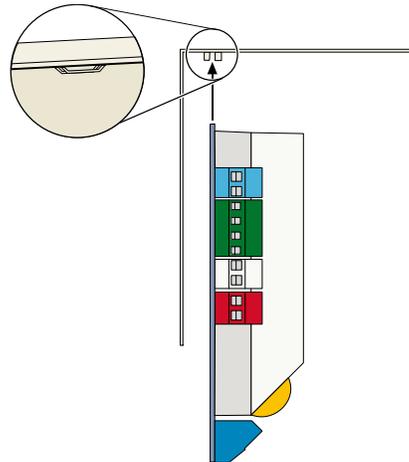


2.2 コントロールパネルのインストール (ステップ2)

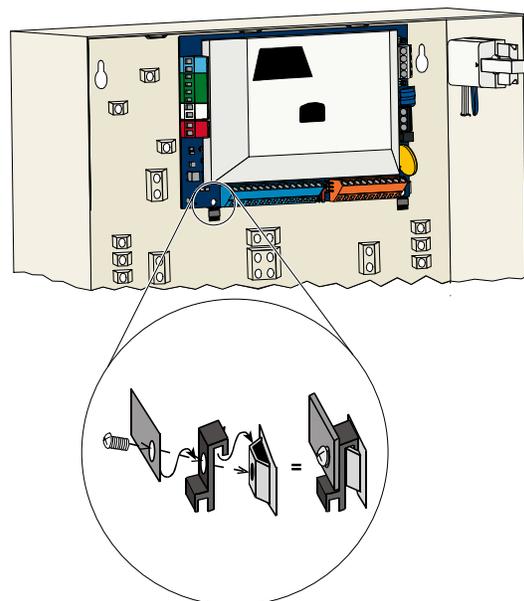
1. 取り付けクリップを筐体の隔離絶縁器の上に置きます。



2. コントロールパネルの上端が筐体の止めスロットの間になるように、コントロールパネルを取り付けクリップの上に設置します。



3. 支給されているスクリューを使ってコントロールパネルを取り付けクリップに固定します。



2.3 コントローラのインストール (ステップ3)

詳細なコントローラのインストール手順については、コントローラに同梱されている『EZ1 コントローラ・インストールガイド』(P/N: F01U003737)を参照してください。

ワイヤレス ID 読取り器が適切に作動するよう、コントローラは金属面には取り付けないでください。

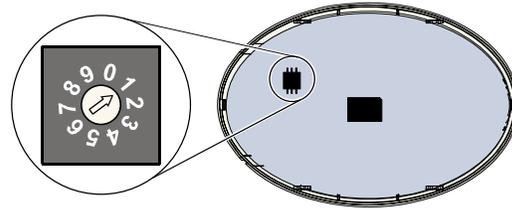
複数のコントローラをインストールする場合は、各コントローラが少なくとも1.2m離れていることを確認します。

1. コントローラ上でアドレスを設定します。

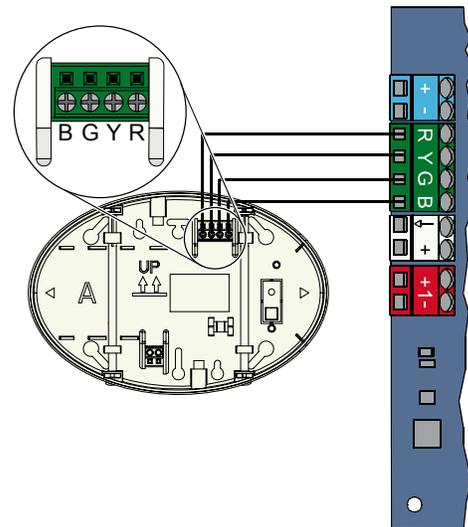
コントロールパネルは最高4個のコントローラをサポートできます。

各コントローラには異なるアドレスが必要です。有効なアドレスは1~4です。

アドレスのスイッチはコントローラ内部に配置されています。



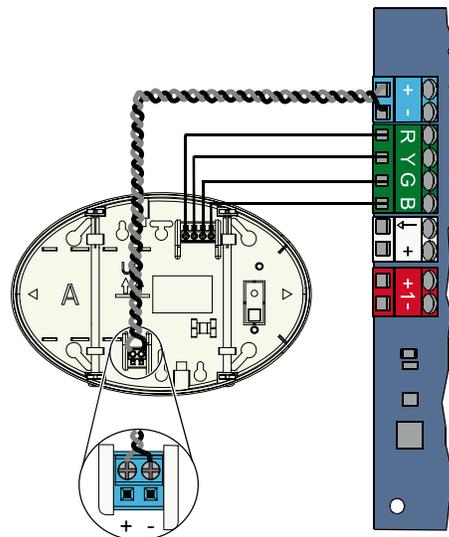
2. コントローラのデータバス端子をコントロールパネルのデータバス端子に接続します。



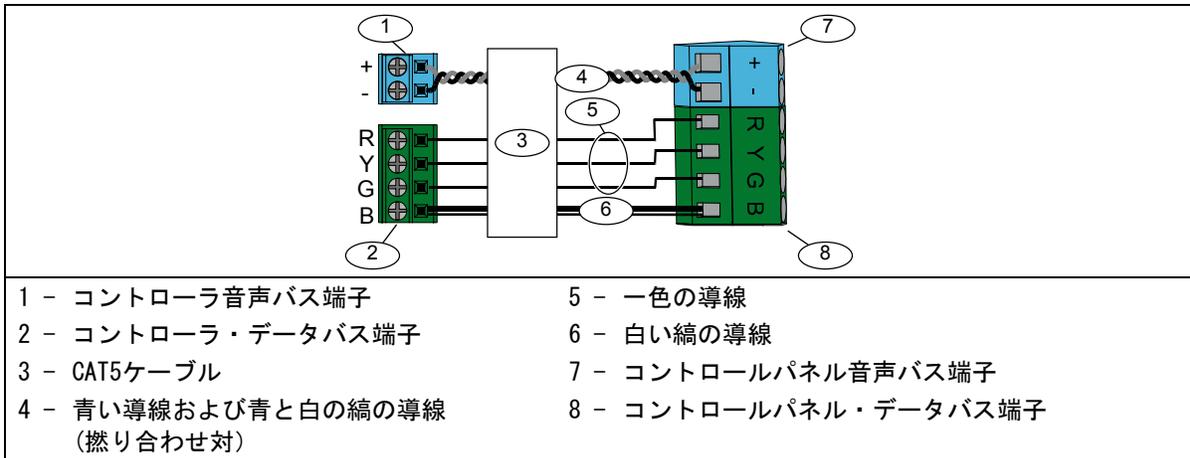
3. コントローラの音声バス端子をコントロールパネルの音声バス端子に接続します。

音声バス接続には、撚り合わせ対配線を推奨します。

CAT5ケーブルを使用する場合は、以下のCAT5配線図を参照してください。



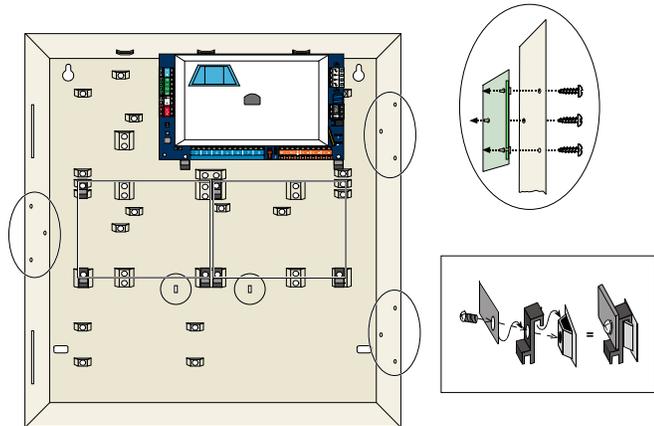
CAT5ケーブル接続



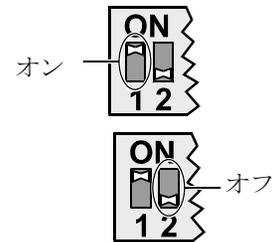
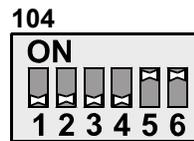
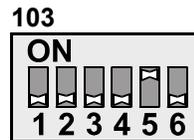
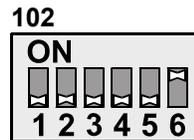
2.4 DX2010のインストール (ステップ4)

コントロールパネルは、監視エリア9～32で最高3基の DX2010 入力伸張器をサポートします。
詳細については、『DX2010インストール手順』 (P/N: 49533) を参照してください。

- DX2010をコントロールパネルの筐体、またはその他の適切な筐体に取り付けます。



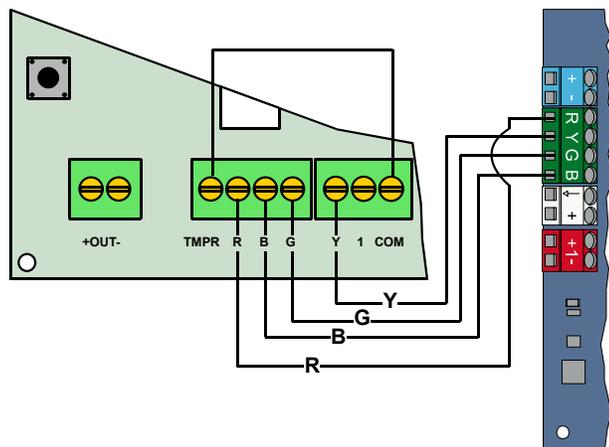
- DX2010のDIPスイッチを設定します。
 - 監視エリア9～16 = アドレス102
 - 監視エリア17～24 = アドレス103
 - 監視エリア25～32 = アドレス104



- DX2010をコントロールパネルに接続します。

ジャンパをTMPRおよびCOM端子に接続して、DX2010の不正操作入力を無効にします。

監視エリアの配線オプションについては、第2.6項「管理されている監視エリアの接続」 (14ページ) を参照してください。

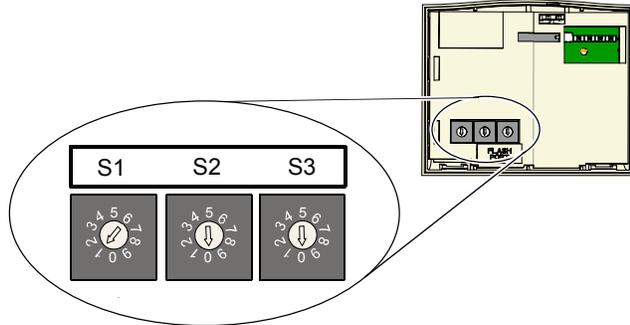


2.5 ワイヤレスハブのインストレーション (ステップ5)

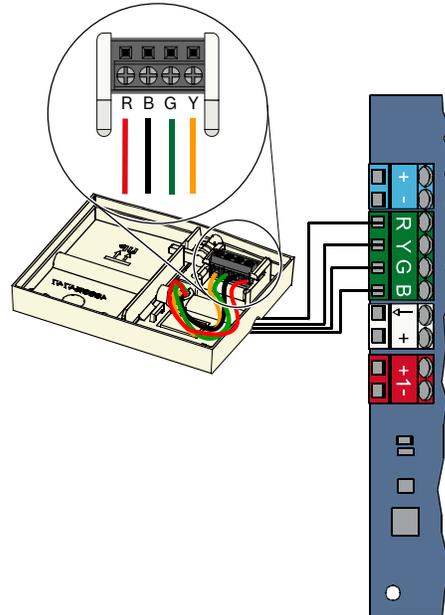


ワイヤレスハブなどのワイヤレス機器をインストールする前に、第3.0項「監視エリアの拡張」(24ページ)、『ISW-BHB1-WXインストレーション手順』(P/N: F01U500915)、『wLSNレファレンスガイド』(P/N:F01U009440)、および各ワイヤレス機器に支給されているインストレーション手順を参照してください。

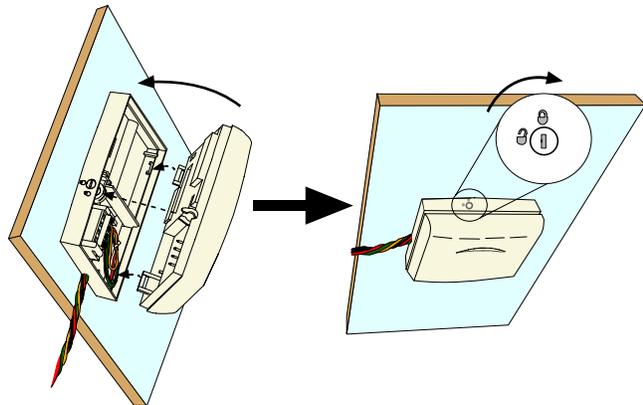
- 『wLSNレファレンスガイド』に説明されている方法でサイトテストを実施します。
- ワイヤレスハブのS1スイッチをアドレス50(位置1)に設定します。
コントロールパネルは1基のワイヤレスハブをサポートします。
機器のアドレス指定ではスイッチS2およびS3は使用しません。



- ハブをコントロールパネルに接続します。



- ワイヤレスハブの上にカバーを置き、このカバーをハブに固定します。
- 各ワイヤレス機器のインストレーション手順に従い、ワイヤレス機器のベースをインストールします。



2.6 管理されている監視エリアの接続 (ステップ6)



主要AC電源と予備バッテリーの配線をあらゆる省電力配線から分離します。さらなる詳細については、第7.2項「電力制限配線のグループ指定」(58ページ)を参照してください。

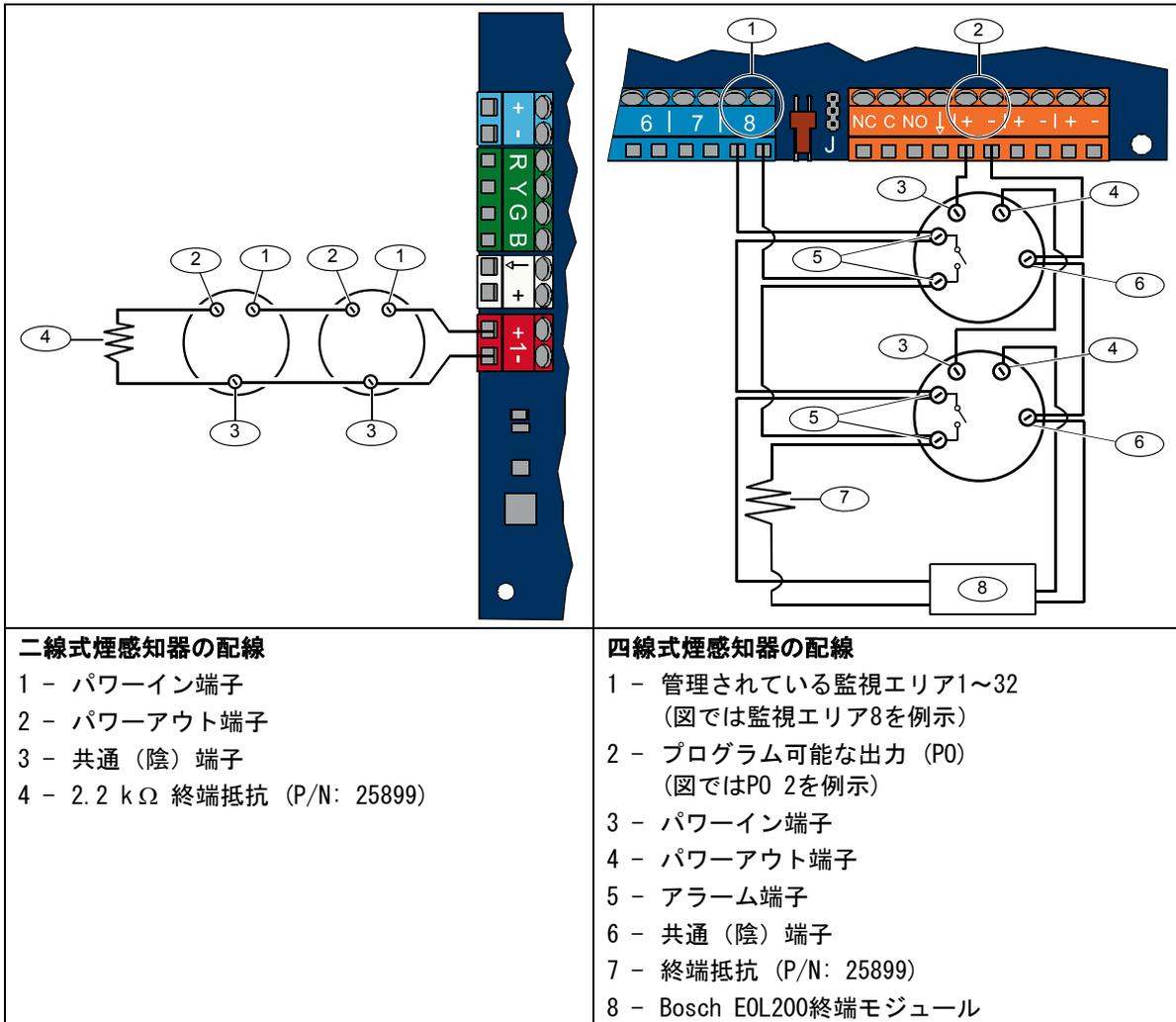
2.6.1 火災監視エリアの配線

管理されている監視エリア1は二線式および四線式煙感知器をサポートします。

管理されている監視エリア2~32は四線式煙感知器のみに対応します。

管理されている監視エリアを火災監視エリアとしてプログラムするには、第4.2.1項「監視エリア」(31ページ)を参照してください。

侵入監視エリアの設定については、第2.6.2項「侵入監視エリアの配線」(15ページ)を参照してください。



互換性のある二線式煙感知器については『Easyシリーズ煙感知器互換性リスト』(P/N:F01U004853)を参照してください。



四線式煙感知器へ電力を供給するために出力を使用する際は、システムリセットの出力機能を設定してください。第4.2.3項「出力」(33ページ)を参照してください。

2.6.2 侵入監視エリアの配線

下図を参照して、管理されている監視エリア1~32を有線またはワイヤレス侵入監視エリアとして配線します。

管理されている監視エリア1~32を侵入監視エリアとしてプログラムするには、第4.2.1項「監視エリア」(31ページ)を参照してください。

火災監視エリアの設定については、第2.6.1項「火災監視エリアの配線」(14ページ)を参照してください。

<p>一相 2.2 kΩ 終端抵抗</p> <p>1 - 管理されている監視エリア (内蔵、DX2010、またはワイヤレス入力)</p> <p>2 - 機器端子</p> <p>3 - アラーム端子 (通常開接)</p> <p>4 - 2.2 kΩ 終端抵抗</p>	<p>一相 2.2 kΩ 終端抵抗</p> <p>1 - 管理されている監視エリア (内蔵、DX2010、またはワイヤレス入力)</p> <p>2 - 機器端子</p> <p>3 - アラーム端子 (通常閉接)</p> <p>4 - 不正操作端子</p> <p>5 - 2.2 kΩ 終端抵抗</p>	<p>二相 2.2 kΩ 抵抗 (センサの不正操作)</p> <p>1 - 管理されている監視エリア (内蔵、DX2010、またはワイヤレス入力)</p> <p>2 - 機器端子</p> <p>3 - アラーム端子</p> <p>4 - 不正操作端子</p> <p>5 - 2.2 kΩ 終端抵抗</p> <p>6 - 2.2 kΩ アラーム抵抗器</p> <p>7 - 追加機器 (最高4基)</p>

2.6.3 キースイッチの配線

下図を参照して、管理されている監視エリア1~32をキースイッチ監視エリアとして配線してください (下図では監視エリア2を例示)。

管理されている監視エリア1~32をキースイッチ監視エリアとしてプログラムするには、第4.2.1項「監視エリア」(31ページ)を参照してください。

<p>一相 2.2 kΩ 終端抵抗オプション</p> <p>1 - 管理されている監視エリア (内蔵、DX2010、またはワイヤレス機器)</p> <p>2 - 2.2 kΩ 抵抗</p> <p>3 - 通常開接瞬時または持続キースイッチ</p>	<p>二相 2.2 kΩ 抵抗(センサの不正操作オプション)</p> <p>1 - 管理されている監視エリア (内蔵、DX2010、またはワイヤレス機器)</p> <p>2 - 2.2 kΩ 抵抗</p> <p>3 - 通常閉接瞬時または持続キースイッチ</p>

2.7 プログラム可能な出力の接続 (ステップ7)



主要AC電源と予備バッテリーの配線をあらゆる省電力配線から分離します。さらなる詳細については、第7.2項「電力制限配線のグループ指定」(58ページ)を参照してください。

2.7.1 プログラム可能な出力1の配線

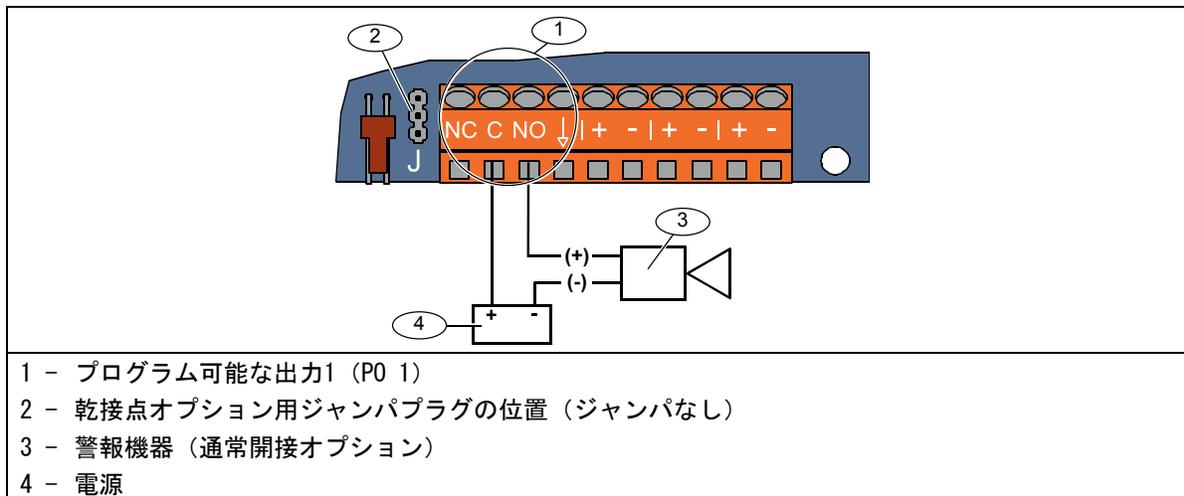
12 V切り替えオプション

<p>警報機器 (バッテリーなし)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 - プログラム可能な出力1 (P0 1) 2 - 12 V切り替えオプション用ジャンパプラグの位置 3 - 警報機器 	<p>警報機器 (バッテリー付き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 - プログラム可能な出力1 (P0 1) 2 - 12 V切り替えオプション用ジャンパプラグの位置 3 - コントロールパネルの白い補助電源端子 (12 VDC) 4 - 警報機器 5 - トリガー電圧を取り除くと警報機器が作動します

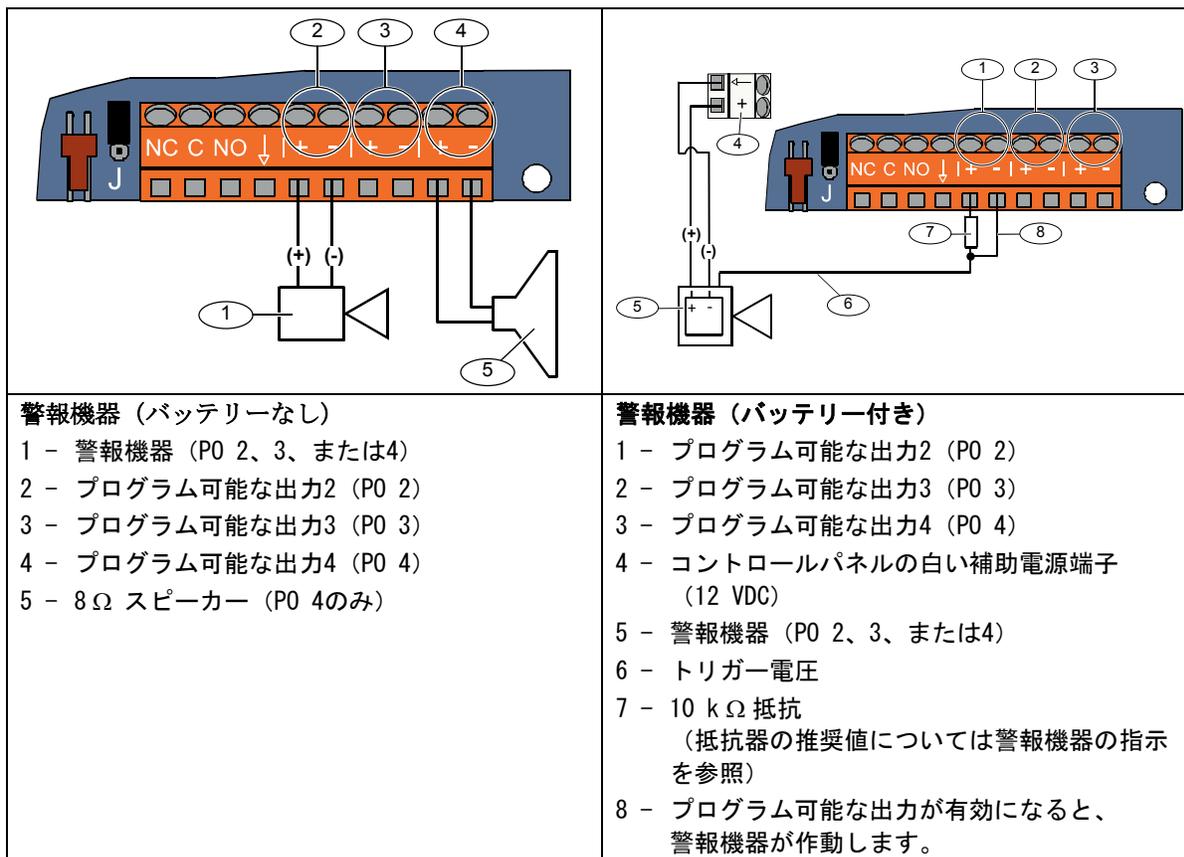
アース切り替え位置

<ul style="list-style-type: none"> 1 - プログラム可能な出力1 (P0 1) 2 - アース切り替えオプション用ジャンパプラグの位置 3 - コントロールパネルの白い補助電源端子 (12 VDC) 4 - 警報機器

乾接点オプション



2.7.2 プログラム可能な出力2~4の配線

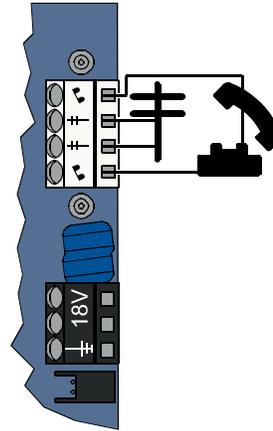


P04を管理されているスピーカードライバとしてプログラムする場合は、スピーカ管理の障害を防ぐために8Ωスピーカーを接続してください。詳細については「上級者向けの設定項目番号642」(51ページ)を参照してください。

UL規格認定インストールの場合は、UL規格認定済みの85 dBサウンディング機器をP0 4に接続してください。

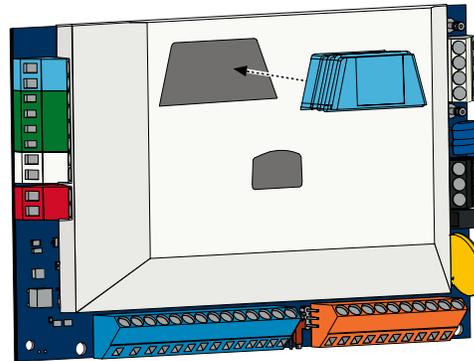
2.8 電話回線の接続 (ステップ8)

着信電話回線と自宅の電話をコントロールパネルに接続します。



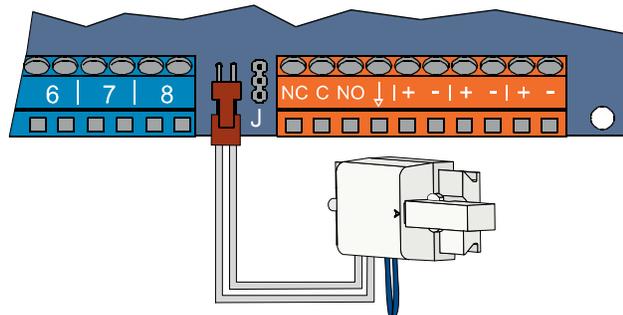
2.9 音声モジュールの挿入 (ステップ9)

システムを操作するには音声モジュールが必要です。



2.10 EZTSの接続 (ステップ10)

EZTSタンパースイッチ (オプション) をステップ1 (8ページ) でインストールした場合は、そのケーブルをコントロールパネルの2本ピンコネクタに接続します。



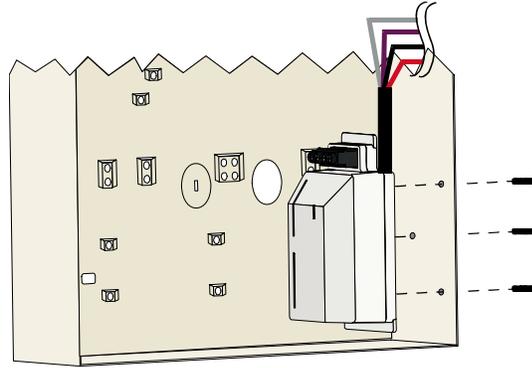
2.11 電源のインストール (ステップ11)



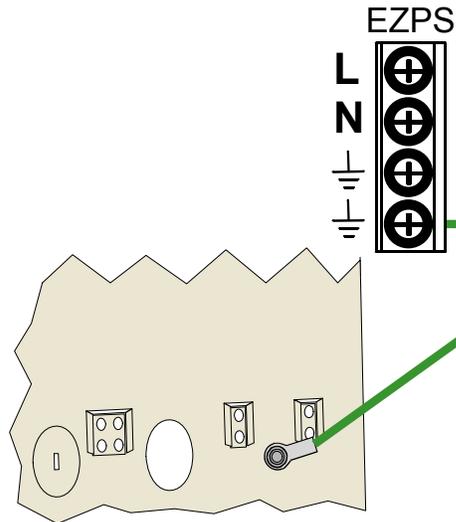
本システムでは、EZPSワイヤイン型またはプラグイン型のいずれかの電源を使用します。どちらの電源でも、筐体の地線と予備バッテリーが必要です。インストールで使用する電源については、以下の指示に従ってください。

2.11.1 EZPSワイヤイン電源

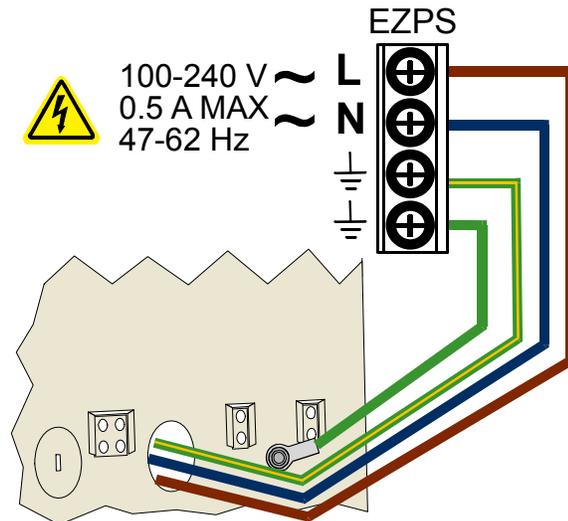
1. EZPSとともに支給されているスクリューを使ってEZPSを筐体に取り付けます。



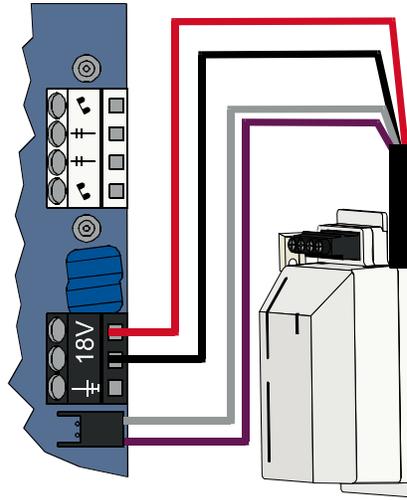
2. EZPSの地線を筐体のボルトに接続します。



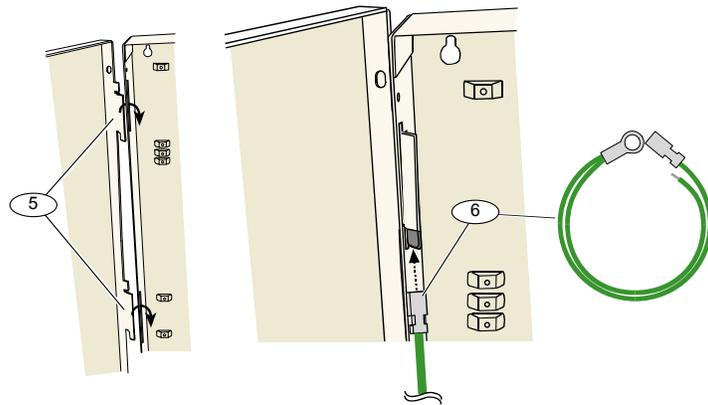
3. AC電源をEZPSに接続します。



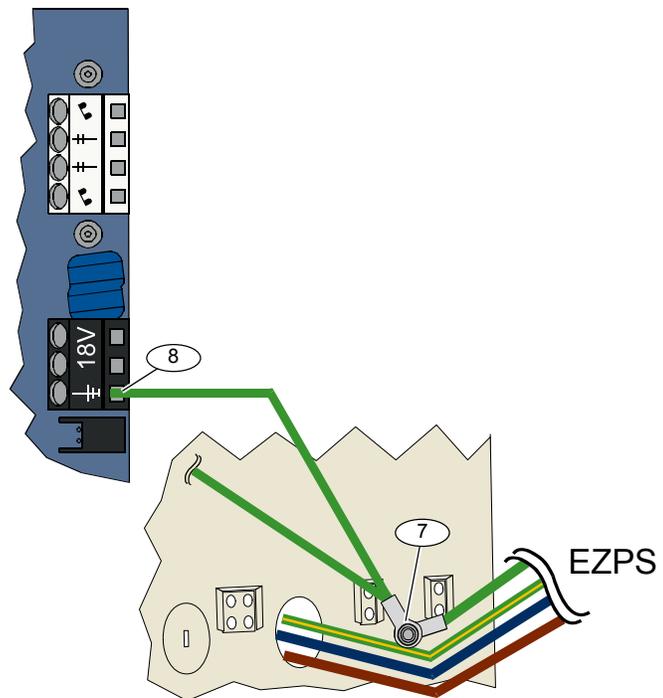
4. EZPSの配線をコントロールパネルに接続します。



5. ドアの蝶番を筐体に挿入します。
6. ドアの上側の蝶番の塗装していない部分に筐体の地線コネクタを押し入れます。

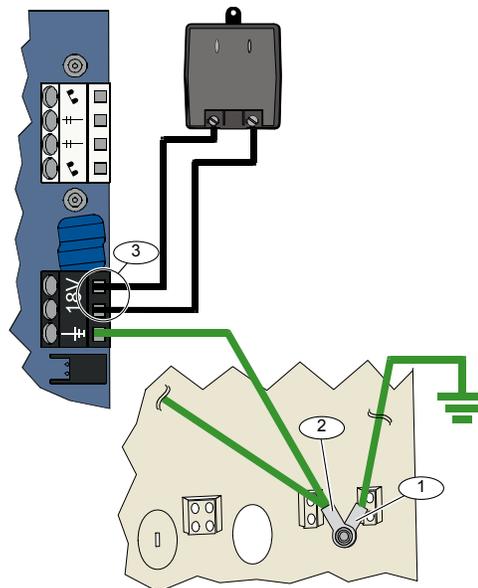


7. 筐体の地線をねじ付き植込ボルトに接続します。
8. コントロールパネルの接地端子に筐体の地線を接続します。



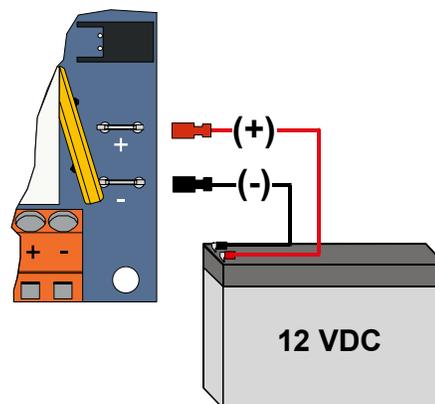
2.11.2 プラグイン電源

1. 筐体の地線を良好な接地場所に接続します。
2. 筐体の地線を接続します。
手順については、第2.11.1項「EZPSワイヤイン電源」(19ページ)のステップ5~8を参照してください。
3. プラグイン型電源をコントロールパネルに接続します。



2.11.3 12VDC予備バッテリー

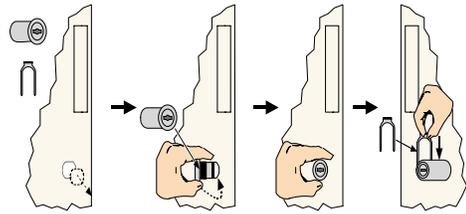
システムの配線がすべて完了したら、ACと予備バッテリーを使ってコントロールパネルの電源を入れます。



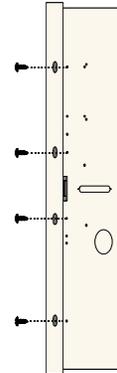
2.12 筐体の固定 (ステップ12)

筐体のドアを固定するには以下の手順に従います。

- 筐体のドアロックを取り付けるか、
- スクリューでドアを固定します。
スクリューは支給されていません。



または



2.13 コントロールパネルのプログラム (ステップ13)

インストールが完了したら、コントロールパネルをプログラムできます。

詳細については第4.0項「プログラム」(29ページ)を参照してください。

2.14 システムのテスト (ステップ14)

プログラムが完了したら、適切に操作できるかどうかシステムをテストする必要があります。

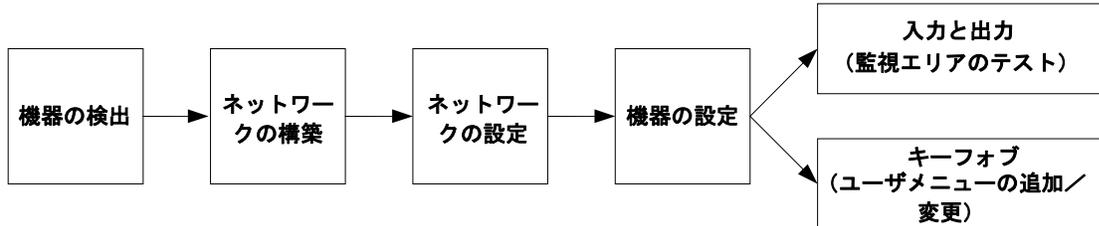
詳細については、第5.0項「システムテスト」(56ページ)を参照してください。

3.0 監視エリアの拡張

完全なワイヤレスのインストールおよび設定情報については、ワイヤレスハブとともに支給されている『wLSN レファレンスガイド』(P/N: F01U009440) および各ワイヤレス機器に同梱されているインストール手順を参照してください。

3.1 ワイヤレスネットワークの構築とワイヤレス機器の設定

ワイヤレスネットワークを適切に操作するには、以下のプロセスに従う必要があります。



3.1.1 新規システムの検出

検出は、ワイヤレスハブが新規（未検出）機器を識別してシステムに含めるプロセスです。新規システムの検出プロセスは1回のみ実施できます。既存のワイヤレスシステムを更新するには、第3.2項「ワイヤレス管理」（26ページ）を参照してください。

新規システムで検出プロセスを開始する方法は3種類あります。

- **システムテストボタン：**
 1. すべての機器でRFSSモードが終了していることを確認します。
 2. システムテストボタンを1秒間押し続けます。
監視エリアテストの開始時に機器検出プロセスが自動的に開始されます。
- **ワイヤレス設定メニュー：**
 1. 電話をかけます。電話セッションのオプションについては、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
 2. インストラメニューから「システム管理」を選択し、次に「ワイヤレス設定」を選択します。
機器検出プロセスが自動的に始まります。
- **監視エリアのテスト：**
 1. 電話をかけます。
電話セッションのオプションについては、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
 2. インストラメニューから：
 - [1]を押して「システム管理」を選択し、次に[2]を押して「完全なシステムテスト」を選択します。監視エリアテストの開始時に検出プロセスが開始されます。

または

 - [1]を押して「システム管理」を選択し、次に[3]を押して「システムテストメニュー」を選択します。システムテストメニューで[5]を押して「監視エリアのテスト」を選択します。
監視エリアテストの開始時に検出プロセスが開始されます。

3.1.2 ワイヤレスネットワークの構築と設定

ワイヤレスハブは自動的にワイヤレスネットワークを構築、設定します。

ワイヤレスハブは、ノイズ、ワイヤレス信号の強さ、その他の隣接ワイヤレスシステムについて利用可能な無線周波数（RF）をチェックします。ワイヤレスハブは次に、ノイズとトラフィックの量が最も少ない周波をネットワーク操作用に選択します。

ワイヤレスネットワークを設定するために、ワイヤレスハブは通信に最も適したチャンネルを選択します。チャンネルの選択後、ワイヤレスハブは検出された機器をすべて設定し、選択済みの周波で操作できるようにします。この処理には数分かかります。

3.1.3 機器の設定

入出力機器



ISW-BMC1-S135X ドア・窓センサおよびISW-BIN1-S135X慣性検知器には入力用にマグネットスイッチがついています。マグネットスイッチを使用しない場合は、監視エリアテストを開始する前にマグネットを機器から取り外してください。

ネットワークが構築、設定されると、システムが「全ての監視エリアをテストします」と通知します。ワイヤレス機器を 入力機器、出力機器、継電器モジュールの順番でテストします。



予定されているワイヤレス機器のテストがすべて完了するまで、監視エリアテストを終了しないでください。

テストを終了してしまうと、機器を手動でシステムに追加しなくてはなりません。インストールする予定ではないワイヤレス機器がワイヤレスハブの範囲内にある場合、ハブはこの機器も検出する可能性があります。使用していない機器をシステムから除外するには、[#]（またはコントローラの[5]）を押して監視エリアのテストを終了してください。ワイヤレスハブは使用していない機器をすべて未検出状態に戻します。

各機器をテストしたら、第4.3.5項「監視エリアのプログラム項目」（46ページ）と第4.3.6項「出力のプログラム項目」（51ページ）を完了します。

機器を復旧すると、システムが割り当てられた機器番号を通知します。

3.1.4 機器のテスト



監視エリアの番号は、機器をテスト（不正操作または障害および復旧）した順にワイヤレス機器に割り当てられます。ワイヤレス機器に特定の監視エリア番号を割り当てたい場合は、ワイヤレス機器を適切な順序でテストするようにしてください。それ以外の場合、システムは最も低い監視エリア番号を最初にテストしたワイヤレス機器に割り当てます。

各ワイヤレス機器のテスト方法については、下表を参照してください。

機器	テスト方法
動作検知器	検知器の作動範囲内を歩いてみます。
煙感知器	<ul style="list-style-type: none"> 感知器のテストボタンを押してから離すか アラームが鳴るよう感知器の内部に煙を吹きかけます。アラームを復旧します。
継電器モジュール	<ul style="list-style-type: none"> 入力： 管理されているループに障害を発生させてから復旧します。 出力： 機器を不正に操作します。 入力と出力の双方を使用している場合に限り、両方のテストを行います。
慣性検知器	<ul style="list-style-type: none"> マグネットスイッチ： スイッチを開いてから、また閉じます。 慣性のみ： アラームを鳴らしてからこれを復旧するか¹、検知器を不正に操作します³。
ガラス破壊センサ	アラームを鳴らしてからこれを復旧するか ² 、センサを不正に操作します ³ 。
小型ドア・窓センサ 凹型ドア・窓センサ	マグネットスイッチを開いてから、また閉じます。
ドア・窓センサ	<ul style="list-style-type: none"> マグネットスイッチを開いてから、また閉じます。または、 管理されているループに障害を発生させてから復旧します。 マグネットスイッチと管理されているループの双方を使用している場合に限り、両方のテストを行います。
サイレン	機器を不正に操作します。

¹ 慣性検知器をテストするには、慣性アラームが鳴るように衝撃を与えてから、アラームを復旧します。

² ガラス破壊センサをテストするには、特別な道具を使ってガラス破壊アラームを鳴らしてから、アラームを復旧します。

³ 機器を不正に操作すると、コントロールパネルは検知器を記録しますが、これをテストしません。検知器をテストするには、適切なアラームを鳴らしてからこれを復旧する必要があります。

キーフォブ

他のワイヤレス機器（入力および出力）をすべて検出、設定した後にキーフォブを追加します。

1. 最後のワイヤレス機器を設定して監視エリアテストが終了したら、インストーラメニューを終了できるまで繰り返し[#]を押し、電話を切ります。
2. 新しく電話をかけるか、コントローラの[3]を押し続けて、管理者（ユーザ1）の暗証番号を入力します。
3. ユーザメニューを選択するには、[4]を押します。
4. 新規ユーザを追加するには、[1]を押します。
5. 暗証番号を入力してください。
6. 暗証番号を再入力します。
7. [4]を押してキーフォブを追加します。
認証タグの割当てと音声による説明はオプションです。
8. ユーザやキーフォブをさらに追加するにはステップ4~7を繰り返してください。また、電話を切るには[#]を繰り返し押してください。

キーフォブのみのシステム（ワイヤレス入力または出力機器のインストールなし）を作成するには、ステップ2から開始します。

キーフォブのみのシステムでは、最初のキーフォブの追加に数分かかる場合があります。これはワイヤレスネットワークが構築、設定されるためです。その後のキーフォブの追加では、これほど時間はかかりません。

3.2 ワイヤレス管理

3.2.1 ワイヤレス設定メニュー

ワイヤレス設定メニューを使うと、以下を実行できます。

- 新規ワイヤレス機器を既存のワイヤレスシステムに追加
- ワイヤレスネットワークを最初に検出した際に検出されなかったワイヤレス機器を追加
- 既存のワイヤレスシステムのワイヤレス機器を交換または削除

ワイヤレス設定メニューにアクセスするには、以下の手順に従います：

1. 電話をかけます。
電話セッションのオプションについては、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
2. インストラメニューで[1]を押して「システム管理」を表示します。
3. システム管理で[6]を押して「ワイヤレス設定」を表示します。
メニューオプションと説明については、下表を参照してください。
メニューオプションは最初の機器検出と監視エリアテストが完了した後のみ利用できます。

ボタン	メニューオプション	詳細
[1]	機器の交換	このオプションを使うと、既知の機器を新規の機器に交換できます。 1. 監視エリアを交換するには[1]、出力を交換するには[3]を押します。 継電器モジュールについては、入力か出力のどちらかを選択してから、ステップ2で適切な番号を入力します。 2. 希望する監視エリア番号か出力番号を入力します。 機器検出プロセスが始まります。 3. システムが「全ての監視エリアをテストします」と通知したら、新しい機器を起動させます。 新しい機器が現在の機器に取って代わります。ステップ2で他の機器が検出されている場合、このような機器は未検出の状態に戻ります。
[2]	機器の追加	このオプションを使うと、ワイヤレスネットワークに機器をさらに追加できます。 [2]を押してこのオプションを選択すると、機器検出プロセスが始まります。システムが「全ての監視エリアをテストします」と通知したら、新しい機器をすべて起動させます。 他の機器が検出されているものの起動されていない場合、このような機器は未検出の状態に戻ります。
[3]	機器の削除	このオプションを使うと、システムから既知の機器を削除できます。 1. 監視エリアを削除するには[1]、出力を削除するには[3]を押します。 2. 希望する監視エリア番号か出力番号を入力します。 選択した監視エリア番号が継電器モジュールに対応している場合は、入力と出力の 双方 がシステムから削除されます。入力または出力のいずれかのみを削除したい場合は、プログラムを使って対応機能を無効にする必要があります。 3. [1]を押して機器を削除します。 ワイヤレスハブがシステムから機器を削除し、監視エリアのタイプまたは出力機能が「0」（無効）に設定されます。
[4]	ワイヤレスデータの転送 (コントロールパネルからハブ)	ハブを交換した場合、このオプションを選択するとワイヤレスデータをコントロールパネルからワイヤレスハブに送信できます。
[5]	ワイヤレスデータの転送 (ハブからコントロールパネル)	コントロールパネルを交換した場合、このオプションを選択するとワイヤレスデータをワイヤレスハブからコントロールパネルに送信できます。このオプションではキーフォブが削除されます。
[6]	消去して検出	コントロールパネルのワイヤレスデータがハブのワイヤレスデータに一致しない場合（バス機器障害50）、このオプションを使うと、コントロールパネルとハブの双方にあるワイヤレスデータを消去して機器をすべて再度検出できます。 このオプションは、ワイヤレスデータがコントロールパネルとハブで一致しない場合にのみ利用できます。
[#]	ワイヤレス設定の終了	このオプションを選択すると、システム管理オプションに戻ります。

3.2.2 監視エリア1~8をワイヤレス監視エリアとして割り当てる

内蔵監視エリア（1~8）をワイヤレス監視エリアとして割り当てるには、機器の検出プロセスを開始する前にプログラムで監視エリアを無効にします。

監視エリア1~8は個々にワイヤレス監視エリアとして割り当てることができます。

3.2.3 DX2010入力伸張器およびワイヤレス監視エリア



監視エリア9~32に有線およびワイヤレスの監視エリアが含まれている場合は、ワイヤレス監視エリアをシステムに追加する前に必要なDX2010入力伸張器をすべてインストールしてください。

ワイヤレス監視エリアの追加前にDX2010を追加する

コントロールパネルは最高3基の DX2010 モジュールをサポートします。

各モジュールは8ヶ所の監視エリアで使用できます。

DX2010のDIPスイッチアドレスにより、DX2010がどの監視エリアのグループに使われるか決まります。

- アドレス102：DX2010は監視エリア9~16に使用
- アドレス103：DX2010は監視エリア17~24に使用
- アドレス104：DX2010は監視エリア25~32に使用

DIPスイッチ設定の詳細については、第2.4項「DX2010のインストレーション」（12ページ）を参照してください。

各DX2010モジュールがシステムに追加されるたびに、次に利用できる監視エリアのグループが使われます。

監視エリア9~32については、ワイヤレス監視エリアもDX2010モジュールと同じ8ヶ所のグループを使います：

- アドレス101（監視エリア9~16）を使ってDX2010モジュールを追加すると、ワイヤレス監視エリアは監視エリア17~32のみを使用できます。
- アドレス101（監視エリア9~16）とアドレス102（監視エリア17~24）を使ってDX2010モジュールを2基追加すると、ワイヤレス監視エリアは監視エリア25~32のみを使用できます。
- DX2010モジュールを3基追加すると、ワイヤレス監視エリアは監視エリア1~8のみを使用できます。

ワイヤレス監視エリアの追加後にDX2010を追加する

ワイヤレス監視エリアを追加した後にDX2010モジュールを追加する場合は、DIPスイッチのアドレスに応じてDX2010は矛盾するワイヤレス監視エリアのグループに取って代わります。

例えば、ワイヤレス監視エリアが監視エリア9~24を使用しており、有線監視エリアとして監視エリア17~24が必要な場合、DX2010モジュール（アドレス103）は監視エリア17~24を使用している有線監視エリアに取って代わります。

次の監視エリアグループが利用できる場合（例えば、監視エリア25~32）、コントロールパネルは音声による説明以外の監視エリア設定をすべて維持し、矛盾するワイヤレス監視エリアを次の監視エリアグループに移動させます。移動された監視エリアの音声による説明は再度収録する必要があります。

次の監視エリアグループが利用できない場合、コントロールパネルは矛盾するワイヤレス監視エリアをシステムから削除します。

3.2.4 ワイヤレスネットワークの回復

「上級者向けの設定項目番号9999」を使用すると、コントロールパネルを工場でのデフォルト設定に復旧させることができます。コントロールパネルではワイヤレスネットワークデータはすべて失われますが、ワイヤレスハブではこれが維持されます。

ワイヤレスハブからワイヤレスネットワークデータを回復するには、以下の手順に従ってください：

1. 電話をかけます。
2. [1]を押してシステム管理を選択します。
3. [6]を押してワイヤレス設定メニューを選択します。
4. [5]を押してワイヤレスデータをハブからコントロールパネルに転送します。
このオプションではキーフォブの割り当てが削除されます。キーフォブはすべて再度割り当てる必要があります。

3.3 ワイヤレスシステムメッセージ

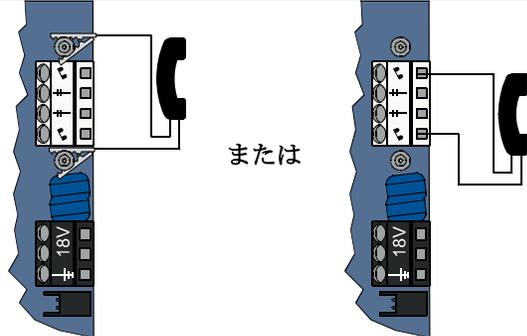
ワイヤレスネットワークに関するシステムメッセージの説明については、下表を参照してください。

システムメッセージ	詳細
「ワイヤレスデバイスが設定されていません」	すべてのワイヤレス監視エリアをテストする前に監視エリアのテストが終了しました。
「余分なデバイスが無視されました」	デバイスをシステムに追加するよう試行されましたが、システムにはすでに最大限の監視エリアまたは出力が含まれています。
「監視エリアのテストは終了しました」	監視エリアがテストされました。RFSSは許容範囲でした。
「監視エリア x 小です」	監視エリアがテストされました。RFSSは許容範囲外でした。
「しばらくお待ちください」	ワイヤレスネットワークが使用中か、コントロールパネルがワイヤレスネットワークの反応を待っています。 このメッセージとともに、回転する警戒シールドがコントローラに表示されることもあります。
「ワイヤレスエラー」	ワイヤレスハブが混信しているか、紛失している、または障害が発生しています。
「ワイヤレスデバイス x」	「x」 = 検出されたもののテストされていないデバイスの数です。
「テストされていないワイヤレスデバイスの数 : x」	「x」 = 検出されたものの、まだ設定されていないデバイスの数です。
「監視エリア x はテストしていません」	コントロールパネルは監視エリア番号をデバイスに割り当てたものの、デバイスはテストされていません（障害または不正操作、および復旧）。 「x」 = 音声による説明です。 デフォルトで、システムは監視エリアの番号を通知します。

4.0 プログラム

4.1 プログラムの開始

以下の方法のいずれかを選択してインストーラメニューに入力します。

方法	ステップ
自宅の電話	<ol style="list-style-type: none"> 1. [#][#][#]と押します。 2. 音声指示を聞いて暗証番号を入力します。 3. インストーラの暗証番号を入力します。¹ 4. 基本設定の場合は[3]、上級者向けの設定の場合は[4]を押します。
建物外の電話	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建物内の電話番号にかけます。 2. 人または留守番電話が出たら、[*][*][*]を押して応答者との接続を切り、システムにアクセスします。 人あるいは留守番電話機能につながらない場合、予め設定された回数の呼び出し音の後にシステムが応答します。「上級者向けの設定項目番号222」（42ページ）を参照してください。 3. 音声指示を聞いて暗証番号を入力します。 4. インストーラの暗証番号を入力します。¹ 5. 基本設定の場合は[3]、上級者向けの設定の場合は[4]を押します。
インストーラクイックコネクト ²	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話セットをテストポストか電話端末に接続します。 
RPS	詳細については、第4.6項「遠隔プログラムソフトウェア（RPS）」（55ページ）を参照してください。

¹ 暗証番号の長さが4桁の場合、デフォルトのインストーラ暗証番号は5432です。暗証番号の長さが6桁の場合、デフォルトのインストーラ暗証番号は543211です。暗証番号の長さやインストーラの暗証番号を変更するには、第4.3.8項「ユーザのプログラム項目」（53ページ）を参照してください。

² 電話回線が利用できない場合、または地域内での接続が必要な場合にインストーラクイックコネクトを選択します。この方法を利用するには、システムが解除されている必要があります。

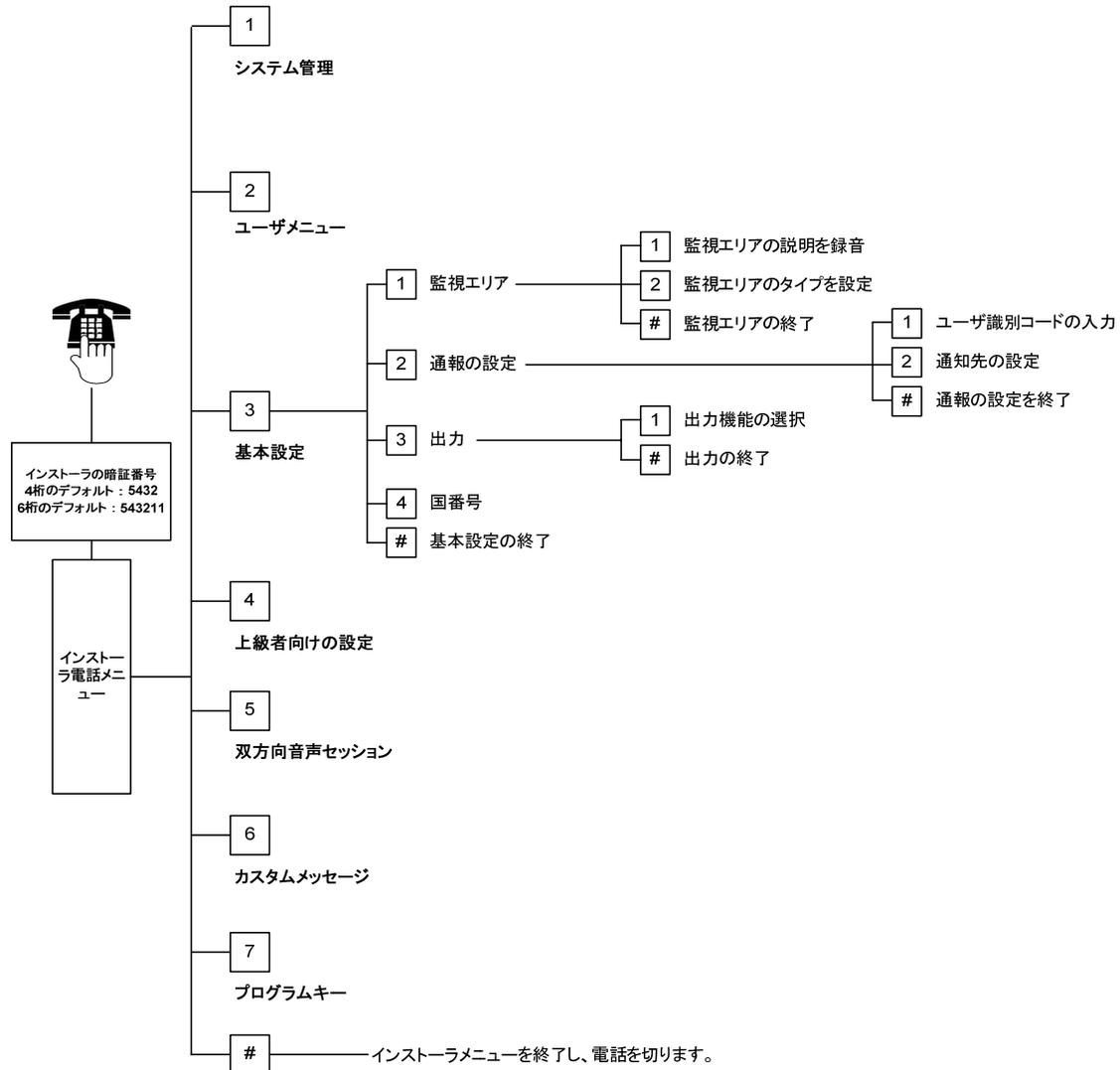


初回のプログラム

1. プログラム上の変更を行う前に、インストレーションに適した国番号を設定します。
この選択により、コントロールパネルのデフォルトが適切な国別の数値に設定されます。
第4.2.4項「国番号」（34ページ）を参照してください。
2. 日時を設定します。第1.5項「インストーラ電話メニュー」（6ページ）を参照してください。

4.2 基本設定

基本設定は、必須プログラム項目を含む音声メニューで構成されています。一般的に、全体的なシステムには、この設定のみが必要です。



4.2.1 監視エリア



最初に第1.4項「システム設定」(5ページ)のステップを完了しない限り、ワイヤレス監視エリアをプログラムできません。

監視エリア

1から32までの監視エリア番号を入力します。

1

監視エリアの説明を録音

例えば、監視エリア1が建物入口にある場合は、トーンの後で「入口」と言います。

[1]を押して、選択した監視エリアの設定を続けます。

[2]を押すと、現在の監視エリアの説明を再度録音できます。

2

監視エリアのタイプを設定

現在のオプションを選択するには[1]を押します。

他のオプションを聞くには[2]を押します。

[#]を押すと、監視エリアのタイプを終了します。

監視エリアのタイプ	詳細
無効	監視エリアは無効になっています。
周辺 (入口または出口)	監視エリアに障害が発生し、システムが作動している場合、発報遅延が開始されます。発報遅延の時間内にシステムが解除されない場合はアラームが発生します。
センサ遅延なし (後続)	システムが在室中に作動している場合、これらの監視エリアは無視されます。システムが外出中に作動している場合は、内部監視エリアに障害が発生するとアラームが発生します。これらの監視エリアは警戒・発報遅延時間内は無視されます。
外出センサ遅延なし	システム作動中に障害が発生すると、一部区域内でアラームを発します。システムが中止枠内で解除されると、アラームは警備会社に報告されません。
24時間	障害が起きると、常にアラームを発します。24時間監視エリアを復旧するには、システムが作動している場合はこれを解除します。また、システムが解除されている場合は、アラームを確認します。
火災確認中	障害が起きると、火災確認が行われます。2回目の火災イベントが2分の猶予時間内に発生すると、火災警報を発します。2回目の火災イベントが発生しなければ、システムは常態に戻ります。
火災センサ遅延なし	障害が起きると、常に火災警報を発します。
サイレントパニック	障害が起きると、常にアラームを発します。アラームは視覚・聴覚では感知できません。
屋内センサ遅延あり	障害が発生し、システムが個別警戒で作動している場合は、発報遅延が始まります。システムが在室中または外出中に作動している場合、この監視エリアは内部監視エリアとして機能します。
タイマーキャンセル用 外周センサ	障害が起きても警戒遅延の時間内に復旧されると、警戒遅延が停止してシステムが即時作動します。
ワンショットスイッチ	ワンショットスイッチを利用するとシステムを作動または解除できます。
ラッチスイッチ	ラッチスイッチを利用するとシステムを作動または解除できます。

#

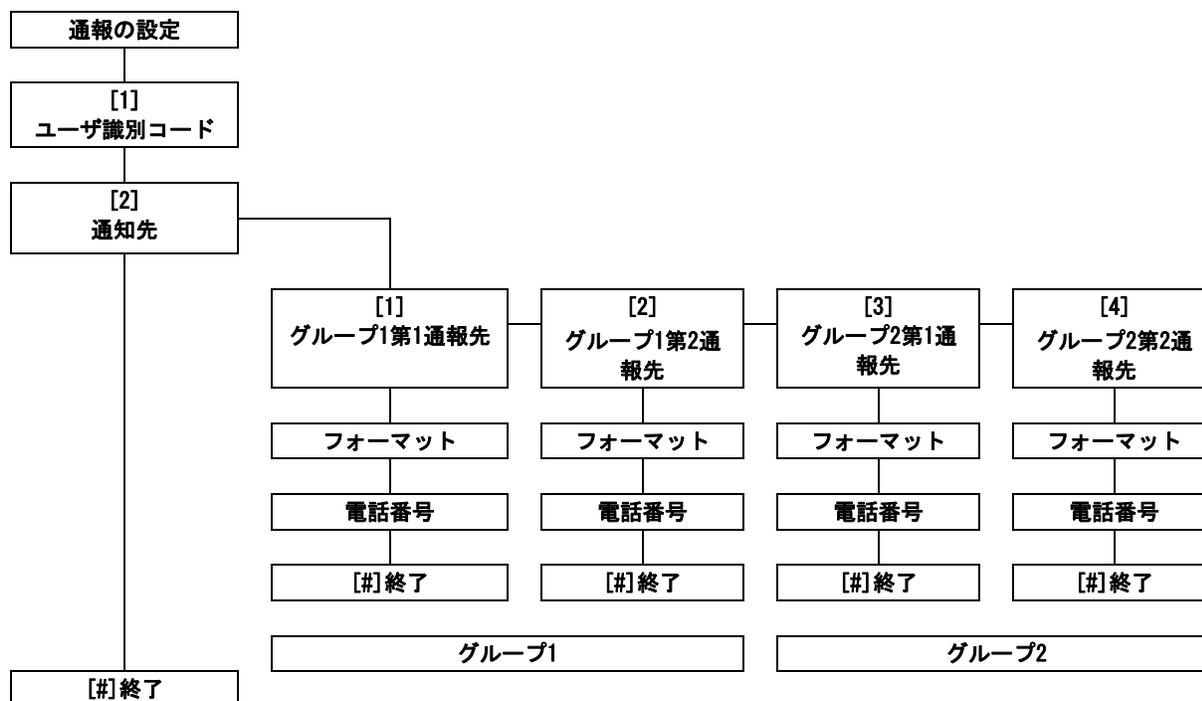
監視エリアの終了

インストラメニューに戻ります。



監視エリアのプログラム入力内容は47ページから始まる「監視エリアのプログラム入力表」に記録します。

4.2.2 通報の設定



通報を設定するには以下の手順に従います。

- 4桁または6桁のユーザ識別コードを入力します。
ユーザ識別コードは、あらゆる通知先に適用されます。
- 通知先を選択します。
[1] = グループ1第1通報先
[2] = グループ1第2通報先
[3] = グループ2第1通報先
[4] = グループ2第2通報先
- 通知先のフォーマットオプションを選択します。
[1] = 最初のオプションを選択
[2] = 次のオプションを聞く
- 通知先の電話番号を入力します。
- 追加の通知先についてはステップ2~4を繰り返します。
- 通報を有効または無効にするには、第4.3.4項「通報グループ指定のプログラム項目」(43ページ)を参照してください。

ユーザ識別コードの入力：

入力	使用するキー
0~9	[0]~[9]
B	[*][1]
C	[*][2]
D	[*][3]
E	[*][4]
F	[*][5]

電話番号の入力：

入力	使用するキー
0~9	[0]~[9]
*	[*][*]
#	[*][#]
一時停止	[*][1]
保存して終了	[#]
保存せずに終了	[#][#] ¹
電話番号を無効にする	[0][#]

¹ [#]を2秒以内に2回押すと、入力内容を保存せずに終了します。

フォーマットのオプション：

- 無効 (デフォルト)
- コンタクトID
- SIA
- 音声
- SMSテキスト*
- ファーストフォーマット

* SMSテキストメッセージ：

- 侵入警報
- 火災警報
- システム作動
- システム解除
- 監視エリアの障害
- システム障害
- テストレポート
- 復旧
- キーパッド

SMSプロバイダはSMSテキストメッセージの送付を保証しません。



通報の設定プログラム入力を第4.3.3項「通報機のプログラム項目」(41ページ)に記録します。

4.2.3 出力



最初に第1.4項「システム設定」(5ページ)のステップを完了しない限り、ワイヤレス出力をプログラムできません。

出力機器はブザー、ベル、フラッシュライトから成っています。

出力 1~8の出力番号を入力します。

1

出力機能

現在のオプションを選択するには[1]を押します。
他のオプションを聞くには[2]を押します。
出力機能を終了するには[#]を押します。

出力機能	詳細
無効	出力が無効になっています。
侵入	侵入警報が発生すると、出力が作動します。出力を切断するには、システムを解除するか、侵入ベル切断時間が終了するまで待ちます。
侵入保持出力	侵入警報が発生すると、出力が作動します。出力を切断するには、システムを解除します。
火災	火災警報が発生すると、出力が作動します。出力を切断するには、システムが作動している場合はシステムを解除するか、火災ベル切断時間が終了するまで待ちます。
火災保持出力	火災警報が発生すると、出力が作動します。出力を切断するには、システムが作動している場合はこれを解除します。システムが解除されている場合はアラームを確認します。
侵入・火災非保持出力	侵入または火災警報が発生すると、出力が作動します。出力を切断するには、システムを解除するか、ベル切断時間が終了するまで待ちます。侵入警報よりも火災警報の方が優先されます。
侵入・火災保持出力	侵入または火災警報が発生すると、出力が作動します。出力を切断するには、システムが作動している場合はこれを解除します。システムが解除されている場合はアラームを確認します。侵入警報よりも火災警報の方が優先されます。
システムリセット	出力は通常作動しています。出力は、システムが復旧されると約10秒間切断されます。この機能を使うと、保持出力アラームを復旧する際に電力が中断される四線式煙感知器などの機器に電力を供給できます。
システム作動	システムが作動すると、出力も作動し、システムが解除されるまでは切断されません。
システム使用可	システムの作動準備が整うと、出力が作動します(障害の発生した監視エリアやシステム障害がない場合)。
キーフォブの起動/解除	ユーザがキーフォブの  または  キーを押すと、出力が作動したり、切断されたりします。 詳細については、「上級者向けの設定項目番号616および626」(40ページ)を参照してください。
キーフォブの2秒間パルス	ユーザがキーフォブの  または  キーを押すと、出力が2秒間作動します。 詳細については、「上級者向けの設定項目番号616および626」(40ページ)を参照してください。
ユーザ管理	ユーザまたはインストラが電話メニューから「出力の操作」オプションを使用すると、出力が作動したり切断されたりします。

#

出力の終了

インストラメニューに戻ります。



出力のプログラム入力内容を第4.3.6項「出力のプログラム項目」(51ページ)に記録します。

4.2.4 国番号

実施するインストラクションに適した国番号を選択してください。この番号により、コントロールパネルに適切な国別のデフォルトが設定されます。

あ

国	番号
アイスランド	63
アイルランド	24
アゼルバイジャン	65
アフガニスタン	65
アラブ首長国連邦	65
アルジェリア	63
アルゼンチン	01
アルバニア	65
アルメニア	62
アンゴラ	65
アンティグア	65
アンドラ	65
イエメン	65
イスラエル	63
イタリア	25
イラク	65
イラン	65
インド	22
インドネシア	23
ウガンダ	65
ウクライナ	62
ウズベキスタン	65
ウルグアイ	65
エクアドル	65
エジプト	14
エストニア	15
エチオピア	65
エリトリア	65
エルサルバドル	65
オーストラリア	02
オーストリア	03
オマーン	62
オランダ	35

か

国	番号
ガーナ	65
カーボベルデ	65
カザフスタン	62
カタール	62
カナダ	07
ガボン	65
カメルーン	65
ガンビア	65
カンボジア	65
ギニア	65
ギニアビサウ	65
キプロス	11
キューバ	65
ギリシャ	19
キリバス	65
キルギス	62
グアテマラ	65
クウェート	65
グリーンランド	65
グルジア	62
グレナダ	65
グレナディーンズ	65
クロアチア	10
ケニア	65
コートジボワール	65
コスタリカ	65
コモロ	65
コロンビア	09
コンゴ (キンシャサ)	65
コンゴ (ブラザビル)	65

さ

国	番号
サウジアラビア	45
サントメ	65
ザンビア	63
サンマリノ	65
シエラレオネ	65
ジブチ	65
ジャマイカ	65
シリア	62
シンガポール	47
ジンバブエ	65
スイス	53
スウェーデン	52
スーダン	65
スペイン	51
スリナム	65
スリランカ	65
スロバキア	48
スロベニア	49
スワジランド	65
セイシェル	65
セネガル	65
セルビア	46
セントキッツ	65
セントビンセント	65
セントルシア	65
ソロモン諸島	65

た

国	番号
タイ	55
タジキスタン	65
タンザニア	65
チェコ共和国	12
チャド	65
チュニジア	65
チリ	65
ツバル	65
デンマーク	13
ドイツ	18
トーゴ	65
ドミニカ	65
ドミニカ共和国	65
トリニダードトバ ゴ	65
トルクメニスタン	65
トルコ	56
トンガ	65

な

国	番号
ナイジェリア	37
ナウル	65
ナミビア	65
ニカラグア	65
ニジェール	65
ニュージーランド	36
ネービス	65
ネパール	65
ノルウェー	38

は

国	番号
バーブーダ	65
バーレーン	63
ハイチ	65
パキスタン	62
パチカン市国	65
パナマ	65
バヌアツ	65
バハマ	65
バプアニュー ギニア	65
パラオ	65
パラグアイ	65
バルバドス	65
ハンガリー	21
バングラデシュ	65
ビルマ (ミャンマー)	65
フィジー	65
フィリピン	40
フィンランド	16
ブータン	65
ブラジル	05
フランス	17
プリンシペ	65
ブルガリア	65
ブルキナファソ	65
ブルネイ	65
ブルンジ	65
ベトナム	60
ベニン	65
ベネズエラ	59
ベラルーシ	62
ベリーズ	65
ペルー	39

は

国	番号
ベルギー	04
ヘルツェゴビナ	65
ポーランド	41
ボスニア	65
ボツワナ	65
ボリビア	65
ポルトガル	42
ホンジュラス	65

ま

国	番号
マーシャル諸島	65
マケドニア	31
マダガスカル	65
マラウイ	65
マリ	65
マルタ	33
マレーシア	32
ミクロネシア	65
メキシコ	34
モーリシャス	65
モーリタニア	65
モザンビーク	65
モナコ	65
モルジブ	65
モルドバ	62
モロッコ	63
モンゴル	65
モンテネグロ	46

や

国	番号
ヨルダン	62

ら

国	番号
ラオス	65
ラトビア	28
リトアニア	29
リビア	65
リヒテンシュタ イン	63
リベリア	65
ルーマニア	43
ルクセンブルク	30
ルワンダ	65
レソト	65
レバノン	63
ロシア連邦	44

漢字

国	番号
英国	57
韓国	27
香港	20
赤道ギニア	65
台湾	54
中央アフリカ共和 国	65
中国	08
東チモール	65
南アフリカ	50
日本	26
仏領ポリネシア	63
米国	58
米領サモア	65
北朝鮮	65

4.3 上級者向けの設定

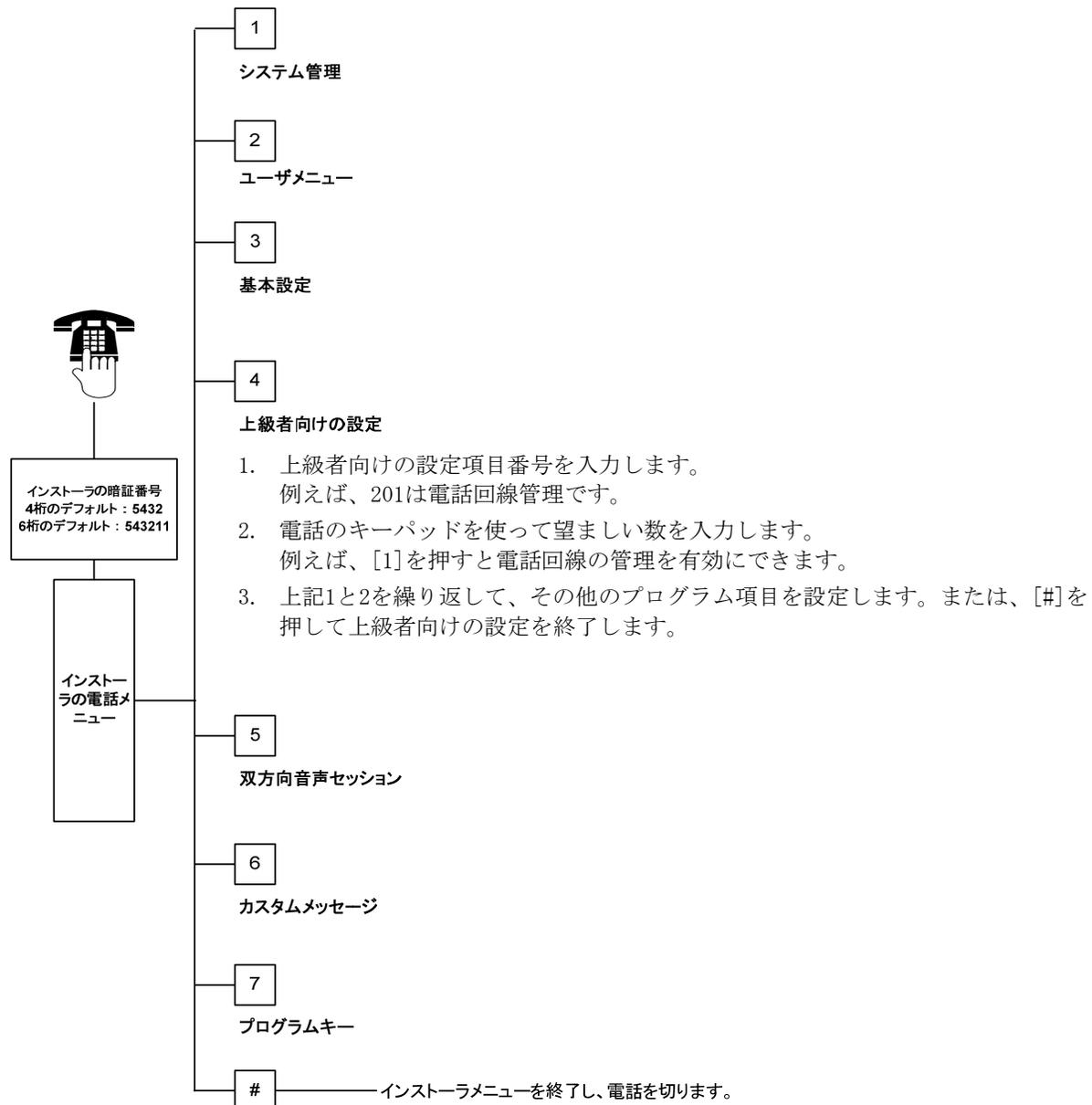


特別なプログラム要件がある場合にのみ上級者向けの設定を使用してください。
 特定機関の要件に従うために、必要なプログラム変更については第7.7「機関の承認と要件」
 (68ページ)を参照してください。

上級者向けの設定を利用すると、あらゆるプログラムカテゴリーにアクセスしてシステム全体を設定できます。

- システム
- 通報機
- 通報グループ指定
- 監視エリア
- 出力
- コントローラ
- ユーザ

各カテゴリーは、いくつかの関連プログラム項目で構成されています。各プログラム項目には3桁か4桁の番号が割り当てられます。



4.3.1 ROMファームウェアバージョン項目

プログラム項目	項目番号	詳細
コントロールパネルファームウェアのバージョン	090	システムは、インストールされたファームウェアのバージョンを通知します。 この項目は読取専用です。
コントローラ1ファームウェアのバージョン	091	システムは、選択されたコントローラ用にインストールされたファームウェアのバージョンを通知します。この項目は読取専用です。
コントローラ2ファームウェアのバージョン	092	
コントローラ3ファームウェアのバージョン	093	
コントローラ4ファームウェアのバージョン	094	

4.3.2 システムのプログラム項目

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
国番号	102	国別の操作とプログラムデフォルトに適した番号を選択します (00~65)。	58
筐体不正操作の有効・無効	103	0 = 筐体不正操作入力が無効 1 = 筐体不正操作入力が有効	1
火災ベル切断時間	107	ベル出力時にコントローラで火災警報が鳴る時間の長さを入力します (0~90分)。	5
侵入ベル切断時間	108	ベル出力時にコントローラで侵入警報が鳴る時間の長さを入力します (0~90分)。	5
侵入中止枠	110	アラームの発生後、コントロールパネルがアラームを通報するまで待つ時間の長さを入力します (15~45秒)。	30
侵入キャンセル枠	112	システムが警備会社に通報した後、ユーザが侵入警報通報をキャンセルできる時間の長さを入力します (5~10分)。	5
警報音選択	114	警報音を選択します。 1 = 警報ドアベル 2 = 警報音1回 3 = 標準的なドアベル	1
システム解除後の音響停止操作	115	システム解除後の音響停止の操作を決定します。 0 = 解除 1 = 作動 2 = 以前の設定に従う (作動または解除)	0
自動テストレポート頻度	116	コントロールパネルが自動テストレポートを送信する頻度を決定します。 0 = 自動テストレポートなし 1 = 毎日 (40ページのプログラム項目143と144を参照) 2 = 毎週 (40ページのプログラム項目145を参照) 3 = 毎月 (40ページのプログラム項目146を参照)	0
RPS 暗証番号	118	RPSからコントロールパネルへのアクセスを可能にする6桁の暗証番号を入力します。0~9およびA~Fを使用します。	123456
サマータイム関連操作	121	0 = 時間調整なし 1 = 北米 (2007年以前) 2 = 欧州、アジア 3 = タスマニア (オーストラリア) 4 = オーストラリアのその他の地域 5 = ニュージーランド 6 = キューバ 7 = 南米、南極 8 = ナミビア (アフリカ) 9 = 米国 (2006年以降)	0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
インストーラ暗証番号のオーバーライドの有効・無効	122	<p>0 = オーバーライドは無効 1 = オーバーライドは有効</p> <p>インストーラの暗証番号指示をオーバーライドするには、ソルダパッドを約5秒間ショートさせます (下図参照)。</p>  <p>受話器をあげてインストーラメニューのオプションを聞きます。</p>	1
プログラムキーの自動転送	123	<p>0 = インストーラはインストーラメニューからプログラムキーを有効にする必要があります。</p> <p>1 = プログラムキーは自動的に保存されたプログラムデータを送受信します。</p> <p>詳細については第4.5項「プログラムキー」(54ページ)を参照してください。</p>	1
監視エリアのアラーム確認	124	<p>侵入警報の発生前に監視エリアが要請するアラーム確認レベルを決定します。</p> <p>0 = なし監視エリアは、状況が検知されると即時アラームを発生します。</p> <p>1 = クロスゾーンアラームを発生するには、2ヶ所以上のクロスゾーン監視エリアが「上級者向けの設定項目番号134」で設定された時間内に作動を停止する必要があります (39ページ参照)。 クロスゾーン有効 = 1には最低2ヶ所の内部または周辺監視エリアが必要です。第4.3.5項「監視エリアのプログラム項目」(46ページ)を参照してください。</p> <p>2 = インテリジェント脅威査定 警戒レベル、監視エリアのタイプと状況、システムイベントのタイミングを使って潜在的な脅威を査定します。脅威が特定の閾値に達すると、システムは確認済みアラームを通報します。</p> <p>3 = 確認済みアラーム 最初の入口を開くと、アラーム確認手段がすべて無効になります。</p> <p>4 = 確認済みアラーム システムを解除するには認証タグ、キー FOB、キースイッチのキーを使用します。</p>	0
障害発生監視エリアの許容閾値	125	システム作動中、無効にできる障害発生監視エリアの最大数を決定します。	3
警戒遅延	126	システムが作動する前にユーザが建物から出なくてはならない時間の長さを入力します (45~255秒)。	60
発報遅延	127	ユーザが建物に入った後、アラームが発生する前にシステムを解除しなくてはならない時間の長さを入力します (30~255秒)。	30
退出時間再開	128	<p>0 = ユーザは警戒遅延タイマーを復旧できません。</p> <p>1 = システムが作動すると、ユーザは警戒遅延タイマーを復旧できます。システムが警戒遅延中で、周辺監視エリアに障害が発生し、回復後に再度障害が起きた場合、警戒遅延タイマーが復旧されます。</p>	1
直近終了の有効・無効	129	<p>0 = 直近終了通報が送付されません。</p> <p>1 = 直近終了通報がシステム作動後、2分以内に送付されます。</p>	1

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
スウィンガー マスクカウント	131	1 = システム作動中、監視エリアがマスクされる前に1回の警報通報が許容 されます。 2 = システム作動中、監視エリアがマスクされる前に2回の警報通報が許容 されます。 3 = システム作動中、監視エリアがマスクされる前に3回の警報通報が許容 されます。	1
自動警戒レベル	132	0 = 選択されている場合、システムは常に外出中の状態で作動します。 1 = 警戒遅延中に周辺監視エリアに障害が発生した場合に限り、システムは 外出中の状態で作動します。監視エリアに障害が発生していない場合、シ ステムは在室中の状態で作動します。	1
システム作動順序 オプション	133	システム作動オプションがユーザに通知される順序を決定します。 1 = 「在室 ¹ 」「外出 ² 」「個別 ³ 」 2 = 「在室」「個別」「外出」 3 = 「外出」「在室」「個別」 4 = 「外出」「個別」「在室」 5 = 「個別」「外出」「在室」 6 = 「個別」「在室」「外出」 ¹ 「在室」 = 在室中にシステム作動 ² 「外出」 = 外出中にシステム作動 ³ 「個別」: 監視エリアが「個別警戒」監視エリアとしてプログラムされている 場合にのみ通知されます。個別警戒監視エリアを割り当てるには、第4.3.5項 「監視エリアのプログラム項目」(46ページ)を参照してください。	1
クロスゾー ンタイマー	134	コントロールパネルが確認済みアラーム通報を警備会社へ送付する前に少なく とも2ヶ所のクロスゾーン監視エリアに障害が発生するまでシステムが待つべ き時間の長さを入力します。 この時間中に1ヶ所のクロスゾーン監視エリアにのみ障害が発生している場合 、コントロールパネルは未確認アラーム通報を警備会社へ送付します。クロス ゾーンタイマーは、確認済みアラームタイマーとしても使用できます。	120
制限アラ ームメモリ	136	0 = どのユーザでもアラームメモリを消去できます。 1 = 管理者のみがアラームメモリを消去できます。	0
保持出力監視 エリアと筐体の 不正操作	137	0 = どのユーザの認証タグや暗証番号でも監視エリアや筐体の不正操作の状況 を消去できます。 1 = インストーラの暗証番号のみが監視エリアや筐体の不正操作の状況を消去 できます。	0
保持出力システム 機器の不正操作	138	0 = どのユーザの認証タグや暗証番号でも、システム機器(コントローラ、 DX2010、またはワイヤレスハブ)から不正操作の状況を消去できます。 1 = インストーラの暗証番号のみがシステム機器から不正操作の状況を消去 できます。	0
冗長 システムテスト	139	0 = 内部テストが秘かに実施され、テストがすべて完了すると、コントローラ が全体的なテストの状態を通知します。 1 = コントローラは、テストの実施に合わせて通知を行います。	1
デモモード	140	0 = システムは、電話でのみすべての電話メニューメッセージを通知します。 1 = システムは電話のほかに、システムに接続されているあらゆるコントロ ーラで電話メニューメッセージをすべて通知します。	0
インストー ラ暗証番号の制限	142	0 = インストーラの暗証番号を有効にするには、管理者の暗証番号または認証 タグは必要ありません。 1 = インストーラがインストーラの暗証番号を入力する前に管理者は認証タグ をかざすか暗証番号を入力する必要があります。インストーラの暗証番号 は、ユーザがシステムを作動するまで有効です。 管理者は、ユーザ電話メニューからインストーラのアクセスを有効にする こともできます([3] システム管理 → [6] 上級者向けの設定)。詳細 については7ページを参照してください。また、この設定は、インストーラ メニューの特定のオプションの利用可能性を制限します。	0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
テストレポート (時間)	143	コントロールパネルがテストレポートを送信する時間を入力します (0~23時)。	8
テストレポート (分)	144	コントロールパネルがテストレポートを送信する時間を分で入力します (0~59分)。	0
テストレポート (曜日)	145	コントロールパネルがテストレポートを送信する曜日を選択します。 「プログラム項目 116」は「2」(毎週)でなくてはなりません。 0 = 日曜 4 = 木曜 1 = 月曜 5 = 金曜 2 = 火曜 6 = 土曜 3 = 水曜	0
テストレポート (日)	146	コントロールパネルがテストレポートを送信する日を入力します (1~28日)。「上級者向け設定項目番号116」は「3」(毎月)でなくてはなりません。	1
確認済みアラームのメモリ制限	147	0 = ユーザの暗証番号で確認済みアラームを消去できます。 1 = インストラの暗証番号のみが確認済みアラームを消去できます。	0
警戒起動音 / 漸増通知	148	0 = 発報遅延中、コントローラは警戒起動音を発せず、出力も作動しません。 1 = 発報遅延中、コントローラは警戒起動音を発しませんが、出力は作動します。 2 = 発報遅延中、コントローラは警戒起動音を発しますが、出力は作動しません。 3 = 発報遅延中、コントローラは警戒起動音を発し、出力が作動します。	0
ワイヤレス 混信検出レベル	150	ワイヤレス機器の混信検出レベルを設定します (0~15)。	12
キーフォブ警戒起動	153	0 = 障害の発生した監視エリアがある場合は、システムを作動しないでください。 1 = 障害発生監視エリアの数が「上級者向けの設定項目番号125」で設定された範囲内である場合は、障害発生監視エリアを強制的に警戒起動します (38ページを参照)。 2 = 障害発生監視エリアの数が「上級者向けの設定項目番号125」で設定された範囲を超える場合は、障害の発生した監視エリアを強制的に警戒起動します。	0
双方向音声セッションの設定	158	0 = 双方向音声セッションをいつでも実施できます 1 = 双方向音声セッションはアラーム中にのみ実施されるよう制限されます	0
障害発生監視エリアで警戒起動を開始	159	0 = 障害の発生した監視エリアはすべて、システムを作動する前に強制的に警戒起動する必要があります 1 = 障害の発生した監視エリアで警戒遅延が開始されます	0
音声障害通知	160	0 = 障害が発生した場合、コントローラは「操作を開始します」とのみ通知します 1 = コントローラは障害の状態を通知します	0
ワイヤレス信号の減衰	161	0 = 信号は減衰しません 1 = EN 50131セキュリティグレード1で3 dB 減衰 2 = EN 50131セキュリティグレード2で6 dB 減衰 3 = EN 50131セキュリティグレード3で9 dB 減衰 4 = EN 50131セキュリティグレード4で12 dB 減衰	0
キーフォブボタンの設定 	616	0 = ステータスの要請のみ 1 = システムを作動 (在室) 2 = システムを作動 (個別警戒) 3 = 出力を作動または切断 4 = 出力を2秒間作動	0
キーフォブボタンの設定 	626	0 = ステータスの要請のみ 1 = システムを作動 (在室) 2 = システムを作動 (個別警戒) 3 = 出力を作動または切断 4 = 出力を2秒間作動	0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

4.3.3 通報機のプログラム項目



通報を有効にするには、以下のプログラム項目を設定します。

- ユーザ識別コード（上級者向けの設定項目番号100）
- グループ1第1通報先（上級者向けの設定項目番号206）
- グループ1第2通報先（上級者向けの設定項目番号207）－オプション
- グループ2第1通報先（上級者向けの設定項目番号208）－オプション
- グループ2第2通報先（上級者向けの設定項目番号209）－オプション
- グループ1第1通報先のフォーマット（上級者向けの設定項目番号211）
- グループ1第2通報先のフォーマット（上級者向けの設定項目番号212）－オプション
- グループ2第1通報先のフォーマット（上級者向けの設定項目番号213）－オプション
- グループ2第2通報先のフォーマット（上級者向けの設定項目番号214）－オプション

通報を有効または無効にするには、第4.3.4項「通報グループ指定のプログラム項目」（43ページ）を参照してください。

プログラム項目	項目番号	詳細（範囲）	入力
ユーザ識別コード	100	4桁または6桁のユーザ識別コードを入力します（0000～FFFFFF）。有効な桁は0～9、およびB～Fです。「A」は使用しないでください。	000000
電話回線管理	201	0 = 電話回線は管理されていません。 1 = 電話回線は管理されています。	0
音声フォーマット 反復カウント	203	電話がかかっている間にシステムが音声レポートを反復する回数を入力します（1～15回）。	3
音声フォーマット メッセージ送付の試み	204	システムが音声フォーマットメッセージの送付を試みる回数を入力します（1～5回）。 送付間隔は5秒ごとに増やせます。	1
ダイヤル音検出	205	0 = 警備会社に電話をかける前にダイヤル音を待ちません。 1 = 警備会社に電話をかける前にダイヤル音を待ちます。	1
グループ1第1通報先	206	各通報先の電話番号（最高32桁）を入力します。 0～9 = [0]～[9]	0
グループ1第2通報先	207	* = [*][*] # = [*][#]	0
グループ2第1通報先	208	一時停止 = [*][1] 保存して終了 = [#]	0
グループ2第2通報先	209	保存せずに終了 = [#][#] [#]を2秒以内に2回押すと、入力内容を保存せずに終了します。 電話番号を無効にする = [0][#]	0
SMSサー ビスプロバイダー番号	210	テキストメッセージ用の携帯電話サービスプロバイダーの電話番号を入力します（最高32桁）。 TAPプロトコルをサポートするSMSプロバイダーについては、携帯プロバイダーに連絡を取るか、 www.notepager.com/tap-phone-numbers.htm にアクセスしてください。	0
グループ1第1 通報先のフォーマット	211	0 = 無効 1 = コンタクトID	0
グループ1第2 通報先のフォーマット	212	2 = SIA 3 = 音声	0
グループ2第1 通報先のフォーマット	213	4 = SMSテキスト* 5 = ファーストフォーマット	0
グループ2第2 通報先のフォーマット	214	* SMSテキストメッセージについては32ページを参照してください。 SMSプロバイダーはSMSテキストメッセージの送付を保証しません。	0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
通話中の着信無効	215	3桁のストリングを入力します。建物内の電話番号をダイヤルする前にこの番号を最初にダイヤルします。 * = [*][*]; # = [*][#] 通話中着信の設定されていない電話回線で通話中着信の手続きを行うと、システムが適切に警備会社に連絡できなくなります。	0
緊急電話オーバーライド番号	216	911などの3桁の緊急番号を回します。ユーザがこの番号をダイヤルすると、システムは通報する前に「上級者向けの設定項目番号217」で入力された時間のあいだ、待機します。	911
緊急電話オーバーライド番号猶予	217	緊急番号がダイヤルされた場合、通報の前にシステムが待機する時間を入力します (0~60分)。	5
自動検出パルス音ダイヤル	218	0 = 発信音のみによるダイヤル 1 = 自動検出パルス音または発信音	0
電話呼び出し音カウント	222	システムが電話に応答する前に鳴る呼び出し音の回数を入力します (1~255回)。	10

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

4.3.4 通報グループ指定のプログラム項目

監視エリアの通報と復旧のグループ指定

プログラム項目	項目番号	詳細	入力
監視エリアの通報と復旧 (すべて)	301	「上級者向けの設定項目番号301」に数値を入力して、以下の監視エリア通報および監視エリア復旧通報をすべて同じ入力で設定します。	3
侵入警報	307	特定の通報のみを修正するには、その通報の項目番号に数値を入力します。	3
侵入警報確認済み	308		3
侵入警報未確認	309	0 = どちらのグループでもない	3
侵入警報24時間	310	1 = グループ1のみ	3
侵入警報24時間復旧	311	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
侵入警報復旧	312		3
強制	313	2 = グループ2のみ	3
火災警報	315	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
火災警報未確認	316		3
火災警報復旧	317	3 = 双方のグループ	3
パニック	318	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
キャンセル	323		3
侵入センサの障害	324		3
侵入センサの障害の復旧	325		3
侵入ゾーンのマスク	326		3
侵入ゾーンのマスク復旧	327		3
火災センサの障害	328		3
火災センサの障害の復旧	329		3
監視エリア未接続	333		3
監視エリア未接続の復旧	334		3
ワイヤレス監視エリアの不正操作	335		3
ワイヤレス監視エリア不正操作の復旧	336		3
ワイヤレス監視エリアのバッテリー残量低下	360		3
ワイヤレス監視エリアのバッテリー残量復旧	361		3
監視エリアの不正操作	388		3
クロスゾーンの障害	393		3
アラーム直近終了	394		3
パニック復旧	399		3
クロスゾーンの障害復旧	400		3
スウィンガー短絡のマスク	401		3
スウィンガー短絡の復旧	402		3
火災監視エリア24時間マスク	406		3
火災監視エリア24時間復旧	407		3
24時間監視エリアのマスク	408		3
24時間監視エリアの復旧	409		3

システム作動・解除通報のグループ指定

プログラム項目	項目番号	詳細	入力
システム作動・解除 (開始・終了) 通報 (すべて)	302	「上級者向けの設定項目番号302」に数値を入力して、以下の監視エリア通報および監視エリア復旧通報をすべて同じ入力に設定します。	3
退出エラー	314	特定の通報のみを修正するには、その通報の項目番号に数値を入力します。	3
直近終了	330		3
終了 (システム作動) 外出中	337	0 = どちらのグループでもない	3
終了 (システム作動) 在室	338	1 = グループ1のみ	3
終了キースイッチ	339	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
終了リモート	340	2 = グループ2のみ	3
開始	341	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
開始キースイッチ	342		3
開始リモート	343	3 = 双方のグループ	3
終了 (システム作動) 個別	344	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
部分終了 (システム作動)	403		3

システムの通報および復旧のグループ指定

プログラム項目	項目番号	詳細	入力
システムの通報と復旧 (すべて)	303	「上級者向けの設定項目番号303」に数値を入力して、以下の監視エリア通報および監視エリア復旧通報をすべて同じ入力に設定します。	3
ユーザ非常事態*	319	特定の通報のみを修正するには、その通報の項目番号に数値を入力します。	3
ユーザ火災*	320		3
ユーザ火災の復旧	321	0 = どちらのグループでもない	3
ユーザパニック*	322	1 = グループ1のみ	3
AC障害	345	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
AC障害の復旧	346	2 = グループ2のみ	3
自動システムテスト結果正常	347	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
自動システムテスト結果異常	348		3
補助電源障害	349	3 = 双方のグループ	3
補助電源の復旧	350	第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
通信障害	351		3
通信復旧	352		3
コントローラ管理障害	353		3
コントローラ管理復旧	354		3
コントローラの不正操作	355		3
コントローラ不正操作の復旧	356		3

* コントローラの非常ボタンを有効にするには、以下のプログラム項目が適切に設定されていることを確認してください。

プログラム項目	項目番号	設定
ユーザ非常事態	319	1、2、または3 (上記の説明を参照)
救急ボタンアラーム	889	1 (説明については52ページの「包括的なコントローラ項目」を参照)
ユーザ火災	320	1、2、または3 (上記の説明を参照)
火災ボタンアラーム	888	1 (説明については52ページの「包括的なコントローラ項目」を参照)
ユーザパニック	322	1、2、または3 (上記の説明を参照)
パニックボタンアラーム	890	1または2 (説明については52ページの「包括的なコントローラ項目」を参照)

有効にすべきボタンを識別するには『Easy シリーズユーザガイド』(P/N: F01U025111) を確認してください。

システムの通報および復旧のグループ指定 (続き)

プログラム項目	項目番号	詳細	入力
ローカルプログラム成功	357	特定の通報のみを修正するには、その通報の項目番号に数値を入力します。 0 = どちらのグループでもない 1 = グループ1のみ 第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合) 2 = グループ2のみ 第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合) 3 = 双方のグループ 第1通報先および第2通報先 (プログラムされている場合)	3
バッテリー残量低下	358		3
バッテリー残量復旧	359		3
通信テスト手動	362		3
電話回線障害	363		3
電話回線復旧	364		3
遠隔プログラム障害	365		3
遠隔プログラム成功	366		3
ワイヤレス受信機混信	367		3
ワイヤレス受信機混信の復旧	368		3
バスデバイスの不正操作	369		3
バスデバイス不正操作の復旧	370		3
バスデバイスの障害	373		3
バスデバイス障害の復旧	374		3
ROM障害	375		3
ベルの障害	376		3
ベルの復旧	377		3
ウォークテスト終了	378		3
ウォークテスト開始	379		3
バスデバイス紛失	380		3
バスデバイス紛失の復旧	381	3	
バッテリー紛失	382	3	
バッテリー紛失の復旧	383	3	
RAMチェックサム障害	384	3	

包括的な通報グループ指定項目

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
通報機の有効・無効	304	0 = 通報を有効にする 1 = 通報を無効にする (ローカルだけのシステム)	0
グループ指定の試み	305	選択されたグループで最初の試みが失敗した場合に、各通知先への通報をシステムが試みる回数を入力します (1~20回)。 システムは第1通報先と第2通報先を交互に使用します。通報先が両方とも選択されたグループに対して設定されている場合、通報を試みる回数は倍増されます。 例えば、この項目が10に設定されている場合、システムは第1通報先に10回、第2通報先に10回、合計20回の通報を試みます。	10
ウォークテスト中の通報	306	0 = ウォークテスト中には通報は行われません。 1 = ウォークテスト中は、ウォークテスト開始およびウォークテスト終了の通報のみが行われます。	0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

4.3.5 監視エリアのプログラム項目

上級者向けの設定項目番号、デフォルト値、プログラム入力セルについては、47ページから始まる「監視エリアのプログラム入力表」を参照してください。

プログラム項目	詳細 (範囲)																												
監視エリアのタイプ	<p>監視エリアのタイプの説明については第4.2.1項「監視エリア」(31ページ)を参照してください。</p> <p>0 = 無効 1 = 外周センサ遅延あり 2 = 屋内センサ遅延なし 3 = 外周センサ遅延なし 4 = 24時間 5 = 火災確認中*</p> <p>6 = 火災センサ遅延なし 7 = サイレントパニック入力 8 = 屋内センサ遅延あり 9 = タイマーキャンセル用外周センサ 11 = ワンショットスイッチ 12 = ラッチスイッチ</p> <p>* このオプションは、ワイヤレス煙感知器では利用できません。</p>																												
回路のスタイル	<p>0 = 二相2.2 k Ωアラーム・不正操作回路 2 = 一相2.2 k Ωアラーム回路</p>																												
個別警戒に含む	<p>0 = 監視エリアは個別警戒に含まれていません。 1 = 監視エリアは個別警戒に含まれています。</p> <p>選択されている警戒モードに関りなく、24時間、火災確認中、火災センサ遅延なし、パニックの各監視エリアは常に障害が起きた場合、アラームを発します。</p>																												
クロスゾーンの有効・無効	<p>0 = クロスゾーン機能は無効 1 = クロスゾーン機能は有効</p> <p>「上級者向けの設定項目番号124」が1でない限り、この項目番号の設定は変えないでください。詳細については38ページを参照してください。</p>																												
応答時間 (コントロールパネル上の監視エリアのみ)	<p>監視エリアの応答時間を50ミリ秒間隔で設定します(1~10)。 入力された数値に50を掛けます。例えば、6 x 50 = 300ミリ秒の応答時間となります。</p>																												
ワイヤレス検知器の感度	<p>検知器がアラームを発する前に動作を検知しなくてはならない時間を決定します。この設定レベルが低いほど、検知器がアラームを発する前に動作を検知しなくてはならない時間が長くなります。これはワイヤレス動作検知器(PIRおよび二相)と慣性検知器に適用されます。この項目は、慣性検知器のパルス音も設定します。</p> <p>動作検知器 (PIRおよび二相)</p> <p>0 = 基本 4 = 中程度</p> <p>慣性検知器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">深刻な攻撃用のオプション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>タップ機能オフ、感度：低</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>タップ機能オフ、感度：低/中</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>タップ機能オフ、感度：中/高</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>タップ機能オフ、感度：高</td> </tr> <tr> <th colspan="2">軽微な攻撃用のオプション</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>タップ機能オン、タップ4回、感度：低</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>タップ機能オン、タップ4回、感度：低/中</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>タップ機能オン、タップ4回、感度：中/高</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>タップ機能オン、タップ4回、感度：高</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>タップ機能オン、タップ8回、感度：低</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>タップ機能オン、タップ8回、感度：低/中</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>タップ機能オン、タップ8回、感度：中/高</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>タップ機能オン、タップ8回、感度：高</td> </tr> </tbody> </table>	深刻な攻撃用のオプション		0	タップ機能オフ、感度：低	1	タップ機能オフ、感度：低/中	2	タップ機能オフ、感度：中/高	3	タップ機能オフ、感度：高	軽微な攻撃用のオプション		8	タップ機能オン、タップ4回、感度：低	9	タップ機能オン、タップ4回、感度：低/中	10	タップ機能オン、タップ4回、感度：中/高	11	タップ機能オン、タップ4回、感度：高	12	タップ機能オン、タップ8回、感度：低	13	タップ機能オン、タップ8回、感度：低/中	14	タップ機能オン、タップ8回、感度：中/高	15	タップ機能オン、タップ8回、感度：高
深刻な攻撃用のオプション																													
0	タップ機能オフ、感度：低																												
1	タップ機能オフ、感度：低/中																												
2	タップ機能オフ、感度：中/高																												
3	タップ機能オフ、感度：高																												
軽微な攻撃用のオプション																													
8	タップ機能オン、タップ4回、感度：低																												
9	タップ機能オン、タップ4回、感度：低/中																												
10	タップ機能オン、タップ4回、感度：中/高																												
11	タップ機能オン、タップ4回、感度：高																												
12	タップ機能オン、タップ8回、感度：低																												
13	タップ機能オン、タップ8回、感度：低/中																												
14	タップ機能オン、タップ8回、感度：中/高																												
15	タップ機能オン、タップ8回、感度：高																												

監視エリアのプログラム入力表

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9011)	6
回路のスタイル (9012)	2
個別警戒に含む (9013)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9014)	1
応答時間 (9015)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9018)	224
音声説明	監視エリア1
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9051)	1
回路のスタイル (9052)	2
個別警戒に含む (9053)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9054)	1
応答時間 (9055)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9058)	224
音声説明	監視エリア5
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9021)	1
回路のスタイル (9022)	2
個別警戒に含む (9023)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9024)	1
応答時間 (9025)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9028)	224
音声説明	監視エリア2
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9061)	2
回路のスタイル (9062)	2
個別警戒に含む (9063)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9064)	1
応答時間 (9065)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9068)	224
音声説明	監視エリア6
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9031)	1
回路のスタイル (9032)	2
個別警戒に含む (9033)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9034)	1
応答時間 (9035)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9038)	224
音声説明	監視エリア3
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9071)	2
回路のスタイル (9072)	2
個別警戒に含む (9073)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9074)	1
応答時間 (9075)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9078)	224
音声説明	監視エリア7
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9041)	1
回路のスタイル (9042)	2
個別警戒に含む (9043)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9044)	1
応答時間 (9045)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9048)	224
音声説明	監視エリア4
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9081)	2
回路のスタイル (9082)	2
個別警戒に含む (9083)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9084)	1
応答時間 (9085)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9088)	224
音声説明	監視エリア8
有線 (内蔵) ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ)	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

デフォルト = デフォルト値。

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9091)	0
回路のスタイル (9092)	2
個別警戒に含む (9093)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9094)	1
応答時間 (9095)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9098)	224
音声説明	監視エリア9
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9131)	0
回路のスタイル (9132)	2
個別警戒に含む (9133)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9134)	1
応答時間 (9135)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9138)	224
音声説明	監視エリア13
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9101)	0
回路のスタイル (9102)	2
個別警戒に含む (9103)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9104)	1
応答時間 (9105)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9108)	224
音声説明	監視エリア10
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9141)	0
回路のスタイル (9142)	2
個別警戒に含む (9143)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9144)	1
応答時間 (9145)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9148)	224
音声説明	監視エリア14
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9111)	0
回路のスタイル (9112)	2
個別警戒に含む (9113)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9114)	1
応答時間 (9115)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9118)	224
音声説明	監視エリア11
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9151)	0
回路のスタイル (9152)	2
個別警戒に含む (9153)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9154)	1
応答時間 (9155)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9158)	224
音声説明	監視エリア15
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9121)	0
回路のスタイル (9122)	2
個別警戒に含む (9123)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9124)	1
応答時間 (9125)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9128)	224
音声説明	監視エリア12
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9161)	0
回路のスタイル (9162)	2
個別警戒に含む (9163)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9164)	1
応答時間 (9165)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9168)	224
音声説明	監視エリア16
有線 (DX2010アドレス102) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

* これらのオプションは監視エリア範囲全体に適用されます。このような監視エリアは個別に設定できません。

デフォルト = デフォルト値。

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9171)	0
回路のスタイル (9172)	2
個別警戒に含む (9173)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9174)	1
応答時間 (9175)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9178)	224
音声説明	監視エリア17
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9211)	0
回路のスタイル (9212)	2
個別警戒に含む (9213)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9214)	1
応答時間 (9215)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9218)	224
音声説明	監視エリア21
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9181)	0
回路のスタイル (9182)	2
個別警戒に含む (9183)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9184)	1
応答時間 (9185)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9188)	224
音声説明	監視エリア18
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9221)	0
回路のスタイル (9222)	2
個別警戒に含む (9223)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9224)	1
応答時間 (9225)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9228)	224
音声説明	監視エリア22
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9191)	0
回路のスタイル (9192)	2
個別警戒に含む (9193)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9194)	1
応答時間 (9195)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9198)	224
音声説明	監視エリア19
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9231)	0
回路のスタイル (9232)	2
個別警戒に含む (9233)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9234)	1
応答時間 (9235)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9238)	224
音声説明	監視エリア23
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9201)	0
回路のスタイル (9202)	2
個別警戒に含む (9203)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9204)	1
応答時間 (9205)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9208)	224
音声説明	監視エリア20
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9241)	0
回路のスタイル (9242)	2
個別警戒に含む (9243)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9244)	1
応答時間 (9245)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9248)	224
音声説明	監視エリア24
有線 (DX2010アドレス103) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

* これらのオプションは監視エリア範囲全体に適用されます。このような監視エリアは個別に設定できません。

デフォルト = デフォルト値。

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9251)	0
回路のスタイル (9252)	2
個別警戒に含む (9253)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9254)	1
応答時間 (9255)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9258)	224
音声説明	監視エリア25
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9291)	0
回路のスタイル (9292)	2
個別警戒に含む (9293)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9294)	1
応答時間 (9295)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9298)	224
音声説明	監視エリア29
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9261)	0
回路のスタイル (9262)	2
個別警戒に含む (9263)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9264)	1
応答時間 (9265)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9268)	224
音声説明	監視エリア26
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9301)	0
回路のスタイル (9302)	2
個別警戒に含む (9303)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9304)	1
応答時間 (9305)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9308)	224
音声説明	監視エリア30
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9271)	0
回路のスタイル (9272)	2
個別警戒に含む (9273)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9274)	1
応答時間 (9275)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9278)	224
音声説明	監視エリア27
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (93011)	0
回路のスタイル (9312)	2
個別警戒に含む (9313)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9314)	1
応答時間 (9315)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9318)	224
音声説明	監視エリア31
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9281)	0
回路のスタイル (9282)	2
個別警戒に含む (9283)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9284)	1
応答時間 (9285)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9288)	224
音声説明	監視エリア28
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

プログラム項目 (項目番号)	入力
監視エリアのタイプ (9321)	0
回路のスタイル (9322)	2
個別警戒に含む (9323)	0
クロスゾーンの有効・無効 (9324)	1
応答時間 (9325)	6
ワイヤレス検知器の感度 (9328)	224
音声説明	監視エリア32
有線 (DX2010アドレス104) * ワイヤレス監視エリア (ワイヤレスハブ) *	<input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> ワイヤレス

* これらのオプションは監視エリア範囲全体に適用されます。このような監視エリアは個別に設定できません。

デフォルト = デフォルト値。

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

4.3.6 出力のプログラム項目

ワイヤレス出力機器では出力5~8のみを使用してください。

プログラム項目	項目番号	詳細	入力
火災出力ケーデンス	600	0 = 時間コード3ケーデンス 1 = パルスケーデンス (2秒オン、2秒オフ)	0
出力1のタイプ	611	出力機能の説明については、第4.2.3項「出力」(33ページ)を参照。 0 = 出力無効 1 = 侵入 2 = 侵入保持出力 3 = 火災 4 = 火災保持出力 5 = 侵入・火災非保持出力 6 = 侵入・火災保持出力 7 = システムリセット 8 = システム作動 9 = システム使用可 10 = キーフォブの起動/解除 11 = キーフォブの2秒間パルス 13 = ユーザ管理	5
出力2のタイプ	621		5
出力3のタイプ	631		7
出力4のタイプ 管理されているスピーカー ドライバオプション。 「上級者向けの設定項目番号 642」を参照。	641		5
出力5のタイプ (ワイヤレス)	651		0
出力6のタイプ (ワイヤレス)	661		0
出力7のタイプ (ワイヤレス)	671		0
出力8のタイプ (ワイヤレス)	681		0
出力4の機能	642	0 = 管理されている8Ωスピーカードライバ 1 = 非管理オープンコレクタ (電圧レベル)	0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。



ワイヤレス出力（例えば、サイレンや継電器モジュール）をプログラムする際は、長時間にわたり出力を有効にしておく必要がある出力機能（「システム使用可」など）を選択しないでください。

4.3.7 コントローラのプログラム項目

音声設定項目

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
アラームメッセージの最低反復時間	880	コントローラの接近センサーが動作を検知した場合でも、アラームメッセージの通知を繰り返す前にコントローラが待つ時間を入力します (1~255時間)。	12
「警報は通報されませんでした」という通知	883	0 = 中止されたアラームに関する通知はありません。 1 = コントローラが、中止されたアラームについて「警報は通報されませんでした」と通知します。	1
「通報を中止します」の通知	884	0 = キャンセルされたアラームに関する通知はありません。 1 = コントローラが、キャンセルされたアラームについて「通報を中止します」と通知します。	1
時間のフォーマット	887	0 = 音声モジュールにより決定されます。 1 = 常に12時間モードを使用します。 2 = 常に24時間モードを使用します。	0

包括的なコントローラ項目

これらのプログラム項目は、コントロールパネルに接続されているあらゆるコントローラに影響をおよぼします。

ユーザ火災、非常事態 (救急)、またはパニック通報を送付するには、適切なコントローラボタンと通報を有効にする必要があります。通報を有効にするには、第4.3.4項「通報グループ指定のプログラム項目」(43ページ)を参照してください。

有効になっているボタンを識別するには『Easy シリーズユーザガイド』(P/N: F01U025111)を確認してください。

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
火災ボタンアラーム	888	0 = 項目は無効になっています。 1 = [1]を2秒間押し続けると、火災警報が開始します。	0
救急ボタンアラーム	889	0 = 項目は無効になっています。 1 = [1]と[2]を2秒間押し続けると、救急アラームが開始します。 システムは救急医療アラームメッセージを5分間、毎分通知します。	0
パニックボタンアラーム	890	0 = 項目は無効になっています。 1 = [2]を2秒間押し続けると、音声パニックアラームが開始します。 2 = [2]を2秒間押し続けると、サイレントパニックアラームが開始します。	0
ワンボタン警戒起動	891	0 = システムを作動するには認証タグか暗証番号が必要です。 1 = [i]を押すと、最初に利用できるシステム作動オプションの警戒遅延が始まります。認証タグや暗証番号は必要ありません。	0
無効暗証番号の入力回数限度	892	ユーザがロックアウト前に無効な暗証番号を入力するか無効な認証タグをかざせる回数を入力します。	3
コントローラの入力待ち時間	893	無効な暗証番号の入力回数限度を超過した場合にユーザがロックアウトされる時間を入力します (1~30分)。	3

個別コントローラ項目

これらのプログラム項目は、コントロールパネルに接続されている個々のコントローラ用に別個に設定されます。

プログラム項目	項目番号	詳細	入力
コントローラの輝度	コントローラ1: 811	5 = 最も輝度の高いディスプレイ (1~5)	コントローラ1: 5
	コントローラ2: 821		コントローラ2: 5
	コントローラ3: 831		コントローラ3: 5
	コントローラ4: 841		コントローラ4: 5
コントローラのバックライト消去モード	コントローラ1: 814	0 = 表示は常に作動しています。 1 = 存在が検知されるか、ボタンが押されるまで表示は薄暗いまです。 2 = 存在が検出されるか、ボタンが押されるまで表示は行われません。 3 = 有効な認証タグを示すか、暗証番号を入力するまで表示は行われません。	コントローラ1: 0
	コントローラ2: 824		コントローラ2: 0
	コントローラ3: 834		コントローラ3: 0
	コントローラ4: 844		コントローラ4: 0

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

4.3.8 ユーザのプログラム項目

プログラム項目	項目番号	詳細 (範囲)	入力
暗証番号長	861	すべての暗証番号の長さを設定します (4桁または6桁)。	4
インストーラの暗証番号 (ユーザ 0)	7001	4桁の範囲: 1111~5555 6桁の範囲: 111111~555555	5432 543211
管理者用の暗証番号 (ユーザ1)	7011	4桁の範囲: 1111~5555 6桁の範囲: 111111~555555	1234 123455
強制ユーザ (ユーザ22) の有効・無効	862	0 = 強制ユーザが無効になっています。 1 = 強制ユーザが有効になっています。 強制ユーザの暗証番号: 6桁: 111111 4桁: 1111	0
RFID認証タグのパスワード	863	この項目を使用すると、権限のない認証タグのコピーを防止できます (00000000~FFFFFFFF)。  認証タグがシステムに追加された後はこの項目を変更しないでください。	12345678

デフォルト = 国別デフォルト。最新のデフォルト値を聞くには、このプログラム項目を選択します。

4.3.9 工場で設定されたデフォルト

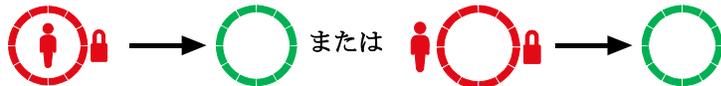
プログラム項目	項目番号	詳細
工場を設定されたデフォルト	9999	あらゆる工場で設定されたデフォルトの数値を復旧するには「9999」を入力します。国番号以外のあらゆるプログラム項目は、工場で設定されたデフォルトの数値を復旧するとリセットされます。 この項目はあらゆるワイヤレスデータを削除しますが、ワイヤレスハブをデフォルトに設定しません。

4.4 プログラムの終了

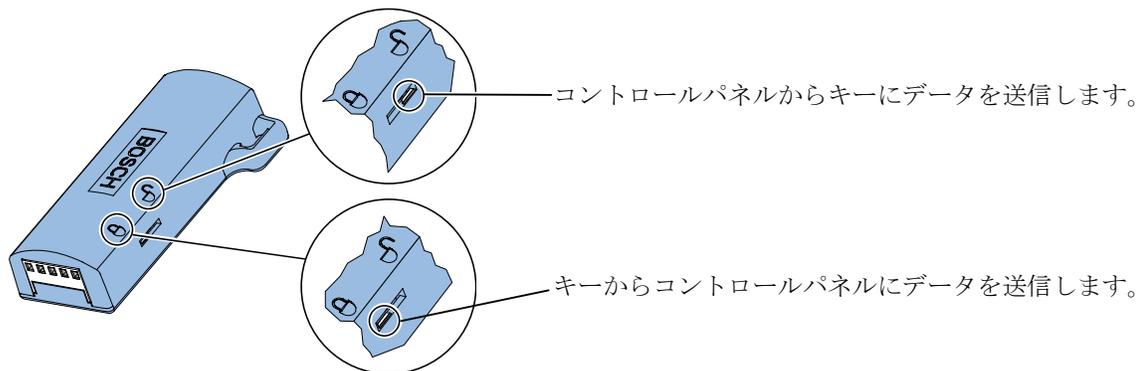
システムが「終了します」というまで繰り返し[#]を押してください。電話の接続が切断されます。

4.5 プログラムキー

1. システムが作動している場合は解除します。

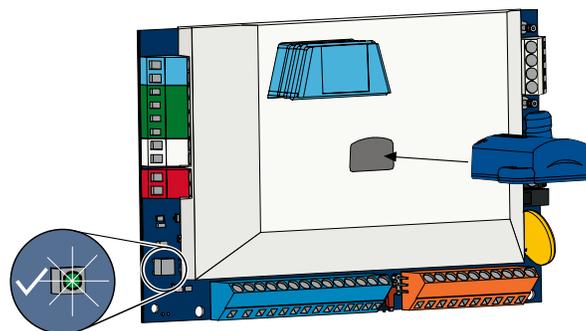


2. キーのロックスイッチを希望する位置に配置します。



プログラムキーをコントロールパネルに挿入する前にスイッチの位置を確認します。スイッチの位置が正しくないと、プログラムデータがオーバーライドされる可能性があります。

3. キーをコントロールパネルに挿入します。



- **自動転送**：「上級者向けの設定項目番号123」が「1」の場合（38ページの「プログラムキーの自動転送」を参照）、ロックスイッチの位置に応じてプログラムキーは自動的にデータを転送します。
- **手動転送**：「上級者向けの設定項目番号123」が「0」の場合は、インストーラメニューを使ってプログラムキーにアクセスする必要があります。

コントローラは、データ転送完了時に通知を行います。

4. ✓ LEDが緑で点滅している場合は、データの転送が成功しています。✓ LEDが赤で点滅している場合はデータの転送が失敗しています。



Boschでは、コントロールパネルのプログラムを終了した際にプログラムデータをICP-EZPKプログラムキーに転送するようお勧めします。

4.6 遠隔プログラムソフトウェア (RPS)

遠隔プログラムソフトウェア (RPS) を使ってセッションを開始する方法は2つあります。インストラがRPSを呼び出す方法とRPSがコントロールパネルを呼び出す方法です。

遠隔プログラムに関するシステムのニーズに最も適した方法を選択してください。



インストラとRPSのオペレータが通話中、RPSオペレータはいつでも遠隔プログラムセッションを開始できます。接続方法として「Direct (直接)」を選択するか、「RPS Panel Communication (RPSパネル通信)」ウィンドウで「Connect (接続)」をクリックしてください。

4.6.1 インストラがRPSを呼び出す

1. 自宅の電話から、インストラはRPSの電話番号に電話をかけます。
2. RPS PCが配置されているサイトで、RPSオペレータは「PanelCommunication (パネル通信)」ウィンドウで「Answer (応答)」をクリックします。コントロールパネルが電話回線に接続され、遠隔プログラムセッションが始まります。

4.6.2 RPSがコントロールパネルを呼び出す

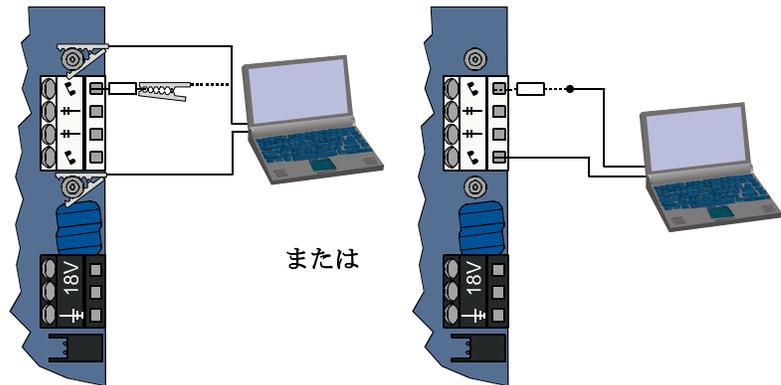
RPSは公衆交換電話回線網 (PSTN) または直接接続のいずれかを使用して、コントロールパネルを呼び出します。

PSTNオプション

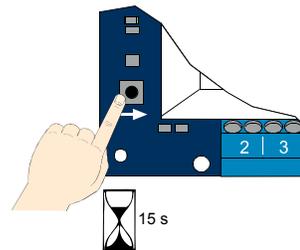
1. RPSオペレータは「Panel Communication (パネル通信)」ウィンドウで接続方法として「Modem (モデム)」を選択し、「Connect (接続)」をクリックします。
2. 電話が応答されると、RPSは接続音を送信し、遠隔プログラムセッションが始まります。

直接接続

1. RPS PC またはノート型パソコンをコントロールパネルの自宅の電話端末に接続します。270 Ωを330 Ω (¼W) 抵抗器に接続する必要があります。



2. コントロールパネルのシステムテストボタンを約15秒間、または継電器がカチッという音を出すまで押し続けます。
3. 「RPS PanelCommunication (RPSパネル通信)」ウィンドウで、接続方法として「Direct (直接)」を選択して「Connect (接続)」をクリックします。遠隔プログラムセッションが始まります。
4. ステップ1でPSTNが切断されていた場合は、遠隔プログラムの終了時にこれを再接続します。



5.0 システムテスト

コントロールパネルのインストレーションとプログラムが完了したら、コントロールパネルとあらゆる機器をテストして適切に作動するかチェックします。コントロールパネルをまず設定して、その他のプログラミングを終了してからテストします。

機器をテストしてコントロールパネルが応答しない場合は、機器とその配線、関連する設定、またはプログラムをチェックしてエラーがないか調べてください。

完全なシステムテストを実施するには、以下のいずれかのオプションを使用します。

インストーラメニュー

1. 電話をかけます。手順については、第1.3項「基本的な操作情報」(4ページ)を参照してください。
2. 指示が出たら、インストーラの暗証番号を入力します。
3. システム管理については[1]を押します。
4. 完全なシステムテストについては[2]を押します。

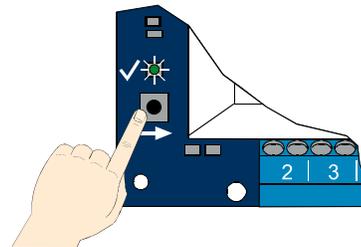
ワンボタンシステムテスト

コントロールパネル上のシステムテストボタンを一度押します。

システムがインストーラメニューで利用できるものと同じテストを実行します。

√ LED が緑色で点滅 = テスト成功

√ LED が赤く点滅 = テスト失敗

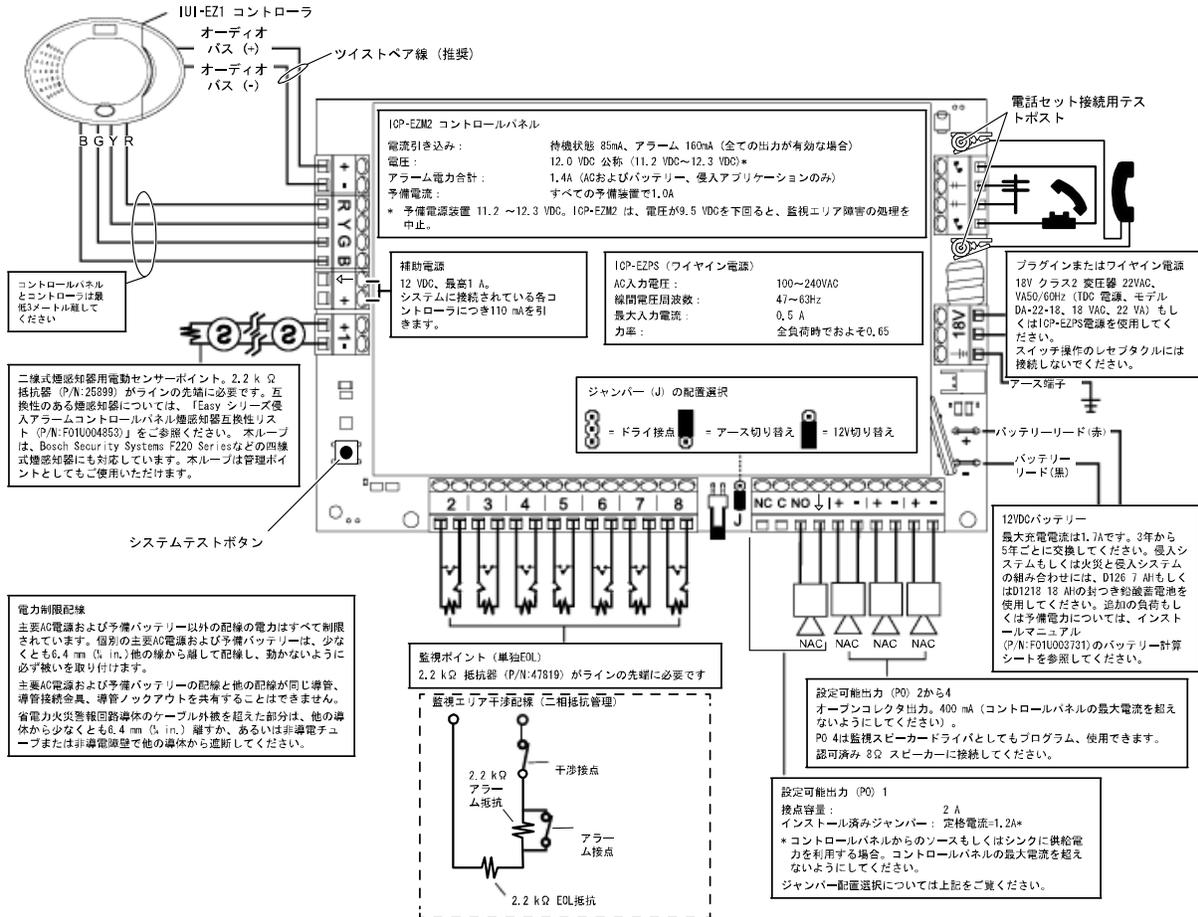


6.0 管理

Bosch では、システムを定期的にテストし、各地の法規に従って点検を行うようお勧めします。

7.0 参照資料

7.1 筐体配線ラベル

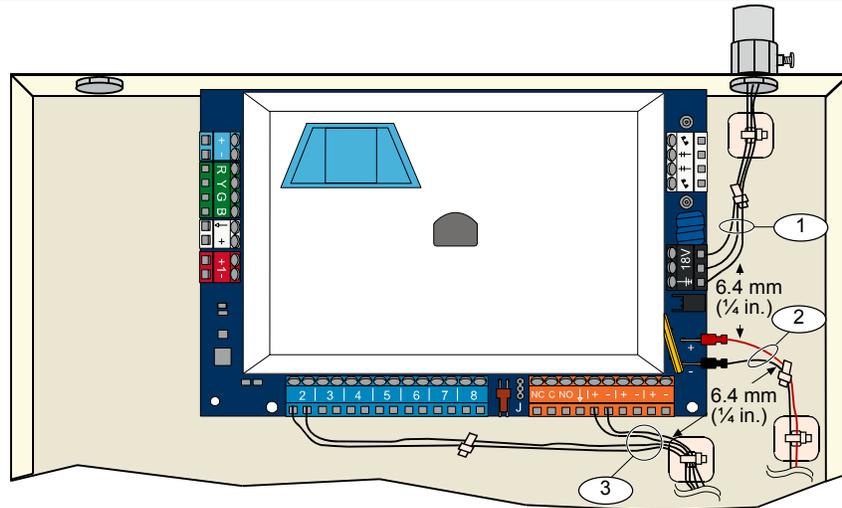


7.2 電力制限配線のグループ指定



主要AC電源および予備バッテリー以外の配線の電力はすべて制限されています。個別の主要AC電源および予備バッテリーは、他の線から少なくとも6.4 mm 離して配線し、動かないよう筐体に固定します。

主要AC電源および予備バッテリーの配線と他の配線が同じ導管、導管接続金具、導管ロックアウトを共有することはできません。



- 1 - 主要18 VAC電源の配線
- 2 - 予備バッテリーの配線
- 3 - 省電力監視エリアと出力の配線

7.3 予備バッテリーの計算

以下の公式を使って、予備電源24時間分とアラーム電源4分間の予備バッテリー容量を計算します。

(B合計 _____ x 24時間) + (C合計 _____ x 0.067時間) + 10% 予備 = 必要なバッテリーAhの合計
 コラム「C」の合計が1.4 Aを超過する場合は、外部電源を使用します。

モデル番号	使用量	A AC電源オン 標準的な電流			B AC電源オフ 最低電流			C アラーム 最高電流		
		各ユニット (mA)		合計 (mA)	各ユニット (mA)		合計 (mA)	各ユニット (mA)		合計 (mA)
コントロールパネル		85	x 1	= 85	85	x 1	= 85	160	x 1	= 160
コントローラ		110	x 量	=	110	x 量	=	165	x 量	=
ワイヤレスハブ (IWT-WSN-N1-86)		30	x 1	=	30	x 1	=	30	x 1	=
DX2010		35	x 量	=	35	x 量	=	35	x 量	=
PO 4に接続されている音響器										
D118 8Ω スピーカー		0	x 量	= 0	0	x 量	= 0	330	x 量	=
上表に含まれていないシステム内の他の機器の定格										
			x 量	=		x 量	=		x 量	=
			x 量	=		x 量	=		x 量	=
			x 量	=		x 量	=		x 量	=
			x 量	=		x 量	=		x 量	=
			x 量	=		x 量	=		x 量	=
			x 量	=		x 量	=		x 量	=
			A合計	=		B合計	=		C合計	=

7.4 イベント通報コード

イベント	SIA通報	コンタクトID通報
侵入警報	BA建造物侵入警報	1 130 建造物侵入
侵入警報確認済み	BV建造物侵入警報確認済み	1 139 建造物侵入
侵入警報未確認	BG未確認イベントー建造物侵入	1 130 建造物侵入
侵入警報24時間	BA建造物侵入警報	1 133 24時間 (安全)
侵入警報24時間復旧	BH建造物侵入警報の復旧	3 133 復旧
侵入警報復旧	BR建造物侵入復旧	3 130 建造物侵入
退出エラー	EA退出アラーム	1 374 退出エラー (ゾーン)
火災警報	FA火災警報	1 110 火災
火災警報未確認	FG未確認イベント - 火災	1 110 火災
火災警報復旧	FH火災警報復旧	3 110 火災
パニック	HA強盗アラーム	1 120 パニック
パニック復旧	HH強盗アラーム復旧	3 120 パニック
ユーザ非常事態 (救急)	QA非常事態アラーム	1 101 個人的非常事態
ユーザ火災	FA火災警報	1 110 火災
ユーザ火災の復旧	FH火災警報復旧	3 110 火災
ユーザパニック	HA強盗アラーム	1 120 パニック
キャンセル	BC建造物侵入キャンセル	1 406 キャンセル
侵入センサの障害	BT建造物侵入センサの障害	1 380 センサの障害
侵入センサ障害の復旧	BJ建造物侵入センサ障害の復旧	3 380 センサの障害
侵入監視エリアのマスク	BB建造物侵入マスク	1 570 ゾーン/センサのマスク
侵入監視エリアのマスク復旧	BU建造物侵入のマスク解除	3 570 ゾーン/センサのマスク
火災センサの障害	FT火災センサの障害	1 373 火災センサの障害
火災センサ障害の復旧	FJ火災センサ障害の復旧	3 373 火災センサの障害
直近終了	CR直近終了	1 459 直近終了
終了 (システム作動) 外出中	CL終了通報	3 401 ユーザによる外出中の警戒起動
終了 (システム作動) 在室	CL終了通報	3 441 ユーザによる在室中の警戒起動
終了 (システム作動) 個別	CL終了通報	3 441 ユーザによる個別警戒起動
終了 (システム作動) 部分	CL終了通報	3 456 ユーザによる部分警戒起動
終了 (システム作動) キースイッチ	CS終了キースイッチ (ユーザ255)	3 409 キースイッチ0/C (ユーザ255)
開始 (システム解除)	OP開始通報	1 401 ユーザによる0/C
開始 (システム解除) キースイッチ	OS開始キースイッチ (ユーザ255)	1 409 キースイッチ0/C (ユーザ255)
AC障害	AT AC障害	1 301 AC損失
AC障害の復旧	AR AC復旧	3 301 AC損失
自動システムテスト (標準)	RP自動テスト	1 602 期間テストレポート (ユーザ0)
自動システムテスト (オフノーマル)	RYテストオフノーマル	1 608 期間テストレポート、 システム障害の存在
補助電源障害	IA機器障害の状況	1 310 接地障害
補助電源の復旧	IR機器障害の復旧	3 310 接地障害
通信障害	YC通信障害	1 354 イベントの通信失敗
通信復旧	YK通信復旧	3 354 イベントの通信失敗
コントローラ管理障害	EM拡張機器紛失	1 333 拡張モジュール障害
コントローラ管理復旧	EN拡張機器の復旧	3 333 センサの障害
コントローラの不正操作	ES拡張機器の不正操作	1 341 拡張機器の不正操作
コントローラ不正操作の復旧	EJ拡張機器の不正操作の復旧	3 341 拡張機器の不正操作
ローカルプログラミング	LXローカルプログラミング終了	1 628 プログラムモード終了
バッテリー残量低下	YTシステムバッテリーの障害	1 302 システムバッテリーの残量低下
バッテリー残量復旧	YRシステムバッテリーの復旧	3 302 システムバッテリーの残量低下
通信テスト	RX手動テスト	1 601 手動トリガーテストのレポート
電話回線障害	LT電話回線障害	1 351 テルコ1障害
電話回線復旧	LR電話回線復旧	3 351 テルコ1障害

イベント	SIA通報	コンタクトID通報
ROM障害	YF周辺チェックサム障害	1 304 ROMチェックサム不良
ベルの障害	YAベルの障害	1 320 音響器／継電器
ベルの復旧	YHベルの復旧	3 320 音響器／継電器
ウォークテスト終了	TEテスト終了	3 607 ウォークテストモード
ウォークテスト開始	TSテスト開始	1 607 ウォークテストモード
バスデバイス紛失	EM拡張機器紛失	1 333 拡張モジュールの障害
バスデバイス紛失の復旧	EN拡張機器の復旧	3 333 拡張モジュールの障害
バッテリー紛失	YMシステムバッテリー紛失	1 311 バッテリー紛失／電池切れ
バッテリー紛失の復旧	YRシステムバッテリーの復旧	3 311 バッテリー紛失／電池切れ
RAMチェックサム障害	YF周辺チェックサム障害	1 303 RAMチェックサム不良
監視エリアの不正操作	TA不正操作アラーム	1 137 不正操作
監視エリア不正操作の復旧	TH不正操作アラームの復旧	3 137 不正操作の復旧
クロスゾーンの障害	BG未確認イベントー建造物侵入	1 378 クロスゾーンの障害
クロスゾーンの障害復旧	BR建造物侵入復旧	3 378 クロスゾーンの障害
監視エリア未接続	UY未入力未接続障害	1 381 管理の損失 - RF
監視エリア未接続の復旧	UY未入力未接続障害	3 381 管理の損失 - RF
ワイヤレス監視エリアのバッテリー残量低下	XT送信機のバッテリー障害	1 384 RFバッテリー残量低下
ワイヤレス監視エリアのバッテリー残量の復旧	XR通信機のバッテリー復旧	3 384 RFバッテリー残量低下
ワイヤレス受信機混信	XQ RF混信	1 344 RF受信機の混信検出
ワイヤレス受信機混信の復旧	XH RF混信の復旧	3 344 RF受信機の混信検出
バスデバイスの不正操作	XS RF受信機不正操作	1 341 拡張モジュールの不正操作
バスデバイス不正操作の復旧	XJ RF受信機不正操作の復旧	3 341 拡張モジュールの不正操作
バスデバイスの障害	ET拡張障害	1 330 システム周辺の障害
バスデバイス障害の復旧	ER拡張復旧	3 330 システム周辺の障害
遠隔プログラム成功	RS遠隔プログラム成功	1 628 プログラムモード終了
遠隔プログラム障害	RU遠隔プログラム障害	1 628 プログラムモード終了

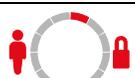
下表には以下が掲載されています。

- 履歴ログに表示される標準外のイベントメッセージ
- SMSテキストおよび音声フォーマットのイベントメッセージ

イベント	履歴ログ入力	SMSテキストフォーマット	音声フォーマット
筐体の不正操作	不正操作0	監視エリアの障害0	不正操作0
強制	強制通報、警戒解除、ユーザ22	侵入警報システム解除	強制通報、警戒解除、ユーザ22
クイック警戒起動	在宅警戒0	システム作動中、ユーザ22	在宅警戒0
キースイッチ作動中	外出警戒255	システム作動中、ユーザ255	外出警戒255
キースイッチ切断	警戒解除255	システム解除、ユーザ255	警戒解除255
直近終了	終了、ユーザX	侵入警報	終了、ユーザX

7.5 ディスプレイステータス

	ディスプレイ	色	詳細
システム解除		緑の円	警報または障害はありません。 システムを作動できます。
		緑の円が点滅	システムに障害が発生しています。しかし、システムは作動できます。 アラームメモリが有効になっています。
		黄色い円が点滅	システムに障害が発生しています。 システムを作動できません。 アラームメモリが有効になっています。
		緑の点線	監視エリアに障害が発生しています。 システムを起動して、障害のある監視エリアをマスクしてください。 チャイム監視エリアに障害が発生しています。 チャイム音が鳴ります。
		黄色の点線	監視エリアに障害が発生しています。システムを作動できません。
		赤い点線 赤いアイコンが点滅	火災または侵入警報が発生しました。
		点が回転	アラームメモリの通知です。 ユーザの認証タグを追加または変更してください。 ワイヤレスネットワークからの情報を待っています。
		緑の円とアイコン	ユーザの暗証番号を追加または変更してください。 最初の暗証番号入力用に外側にアイコンが表示されます。 2番目の暗証番号入力用には内側にアイコンが表示されます。
		緑または黄色	監視エリアウォークテストです。 緑色になっている部分がテストされた監視エリアを表します。
		緑のアイコンが点滅	コントローラテストです。アイコンは交互に点滅します。

	ディスプレイ	色	詳細
システム作動中 (使用中またはカスタム保護)		赤いアイコンが点滅	警戒遅延の最中です。 円が一つずつ点灯して警戒遅延を視覚的に表示します。
		赤	システムが作動しています (在室または個別警戒)。
		アイコンが点滅 (黄色から赤に変更)	発報遅延の最中です。 円が一つずつ消滅して発報遅延を視覚的に表示します。 黄色のアイコン：発報遅延の前半 赤のアイコン：発報遅延の後半
		赤い点線 赤いアイコンが点滅	火災または侵入警報が発生しました。
		赤い円が点滅	アラームメモリが有効になっています (システムが作動している場合)。
		赤い点が回転	アラームメモリの通知 (システムが作動している場合)。
システム作動中 (外出中)		赤いアイコンが点滅	警戒遅延の最中です。
		赤	システムが作動しています (外出中)。
		アイコンが点滅 (黄色から赤へ)	発報遅延の最中です。 黄色のアイコン：発報遅延の前半 赤のアイコン：発報遅延の後半
		赤い点線と点滅する 赤のアイコン	火災または侵入警報が発生しました。
		赤い円が点滅	アラームメモリが有効になっています (システムが作動している場合)。
		赤い点が回転	アラームメモリの通知 (システムが作動している場合)。

7.6 よくある質問 (FAQ)

7.6.1 プログラムに関する質問

電話回線が接続されていなくてもコントロールパネルをプログラムできますか？

はい。以下の手順に従ってください。

1. 電話セットをコントロールパネルの電話セットポストに接続します。
2. システムテストボタンを約15秒間押し続けます。
3. 指示に従って、インストラの暗証番号を入力します。

コントローラの非常ボタンが機能しません。どのようにすれば作動できますか。

デフォルトで非常ボタンは解除されています。作動させるには以下の手順に従ってください。

1. 電話をかけます。手順については、第1.3項「基本的な操作情報」(4ページ)を参照してください。
2. インストラの暗証番号を入力します。
3. [4]を押して、上級者向けの設定を選択します。
4. 以下の上級者向けの設定項目番号を入力して、各ボタンの設定を変更します。
 - 888 = 火災警報 (0 = 無効、1 = 火災警報)
 - 889 = 救急アラーム (0 = 無効、1 = 救急警報)
 - 890 = パニックアラーム (0 = 無効、1 = 音声パニックアラーム、2 = サイレントパニックアラーム)
5. 以下の通報が有効になっていることを確認します。
 - 319 = ユーザ非常事態 (1 = グループ1のみ、2 = グループ2のみ、3 = 両グループ)
 - 320 = ユーザ火災 (1 = グループ1のみ、2 = グループ2のみ、3 = 両グループ)
 - 322 = ユーザパニック (1 = グループ1のみ、2 = グループ2のみ、3 = 両グループ)
6. システムが「終了します」というまで繰り返し[#]を押してください。ボタンが有効になりました。

強制暗証番号はどのようにしてプログラムしますか？

以下の手順に従ってください。

1. 電話をかけます。手順については、第1.3項「基本的な操作情報」(4ページ)を参照してください。
2. インストラの暗証番号を入力します。
3. [4]を押して、上級者向けの設定を選択します。
4. [8][6][2]を押して「上級者向けの設定項目番号862」を選択し、次に[1]を押して強制ユーザ(ユーザ22)を有効にします。
デフォルトで、暗証番号が4桁の場合の強制暗証番号は「1111」、6桁の場合は「111111」になっています。
5. システムが「終了します」というまで[#]を押してください。
6. 新しく電話をかけます。
7. 管理者用の暗証番号を入力します。
8. [4]を押してユーザメニューを選択します。
9. [2]を押してユーザを変更します。
10. [2]を繰り返し押して、ユーザ22が出てくるまで利用可能なユーザをすべてスクロールします。
11. [1]を押してユーザ22を選択します。
12. [3]を押して新規暗証番号を入力します。
13. 新規暗証番号を入力してください。1~5桁のみを利用できます。
認証タグはユーザ22には割り当てられません。
14. [1]を押してユーザメニューの選択肢に戻ります。
15. システムが「終了します」というまで繰り返し[#]を押してください。
強制ユーザ(ユーザ22)が有効になりました。

個別警戒機能を使いたいのですが、 どうすれば作動できますか？

以下の手順に従ってください。

1. 電話をかけます。手順については、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
2. インストラの暗証番号を入力します。
3. [4]を押して上級者向けの設定を選択します。
4. 適切な上級者向けの設定項目の番号を入力します。
「上級者向けの設定項目番号9013~9323」を使って、各監視エリアに個別警戒オプションを設定します。
中間にある桁は監視エリア番号です。例えば、「01」は監視エリア1、「32」は監視エリア32です。
 - 監視エリア1では、[9][0][1][3]と押します。
 - 監視エリア2では、[9][0][2][3]と押します。
 - 監視エリア3では、[9][0][3][3]と押します。
 - 監視エリア10では、[9][1][0][3]と押します。
 - 監視エリア20では、[9][2][0][3]と押します。
 - 監視エリア32では、[9][3][2][3]と押します。
5. [1]を押して個別警戒に監視エリアを含めます。
選択されている警戒モードに関わりなく、24時間、火災確認中、火災センサ遅延なし、パニックの各監視エリアは常にアラームを発することができる状態にあります。
6. ステップ4と5を繰り返して、個別警戒に監視エリアを追加してください。
7. システムが「終了します」というまで繰り返し[#]を押してください。
個別警戒が、警戒モードとして選択されています。
個別警戒モードでシステムを作動すると、ステップ4と5で選択された監視エリアのみが作動します。
個別警戒監視エリアは、「在室」または「外出中」のいずれかでシステムを作動した場合にも作動します。

7.6.2 システム操作に関する質問**プログラムされた国番号が音声モジュールとは異なる場合でも、システムは機能しますか？**

はい。音声モジュールは、プログラムされた国番号とは別個に作動します。

ユーザや認証タグ、キーフォブはどのようにすれば追加できますか？

管理者のみがユーザや認証タグ、キーフォブを追加できます。

コントローラから：

1. [3]を押し続けます。
2. 指示に従って、管理者の認証タグをかざすか、管理者用の暗証番号を入力します。
3. [1]を押して新規ユーザを追加します。
4. 暗証番号を入力してください。指示に従って、新規暗証番号を再入力します。
暗証番号が追加されたことをシステムが通知します。
5. [1]を押して新規ユーザに認証タグを追加します。
6. 指示に従って、コントローラに認証タグをかざします。
認証タグが追加されたことをシステムが通知します。
7. [2]を押してユーザの説明を録音します（オプション）。
8. [4]を押してキーフォブを追加します（オプション）。
9. ステップ3~8を繰り返して、さらにユーザや認証タグを追加するか、[5]を押して終了します。

電話から：

1. 電話をかけます。手順については、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
2. 指示に従って、管理者用の暗証番号を入力します。
3. [4]を押してユーザメニューを選択します。
4. 上記のステップ3~8を繰り返してユーザや認証タグを追加するか、[#]を押して終了します。

管理者が認証タグをかざしてもユーザメニューに入力できない場合は、この認証タグを管理者用の認証タグとして割り当てる必要があります。管理者用の暗証番号を使ってユーザメニューに入力し、次に認証タグを管理者に割り当てます。

認証タグをコントローラにかざしても機能しません。どのようにすれば修正できますか？

認証タグが割り当てられていません。管理者でない場合は、管理者に相談してください。

自分が管理者である場合は、前記の質問を参照して認証タグをユーザに追加します。

どのようにすればユーザを削除できますか？

管理者のみがユーザを削除できます。

コントローラから：

- [3]を押し続けます。
- 指示に従って、管理者用の認証タグをかざすか、管理者用の暗証番号を入力します。
- [3]を押してユーザを削除します。
- 最初に利用できるユーザ（管理者以外）を選択するには[1]を押します。異なったユーザを選択するには[2]を押します。ご希望のユーザを選択できるまで、このステップを繰り返します。
- [1]を押してユーザを削除します。ユーザが削除されたことをシステムが通知します。音声説明が削除されます。削除されたユーザに代わるユーザ用に新しい説明を録音します。
- ステップ4と5を繰り返して、さらにユーザや認証タグ、キーフォブを削除するか、[5]を押して終了します。

電話から：

- 電話をかけます。手順については、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
- 指示に従って、管理者用の暗証番号を入力します。
- [4]を押してユーザメニューを選択します。
- 上記のステップ3~5に従ってユーザや認証タグを削除するか、[#]を押して終了します。

認証タグのみを削除する方法：

- ユーザを削除します（上記手順のいずれかに従います）。
- ユーザを追加しますが、認証タグやキーフォブを割り当てるステップは省きます。65ページの「ユーザや認証タグ、キーフォブはどのようにすれば追加できますか？」に掲載されている手順のいずれかに従います。

認証タグをユーザ1（管理者）に割り当てました。この認証タグを削除できますか？

削除できません。認証タグは一度ユーザ1に割り当てられると、ユーザ1は常に認証タグが必要になります。この認証タグは削除できません。

ユーザが紛失した認証タグやキーフォブはどのようにすれば交換できますか？

- ユーザの暗証番号を保存します（別の場所に記録しておきます）。
- コントローラかユーザ電話メニューのいずれかを使ってユーザメニューにアクセスします。詳細については第1.2項「コントローラの概要」（3ページ）、第1.3項「基本的な操作情報」（4ページ）を参照してください。
- ユーザを削除します。
- ユーザを再入力します（保存された暗証番号を使います）。
- 新しい認証タグまたはキーフォブを追加します。

火災監視エリアはどのようにすれば復旧できますか？

- アラームを切るには、コントローラに認証タグをかざすか、暗証番号を入力してください。
- ステップ1を繰り返して火災監視エリアを復旧します。
この手順は、煙感知器や熱感知器、プルステーションなど、どのタイプの火災監視エリアにも適用できます。

四線式の煙感知器はどのようにすれば設定できますか？

煙感知器の電源配線をプログラム可能な出力のいずれかに接続します。
次に出力の機能として「システムリセット」を選択します。

非常事態アラームは復旧できますか？

復旧できません。非常事態アラームが開始すると（コントローラの[1]と[2]を同時に押し続けます）、システムは5分間にわたり毎分、非常事態アラームのメッセージを通知します。

電源の損失などの機能不全が発生した場合、システムを起動できますか？

はい。コントローラに認証タグを2回かざしてください。

発報遅延の間、ピーピーという音が鳴るのはどうしてですか？

漸増通知（上級者向けの設定項目番号148）が有効になっています。
この項目が有効になっていると、発報遅延の間、システムを解除するために出力が定期的に作動します。

パニックアラームの間、どうしてサイレンが作動するのですか？

パニックアラームが音声アラームとしてプログラムされています。
上級者向けの設定で、「上級者向けの設定項目番号890」を「1」（音声アラーム）から「2」（サイレントアラーム）に変更してください。

履歴ログと緊急通報先への通報に「監視エリア0」および「ユーザ0」と記載されています。これは何ですか？

監視エリア0は、EZTSタンパースイッチ用の内蔵入力です。
ユーザ0は、インストラを意味します。

7.6.3 コントローラに関する質問

コントローラのアドレスはどのようにすれば設定できますか？

コントローラのプリント基板上で、回転スイッチを希望する位置（1～4）に回します。各コントローラには異なったアドレスが必要です。

コントローラが起動しません。黄色い円が点滅しているだけです。

コントロールパネルのプリント基板上にある回転アドレススイッチが適切に設定され、2つの数字の間を指していないことを確認してください。また、各コントローラが1～4の異なったアドレスを持っていることを確認します。

コントローラが認証タグをまったく認識しません。

コントローラが複数ある場合は、設置場所が近すぎます。
 コントローラがお互いに少なくとも1.2 m離れているか確認してください。
 複数のコントローラの配線を一緒にしないでください。
 また、コントローラの余分な配線をコントロールパネルの筐体内に巻き入れないようにしてください。
 キーホルダーに複数の認証タグをつけている場合は、別々にしてください。
 認証タグの位置が近すぎると、コントローラの操作が阻害されます。

認証タグをかざすとコントローラはピーっと鳴りますが、何も起きません。

認証タグが割り当てられていません。管理者の場合は、管理者用の暗証番号を入力してユーザメニューを選択し、認証タグを管理者に割り当ててください。
 この障害が発生している他のユーザについては、管理者がユーザメニューを入力して認証タグを適切なユーザに割り当てる必要があります。

7.6.4 暗証番号に関する質問

デフォルトのインストーラおよび管理者用の暗証番号は何ですか？

- デフォルトのインストーラ用の暗証番号：暗証番号が4桁の場合は5432、6桁の場合は543211です。
- デフォルトの管理者用の暗証番号：暗証番号が4桁の場合は1234、6桁の場合は123455です。

インストーラ用の暗証番号を使ってインストーラメニューに入力することができません。

「上級者向けの設定項目番号142」（インストーラ暗証番号の制限）が有効になっています。
 管理者はまず、インストーラの暗証番号を入力する前に自分の認証タグをかざすか、自分の暗証番号を入力する必要があります。インストーラの暗証番号は、ユーザがシステムを起動するまで有効です。

7.7 機関の承認と要件

7.7.1 認可と承認

SIA CP-01やDD243など特定の基準に準拠すると誤った警報を削減できるため、多くの地域で必須とされています。

Easyシリーズ侵入アラームコントロールパネルは、以下の認可、承認および基準に準拠するようデザインされています。

- ANSI/SIA CP-01 「誤った警報の免除」
- **CE**
- EN50131-1セキュリティグレード2、環境クラスII
- DD243
- PD6662
- CCC
- UL 規格¹ :
 - UL365 「警察署侵入警報装置およびシステム」
 - UL609 「局所侵入警報装置およびシステム」
 - UL985 「家庭用火災警報システム装置」
 - UL1023 「家庭用侵入警報システム装置」
 - UL1076 「一般侵入警報装置およびシステム」
- cUL 規格¹ :
 - CAN/ULC-S304M88 「中央監視ステーション用侵入警報装置」
 - CAN/ULC-S545 「住宅火災警報システム制御装置」
 - C1023 「家庭用侵入警報装置」
 - CAN/ULC-S303 「局所侵入警報装置およびシステム」
 - C1076 「一般侵入警報装置およびシステム」
- FCC
- カナダ産業省 (IC)
- A-Tick
- C-Tick
- PSTN用TBR21
- INCERT (ベルギー)
- CSFM規格認定 - 家庭用制御装置
- 電気通信端末機器審査協会 (JATE)

¹ 損害保険業研究所により認定されていません。

7.7.2 FCC

パート15

本機器はテストの結果、FCC規則パート15に基づき、クラスBデジタル機器の制限に準拠していると認識されました。上記の制限は、機器を商業環境で作動する場合に有害な干渉から適切に保護すべく設けられたものです。

本機器は、無線エネルギーを生成、使用し、これを拡散できます。本機器が本書に従って設置・使用されない場合、無線通信に有害な干渉が発生する可能性があります。

家庭で本機器を作動すると有害な干渉を引き起こす可能性が高く、干渉が発生すればユーザはこれを修正する必要があります。

パート68

本機器はFCC規則パート68に準拠しています。ラベルには、FCC規則番号、リング等価番号（REN）などの情報が記載されています。要請があれば、この情報は電話会社に提供する必要があります。

Bosch Security Systems Easyシリーズ侵入アラームコントロールパネルは、RJ38XまたはRJ31Xジャックを使って公共電話網への接続が登録されます。

RENにより、電話回線に接続できる機器の番号が決まります。回線上のRENが多すぎると、電話がかかってきても機器が鳴らない場合があります。すべてではありませんがほとんどの地域で、RENの合計は5個を越えられません。回線に接続できる機器の数（RENにより決定）を決定するには、電話会社に連絡を取り呼出区域内で利用できる最高REN数を確かめてください。

本機器が原因で電話網に支障が出た場合は、電話会社から通知されます。事前通知できない場合、電話会社はなるべく早急に通知を行います。また、必要な場合はFCCに苦情を提出する権利があることをお客様に通知します。

電話会社は、本機器の動作に影響を与えるような施設・機器・操作・手順の変更を加える場合があります。この場合、電話会社はお客様に事前通知を行うため、中断なくサービスを維持できるよう修正を加えることができます。

Easyシリーズ侵入アラームコントロールパネルで問題が発生した場合は、Bosch Security Systems お客様サービスまでご連絡ください。修理、保証に関する情報を提供いたします。この問題により電話網に支障が出た場合、問題が解決されるまで電話網から機器を取り外すよう電話会社に要請されることもあります。ユーザは修理を行わないでください。修理が行われるとユーザ保証が無効になります。

本機器は、電話会社が提供する公衆電話サービスでは使用できません。共同線サービスへの接続は、州料金の対象になります。詳細な情報については、州公益事業委員会に連絡してください。

- **FCC登録番号：** US:ESVAL00BEZ1；**リング等価：** 0.0B
- **サービスセンター：** サービスセンターの場所についてはBosch Security Systems担当者にお問い合わせください。

7.7.3 カナダ産業省

本製品は、該当するカナダ産業省技術仕様に合致しています。

本端末機器のリング等価番号（REN）は0.0です。各端末機器に割り当てられているRENは、電話インターフェースに接続できる最高端末数を示しています。インターフェースの末端は、あらゆる機器のREN総数が5個を越えないという要件にのみ準じた機器を組み合わせで構成されています。

7.7.4 SIA

プログラム要件

ANSI/SIA CP-01（誤った警報の削減）に準拠するために、以下のプログラム項目を設定してください。

プログラム項目	項目番号	デフォルト	参照ページ
侵入中止枠	110	30秒	37
侵入キャンセル枠	112	5分	37
警戒遅延	126	60秒	38
発報遅延	127	30秒	38
退出時間再開	128	1	38
スウィンガーマスクカウント	131	1	39
自動警戒レベル	132	1	39
クロスゾーンの有効・無効*	9014~9324*	1	46

* 中間にある桁は監視エリア番号です。例えば、「01」は監視エリア1、「32」は監視エリア32です。

ANSI/SIA CP-01（誤った警報の削減）に準拠するため、このシステムはデフォルトで以下を行います。

- 侵入警報確認および退出エラーを通報します
- 警戒遅延終了後2分以内に発生したアラームすべての直近終了を通報します
- デフォルトで無効になっている「火災確認中」監視エリアのタイプがオプションに含まれています。

クイックレファレンス

ANSI/SIA CP-

01「誤った警報の削減」基準に準拠するプログラム可能な機能、出荷時のデフォルト、推奨されるプログラムについては、下表を参照してください。

システムテストボタンは、あらゆる監視エリア、出力、コントロールパネル、通報機をテストします。詳細については、第5.0項「システムテスト」（56ページ）を参照してください。

ANSI/SIA CP-01 の段落番号	機能	要件	範囲	出荷時の デフォルト	推奨される プログラム ¹
4.2.2.1	退出時間	必須（プログラム可能）	フルまたは自動警戒起動用： 45秒～2分（最高255秒）	60秒	60秒
4.2.2.2	進行通知・サイレント退出では無効	許可	コントローラは個別に無効にすることが可能	コントローラすべてが有効	コントローラすべてが有効
4.2.2.3	退出時間再開	必須オプション	退出時間中に再入室するため	有効	有効
4.2.2.5	在室中の自動在室警戒起動	必須オプション（遠隔警戒起動以外）	完全な警戒起動後に退出がない場合	有効	有効
4.2.4.4	退出時間と進行通知／遠隔警戒起動では無効	許可オプション（遠隔警戒起動用）	遠隔警戒起動では無効にすることが可能	有効	有効
4.2.3.1	発報遅延	必須（プログラム可能）	30秒～4分 ²	30秒	最低30秒 ²
4.2.5.1	火災以外のゾーン用中止枠	必須オプション	ゾーンまたはゾーンのタイプにより無効にすることが可能	有効	有効（すべてのゾーン）
4.2.5.1	火災以外のゾーン用中止枠時間	必須（プログラム可能）	15～45秒 ²	30秒	最低15秒 ²
4.2.5.1.2	中止通知	必須オプション	アラームが送信されなかったことを通知	有効	有効
4.2.5.4.1	キャンセル通知	必須オプション	キャンセルが送信されたことを通知	有効	有効
4.2.6.1および4.2.6.2	強制機能	許可オプション	No 1+別のユーザ番号の導関数：他のユーザ番号との重複はなし	無効	無効
4.3.1	クロスゾーン	必須オプション	プログラムが必要	無効	有効、2つ以上のゾーンでプログラム
4.3.1	プログラム可能なクロスゾーン時間	許可	プログラム可能	メーカーによる	警戒起動された建物のウォークパスごと
4.3.2	スウィンガー停止	必須（プログラム可能）	火災以外のゾーンすべて。1回または2回の障害で停止	障害1回	障害1回
4.3.2	スウィンガー停止無効	許可	警察対応ゾーン以外	有効	有効（すべてのゾーン）
4.3.3	火災アラーム確認	必須オプション	コントロールパネルとセンサに応じて異なる	無効	センサが自己確認できない限り有効
4.5	通話中着信機能キャンセル	必須オプション	ユーザの電話回線に応じて異なる	無効	ユーザが通話中着信機能を持っている場合は有効

¹ 現場でのインストレーションにおけるプログラムよりも、意図されているアプリケーションの他のUL規格要件の方が優先される場合もあります。

² 発報遅延と中止枠の合計は1分を超えてはなりません。

³ クロスゾーンタイマーが終了し、2番目のクロスゾーン監視エリアに障害が発生していない場合、システムは侵入警報未確認通報を送付します。

7.7.5 損害保険業研究所 (UL)

家庭用火災警報システム

- 11.2 VDC~12.3 VDCの電圧範囲で操作できるUL規格認定四線式保持出力タイプの煙感知器を少なくとも1台インストールします。煙感知器の最大負荷は50 mAです。
- このアプリケーションに必要な11.2 VDC~12.3 VDCの範囲で操作できるUL規格認定85 dB音声機器を1台インストールします。ベル切断時間を少なくとも4分にプログラムします。「プログラム項目107」(37ページ)を参照してください。
- 最後の煙感知器の後ろに終端抵抗 (P/N: 47819)をインストールします。
- プリントインターフェースモジュールは使用しないでください。
- 二線式アドレスابل機器を使用する場合は、火災・侵入機器を同じゾーンに配置しないでください。
- システムは少なくとも24時間操作でき、AC電源なしで少なくとも4分間完全なアラーム出力を発生することができなくてはなりません。

グレードA家庭用侵入警報装置

- 11.2 VDC~12.3 VDCの電圧範囲で操作できるUL規格認定85 dB音声機器を少なくとも1台インストールします。
- IUI-EZ1コントローラを少なくとも1台インストールします。
- 終端管理を利用できるようにすべてのゾーンをプログラムします。
- 11.2 VDC~12.3 VDCの電圧範囲で操作できる侵入警報開始機器をインストールします。
- 音声通知用に侵入ゾーンをすべてプログラムします。
- 警戒遅延をプログラムする際は60秒を超えないでください。「プログラム項目126」(38ページ)を参照してください。発報遅延をプログラムする場合は45秒を超えないでください。「プログラム項目127」(38ページ)を参照してください。
- ベル切断時間を少なくとも4分にプログラムします。「プログラム項目108」(37ページ)を参照してください。
- システムは少なくとも24時間操作でき、AC電源なしで少なくとも4分間完全なアラーム出力を発生することができなくてはなりません。

商業用侵入、グレードA局所、商用

- D8108A攻撃耐性筐体にはD2402取り付け用スカートを使用してください。
- 11.2 VDC~12.3 VDCの電圧範囲で操作できるUL規格認定85 dB音声機器を少なくとも1台インストールします。コントロールパネルと機器の配線接続はすべて、導管でなくてはなりません。
- 警戒遅延をプログラムする際は60秒を超えないでください。「プログラム項目126」(38ページ)を参照してください。発報遅延をプログラムする場合は60秒を超えないでください。「プログラム項目127」(38ページ)を参照してください。
- 筐体のドアを保護するためにタンパスイッチをインストールします。
- 自動テストレポートが毎日送付されるように「プログラム項目116」を「1」(毎日)に設定します。37ページを参照してください。
- 統合通報機が有効になっていることを確認します(「プログラム項目304」を「0」に設定。45ページを参照)。システムがバッテリー残量低下を通報できることを確認します(「プログラム項目358」が1、2、または3。45ページを参照。)
- IUI-EZ1コントローラを少なくとも1台インストールします。
- ベル切断時間を少なくとも15分にプログラムします。「プログラム項目108」(37ページ)を参照してください。
- このシステムは、金庫・貴重品保管室向けには査定されていません。
- システムは少なくとも24時間操作でき、AC電源なしで少なくとも15分間完全なアラーム出力を発生することができなくてはなりません。

商業用侵入、グレードA警察署接続警戒中の建物

- インストールの要件については「商業用侵入、グレードA局所、商用」を参照してください。
- 統合通報機が有効になっていることを確認します(「プログラム項目304」を「0」に設定。45ページを参照)。システムは基本的なセキュリティを提供します。

商業用侵入、グレードA緊急通報先、警戒中の建物

インストールの要件については「商業用侵入、グレードA局所、商用」(71ページ)を参照してください。

商業用侵入、グレードC緊急通報先

インストールの要件については「商業用侵入、グレードA局所、商用」を参照してください。ベルやベルのハウジングは必要ありません。

商業用侵入、グレードA一般

- 統合通報機が有効になっています(「プログラム項目304」を「0」に設定。45ページを参照)。
- システムの所有者は1名です。
- システムはAC電源なしで少なくとも24時間操作できなくてはなりません。緊急通報先の受信機はAC電源なしで少なくとも24時間、通報を受信できなくてはなりません。

7.7.6 EN50131-1

Easyシリーズ侵入アラームコントロールパネルは、EN50131-1セキュリティグレード2、環境クラスIIに準拠するようデザインされています。

インストレーション、プログラム、管理
<ul style="list-style-type: none"> • インストレーション：第2.0項「インストレーション」（8ページ）を参照してください。 • プログラム：第4.0項「プログラム」（29ページ）を参照してください。 • テスト：第5.0項「システムテスト」（56ページ）を参照してください。 • 管理：第6.0項「管理」（56ページ）を参照してください。
電源（ACおよび予備バッテリー）
<ul style="list-style-type: none"> • AC電源：「EZPS電源要件」（75ページ）を参照してください。 • 予備バッテリー：「コントロールパネルの電力要件」（75ページ）を参照してください。
自動抑制
<ul style="list-style-type: none"> • 侵入警報および障害信号またはメッセージ：「上級者向けの設定項目番号131」を1から3の間の数値に設定します。詳細については39ページを参照してください。 • 許可コード：「上級者向けの設定項目番号892」を3から8の間の数値に設定します。詳細については52ページを参照してください。
論理的キーと物理的キー
<ul style="list-style-type: none"> • ユーザごとの最低コンビネーション数： <ul style="list-style-type: none"> - 暗証番号：15,625（暗証番号は6桁でなくてはなりません） - 認証タグ：42,000,000,000 - キーフォブ：2,800,000,000,000,000 • コンビネーション数の決定に使われる方法： <ul style="list-style-type: none"> - 暗証番号：1～5桁を使用できます。6桁の暗証番号では、あらゆるコンビネーションを使えます。 - 認証タグ：32ビット。あらゆるコンビネーションを使えます。 - キーフォブ：56ビット（48ビットは製造中に直列化、8ビットは固定）。
運転温度範囲
「環境への配慮」（74ページ）を参照してください。
コントロールパネルおよびコントローラの消費電流
<ul style="list-style-type: none"> • コントロールパネル：「コントロールパネルの電力要件」（75ページ）を参照してください。 • コントローラ：「コントローラ」（74ページ）を参照してください。
出力電流定格
「プログラム可能な出力」（74ページ）を参照してください。

EN50131-1に準拠するため、プログラム項目は以下のように設定します。

プログラム項目	項目番号	設定	参照ページ
発報遅延	127	45秒以下に設定	38
スウィンガーマスクカウント	131	オプション3を選択	39
インストラ暗証番号の制限	142	オプション1を選択	39
暗証番号長	861	暗証番号の長さを6桁に設定	53

7.7.7 PD6662およびDD243の要件

PD6662およびDD243に準拠するには、EN50131-3の要件すべてと以下の要件を満たす必要があります。

管理
資格のある技術者が少なくとも年2回システムをチェックする必要があります。
AC電源
<ul style="list-style-type: none"> • タイプ: A • 定格電圧: 230 V • 定格入力周波数: 50 Hz • 定格入力電流: 最大250 mA • ヒューズ定格: 0.25 A、250 Vスローブロー
素材
コントロールパネルやコントローラ、DX2010、ワイヤレスハブ、ワイヤレス機器の筐体とハウジングは、耐久性があり安全で、携帯ツールの攻撃にも耐えられる素材でできています。
確認されたアラーム
「上級者向けの設定項目番号124」をオプション3または4に設定します。詳細については38ページを参照してください。

Easyシリーズ侵入アラームコントロールパネルは、適切な通知機器（システムには含まれていない機器）をインストールして通知オプションA、B、C、またはXに対応するグレード2システムとしてPD6662:2004に準拠するようデザインしています。

7.7.8 INCERT

INCERTに準拠するため、プログラム項目を以下のように設定します。

プログラム項目	項目番号	デフォルト	参照ページ
インストーラ暗証番号の制限	142	1	39
暗証番号長	861	6桁	53
Invalid Passcode Attempt	892	3*	52
コントローラのロックアウト時間	893	3*	52

* INCERTに準拠するため、プログラム項目を3以上に設定します。

7.8 仕様

筐体	
寸法 (高さx幅x奥行き) :	37 cm x 31.8 cm x 8.5 cm
素材 :	冷延鉄、亜鉛塗布、厚さ0.36 mm (20 Ga.)
環境への配慮	
相対湿度 :	32° C ±2° Cで93%
運転温度 :	-10° C ~ +49° C <ul style="list-style-type: none"> UL : 0° C ~ +49° C CE : -10° C ~ +40° C
保存温度 :	-10° C から +55° C
管理されている監視エリア	
配線接続 :	8 <ul style="list-style-type: none"> 一相または二相終端 (EOL) 不正操作監視エリアのサポート 監視エリア1は二線式煙感知器をサポート すべての監視エリアは四線式煙感知器をサポート 筐体の不正操作入力 (監視エリア能力を減じない)
プログラム可能な出力 (PO)	
内蔵 :	4 <ul style="list-style-type: none"> PO 1のみ : 設定可能な継電器 PO 2~PO 4 : 設定可能なソリッドステート PO 4のみ : 内部管理スピーカードライバオプション
PO 1継電器定格 :	<ul style="list-style-type: none"> 接触子 : 2 A、ジャンパなし、抵抗負荷のみ 出力 : 1.2 A、ジャンパ付き、抵抗負荷のみ 動作電圧 : 最大30 VDC
PO 2~PO 4の定格 :	400 mA電流消費
コントローラ	
寸法 (高さx幅x奥行き) :	12 cm x 17.7 cm x 2.5 cm
対応個数 :	4
推奨取付け面 :	金属面以外
取付け最低距離 :	コントローラ間で1.2 m
ワイヤごとの最大数 :	4
電流引き込み :	110 mA (待機)、165 mA (アラーム)
最短配線 :	3 m
最長配線 :	合計 : 400 m - 0.8 mm (#22 AWG) の配線使用、シングルラン : 100 m - 0.8 mm (#22 AWG) の配線使用
データバス配線タイプのオプション :	<ul style="list-style-type: none"> 1.2ミリ (#18 AWG) または0.8 mm (#22 AWG) の4本導線式省電力ケーブル1本 最低0.6 mm (#24 AWG) の撚りあわせ対CAT5ワイヤ UL規格認定のインストレーションには省電力ワイヤが必要。
音声バス配線のオプション :	<ul style="list-style-type: none"> 1.2 mm (#18 AWG) または0.8 mm (#22 AWG) の2本導線式または4本導線式省電力ワイヤ1本。2本導線式のみを使用 最低0.6 mm (#24 AWG) の撚りあわせ対CAT5ワイヤ UL規格認定のインストレーションには省電力ワイヤが必要。 CAT5ワイヤを使用しない限り、音声バス接続には専用ケーブルが必要。
CAT5ワイヤの要件 :	第2.3項「コントローラのインストレーション」(10ページ)を参照してください。
ユーザとイベントの数	
ユーザ :	22 <ul style="list-style-type: none"> ユーザ1 : 管理者 ユーザ2~21 : システムユーザ ユーザ22 : 強制ユーザ
イベント :	500のイベント履歴、日時を押印
認証タブとキーフォブ :	ユーザ1名につき1個 (ユーザ22は認証タグまたはキーフォブは受領しません)

電話回線	
電話回線の障害電圧：	電話回線の電圧が1.10 V～4.75 Vの場合に障害が発生
コントロールパネルの電力要件	
AC入力電圧：	UL規格認定18 Vクラス2変圧器 (22 VAC、VA 50/60 Hz)、またはEZPS電源 (UL未認定) を使用
アラーム電力合計：	1.4 A (AC電源および予備バッテリー、侵入への適用のみ) 7.0 Ahバッテリーで、あらゆる出力・システム接続機器に以下の電流を適用： <ul style="list-style-type: none"> 火災用と火災・侵入併用には最高170 mA (24時間) UL規格認定建造物侵入用には最高400 mA (4時間) その他の用途では最高1.2 A (UL未認定)
補助電源：	12 VDC、最高1.0 A。システムに接続されている各コントローラ用の110 mAと、プログラム可能出力用の最高400 mAを含む。
電流引き込み：	待機用は85 mA、アラーム用は160 mA (あらゆる出力は有効)
電圧：	12 VDC 公称 (11.2 VDC～12.3 VDC) コントロールパネルは、電圧が9.5 VDCを下回ると、監視エリア障害の処理を中止。
バッテリー：	<ul style="list-style-type: none"> D126 (7 Ah) またはD1218 (18 Ah) の充電式密封鉛蓄電池 最高1.7 Aの充電電流 バッテリーが12 VDC未満に減るとバッテリーの残量低下が発生します。 コントロールパネルが監視エリア障害の処理を中止すると、AC電源に障害が発生しバッテリーが9.5 VDC未満に減少します。このような場合は、バッテリーを切断します。 72時間以内に予備バッテリーを再充電するための最大補助電流： <ul style="list-style-type: none"> - 12 V、7 Ahバッテリー：400 mA - 12 V、18 Ahバッテリー：900 mA
EZPS電源要件 (UL未認定)	
AC入力：	<ul style="list-style-type: none"> AC入力電圧：100 VAC～240 VAC 線間電圧周波数：47 Hz～63 Hz 最大入力電流：0.5 A 力率：全負荷時でおおよそ0.65
DC出力：	<ul style="list-style-type: none"> ACライン入力での公称出力電圧：18 VDC ACライン入力での出力電圧範囲：16 VDC～20 VDC 継続的な定格出力電流：1.25 A 出力電流限度：約1.75～2.5 A 周期的偏差と偶発偏差 (PARD)：250 mV未満
DX2010入力拡張器	
動作電圧：	8 VDC～14 VDC
電流引き込み：	35 mA予備、アクセサリ接続で最大135 mA
出力：	100 mA、12 VDC (アクセサリ用の管理出力)
センサープ端子ワイヤのサイズ：	0.8 mm (#22 AWG)～1.8 mm (#14 AWG)
ワイヤの長さ：	<ul style="list-style-type: none"> コントロールパネルからDX2010 (DX2010補助出力は未使用)： <ul style="list-style-type: none"> - 0.8 mm (#22 AWG) = 305 m - 1.2 mm (#1.2 mm) = 610 m コントロールパネルからDX2010 (DX2010補助出力は100 mA供給)： <ul style="list-style-type: none"> - 0.8 mm (#22 AWG) = 30 m - 1.2 mm (#1.2 mm) = 76 m
運転温度：	+0° C～+50° C
相対湿度：	+30° Cで5%～85%
センサープの抵抗：	最大60 Ω
センサープ：	最高入力数は8。入力接触子は管理用の適切なEOL抵抗を使い、通常開接 (NO) または通常閉接 (NC) のいずれかになります。

ワイヤレスハブ (ISW-BHB1-WX)	
ワイヤゲージ :	0.14 mm (#18 AWG) ~ 1.5 mm (#24 AWG)
電力/電圧 :	12 VDC公称、7~14 VDC
ワイヤの長さ :	100 m
準拠 :	EN50131-1セキュリティグレード2タイプC、環境クラスII

7.9 互換性のあるオプション

モデル番号	詳細	参照文書
C900V2	Conettix IP ダイヤラーキャプチャモジュール デジタルダイヤラーを公衆交換電話回線網 (PSTN) や デジタルダイヤラーの電話インターフェース、イー サネットネットワークにつながります。	F01U003472
CX4010	プラグイン式変圧器北米での使用向け。110VAC主要電圧入力。 18 VAC、22 VA二次入力。	該当なし
DX2010	入力伸張器さらに8ヶ所の入力ポイント向けの有線拡張を提供。	49533
ICP-EZPK	プログラムキーEasyシリーズ侵入アラームコントロールパネル と情報をやりとりするための青いキー。	F01U004832
ICP-EZPK	ワイヤイン電源ヨーロッパ、中東、アジア太平洋、中南米での 使用向け。100 VAC~240 VACの主要電圧入力 (AC)。	F01U003732
ICP-EZPS-FRA	AFNOR電源フランスでの使用向け。 14 VDCと隔離補助出力を提供。	F01U008729
ICP-EZR2	ROM更新キーFlashを更新するための緑色のキー。	F01U025887
ICP-EZTS	二重タンパースイッチ追加タンパー出力向けワイヤループの付い たコンビネーションタンパースイッチ。	F01U003734
ICP-TR1822-CAN	プラグイン式変圧器カナダでの使用向け。 110 VAC主要電圧入力。 18 VAC、22 VA二次入力。	該当なし
ISW-BHB1-WX	wLSNハブ最高32ヶ所の入力ポイント向けワイヤレス拡張を提供。 wLSN機器へのインターフェース。	F01U009440
ITS-300GSM	GSMネットワーク通信機電話送信が作動しない場合に、GSM ネットワークでコントロールパネルの電話ダイヤラーからの 補助送信を有効にする。通報や音声を送信。	F01U027641
IUI-EZ1	長円形コントローラスピーカー、マイク、機能ボタン、 水準器を含む。	F01U003737
IUI-EZT-5	Easyシリーズ認証タグパッケージ5つのEasyシリーズ近接認証 タグ。	該当なし
RPS-INTL	遠隔プログラムソフトウェアアカウント管理およびコントロー ルパネルのプログラムユーティリティ。	4998141259
TF008	プラグイン式変圧器オーストラリアおよびニュージーランド での使用向け。240 VAC主要電圧入力。18 VAC、 1.3 A二次入力。	該当なし

索引

C	こ
CAT5	コントローラ
推奨される配線..... 11	「警報は通報されませんでした」という通知 ... 52
D	「通報を中止します」という通知 52
DX2010	アドレス設定 10
インストール..... 12	アラームメッセージの最低反復時間 52
およびワイヤレス監視エリア..... 27	インストール 10
保持出力システム機器の不正操作..... 39	パニックボタンアラーム 52
E	ファームウェアのバージョン 37
EZPS..... 19	ロックアウト時間 52
EZTS..... 18	ワンボタン警戒起動 52
F	火災ボタンアラーム 52
FCC	救急ボタンアラーム 52
パート15..... 68	個別コントローラ項目 53
パート68..... 69	仕様 74
登録番号..... 69	時間のフォーマット 52
R	保持出力システム機器の不正操作 39
RPS	コントロールパネル
RPSがコントロールパネルに通報..... 55	インストール 9
コントロールパネルがRPSに通報..... 55	ファームウェアのバージョン 37
暗証番号..... 37	さ
S	サマータイム関連操作..... 37
SIA	し
クイックレファレンス..... 70	システム
SMSサービスプロバイダ番号..... 41	システム基本情報 4
U	テストボタン 56
UL	新規システムの検出 23
インストール要件..... 71	設定クイックスタート 5
い	システムの通報と復旧..... 44
インストーラ	システム作動順序オプション..... 39
インストーラの暗証番号..... 53	す
メニューツリー..... 6	スウィンガーマスクカウント..... 39
き	た
キースイッチ	ダイヤル音検出..... 41
配線..... 15	タンパースイッチ
キーフォブ	インストール 8, 18
円ボタンの設定..... 40	ち
警戒起動..... 40	チャイム
出力機能..... 33	システム切断中のデフォルト 37
設定..... 25	発信音の選択 37
台形ボタンの設定..... 40	て
く	テスト
クイックレファレンス..... 3	ウォークテスト中の通報 45
クロスゾーン	テストレポート (時間) 40
クロスゾーンタイマー..... 39	テストレポート (日) 40
クロスゾーンの有効・無効..... 46	テストレポート (分) 40
監視エリアのアラーム確認..... 38	テストレポート (曜日) 40
	自動テストレポート頻度 37
	冗長システムテスト 39
	デモモード..... 39
	は
	バッテリー
	予備バッテリーの仕様 75

ふ		音声モジュール	
プログラム		インストレーション	18
基本	30	音声障害通知	40
終了	53	概要	
初回	29	コントローラ	3
上級者	36	システム	3
入力	29	確認されたアラーム	
プログラムキー		タイマー	39
自動転送	54	プログラムオプション	38
自動転送有効	38	確認済みアラームのメモリ制限	40
手動転送	54	環境への配慮	74
プログラム可能な出力		監視エリア	
仕様	74	キースイッチの配線	15
め		クロスゾーンの有効・無効	46
メニュー		火災ベル切断時間	37
インストラ	6	火災監視エリアの配線	14
ユーザ	7	監視エリアのアラーム確認	38
ワイヤレス設定メニュー	23	監視エリアのタイプ	31
ゆ		監視エリアの説明	31
ユーザ		監視エリアの通報と復旧	43
RFID認証タグの暗証番号	53	個別警戒	46
メニューツリー	7	障害発生監視エリアで警戒起動を開始	40
暗証番号長	53	障害発生監視エリアの許容閾値	38
管理者用の暗証番号	53	侵入キャンセル枠	37
強制ユーザの有効・無効	53	侵入ベル切断時間	37
仕様	75	侵入監視エリアの配線	15
ユーザ識別コード	41	侵入中止枠	37
り		保持出力監視エリアと筐体の不正操作	39
リング等価	69	管理	56
わ		管理されている監視エリア	
ワイヤレス		仕様	74
DX2010 とワイヤレス監視エリア	27	機器	
キーフォブの設定	25	テスト	24
システム設定クイックスタート	5	設定	24
ネットワーク	23	強制	
ハブのインストレーション	13	強制ユーザの有効・無効	53
ワイヤレスネットワークの回復	27	緊急電話オーバーライド番号	42
ワイヤレス設定メニュー	26	緊急電話オーバーライド番号猶予	42
監視エリア1~8をワイヤレス監視エリア		警戒起動中の「ピーピー」という音	40
として割り当てる	27	警戒遅延	38
機器の設定	24	個別警戒	46
混信検出レベル	40	工場で設定されたデフォルト	53
設定メニュー	23	国番号	34, 37
保持出力システム機器の不正操作	39	自動警戒レベル	39
漢字		自動検出パルス音ダイヤル	42
暗証番号		出力	
RPS 暗証番号	37	PO 1配線オプション	16
インストラの暗証番号	53	PO 2~P04配線オプション	17
インストラ暗証番号オーバーライド		火災出力ケーデンス	51
の有効・無効	38	出力1~4のタイプ	51
インストラ暗証番号の制限	39	出力4の機能	51
コントローラのロックアウト時間	52	出力機能	33
暗証番号長	53	初回のプログラム	29
管理者用の暗証番号	53	省電力配線	
無効暗証番号の入力回数限度	52	制限	58
音声フォーマット		制限アラームメモリ	39
メッセージ送信試行	41	漸増通知	40
反復カウント	41	双方向音声	
		設定	40
		退出時間再開	38
		直近終了の有効・無効	38
		通報の開始と終了	44

通報の設定	32	電話回線の障害電圧	75
通報ルート指定		電話回線管理	41
ルートグループの試み	45	電話呼び出し音カウント	42
主要フォーマットのプログラム	41	発報遅延	38
第1通報先のプログラム	41	不正操作	
第2通報先のプログラム	41	保持出力システム機器の不正操作	39
二次フォーマットのプログラム	41	保持出力監視エリアの不正操作	39
通報機の有効・無効	45	筐体不正操作の有効・無効	37
通話中の着信無効	42	予備バッテリー	
電源		インストラクション	21
プラグインオプション	21	予備バッテリーの計算	59
ワイヤインオプション	19	筐体	
仕様	75	インストラクション	8
電話		仕様	74
接続	18		

Bosch Security Systems, Inc.
www.boschsecuritysystems.com

© 2006 Bosch Security Systems, Inc.
F01U025120B



BOSCH